

東京医科大学医学部医学科

卒業生アンケート

結果報告書



2016年7月

東京医科大学 教育 IR センター

医学科卒業生アンケート報告書に寄せて



東京医科大学 学長 鈴木 衛

医学、医療の進歩とともに医学教育も急激に変化してきました。受動的学習から能動的学習へ、座学から実習へ、見学型から参加型へ、大人数から少人数授業へ、プリントから IT へ、国内評価から国際評価へ、など多くの点で改革が進行しています。また、学生や卒業生などの評価も受け入れ、カリキュラムの改善に資することも求められています。今回、卒業生の皆様にアンケートをお願いし、受けられた教育と学生生活を振り返って頂き、東京医科大学の教育改革の基礎資料にさせて頂きたいと思えます。お忙しい中アンケートにご協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。また、この取り組みは、本年9月に受審する医学教育分野別評価、自己点検評価書に新しい試みとして提示する予定です。

アンケートから過去と現在の教育内容や成果の変遷を読みとることができます。成果の向上は、教育体制や個人の意識の変化によると考えられ、建学の精神「自主自学」が生きていると感じます。一方、十分なコミュニケーションとコンプライアンスの実践がなければ良き教育者、研究者にはなり得ません。それを可能にする人間力養成に課外活動も大きく貢献しているように思います。

このアンケートを継続的に行うことによって本学の教育が見直され、ミッションとして掲げている、「患者とともに歩む医療人」が多く輩出されることを期待しています。

卒業生アンケートを読み取る



東京医科大学医学部医学科同窓会 会長 高山 雅臣

教育 IR センターのご努力下、平成 11 年から 27 年までの本学医学科卒業生を対象とした在学時の教育カリキュラム関連のアンケート調査結果が発表された。本校では文部科学省の指導に対応し教育カリキュラムが①1993 年②2003 年③2014 年と 3 回改編されてきたが、その後医師になった彼らによる各項目ごとの習得能力自己評価に卒業年度（卒年）による相違が見られたのか、その結果は興味深い。

自分の意見を筋道立てて表現する能力は全卒年において 50～70%が身についたものの、プレゼンテーション能力が身についたのは 50%以下との結果は早急に改善策を講ずる必要を示している。例えば、不評な一般教養科目では授業にプレゼンテーション形式を取り入れる工夫はできないか。全卒年を通し豊かな人間性や礼儀・協調性・責任感など集団生活に必要な能力には 80%以上が身についたと答えているのは東医生らしい。一方、語学など国際化への対応能力が身についたのは 50%以下であるが、この数年改善傾向にあるのは TOEFL 試験導入の成果があがり、これに同窓会による成績優秀者表彰も役立っているのかも知れない。

今後も、この卒業生アンケートが継続され、次の有効的な改編に資することを期待し、教育 IR センターのご努力に全面的に同窓会は協力する所存である。

目次

1. はじめに	4	ページ
2. 調査方法	9	ページ
3. 調査結果	12	ページ
4. まとめ	44	ページ
5. データ	46	ページ
6. 依頼文書・調査用紙	70	ページ
7. おわりに	77	ページ

1. はじめに

2010年秋、米国の ECFMG (Educational Commission for Foreign Medical Graduates)は、世界医学教育連盟 (WFME) の基準または相当する国際基準に認定されていない外国医学部 (米国/カナダ以外) からの卒業生には、2023 年以降米国医師国家試験 USMLE の受験を認めないと宣言した。このいわゆる“2023 年問題”を契機に、我が国では日本医学教育学会が中心となり、国際基準に則した医学教育分野別評価基準日本版を作成し、また、日本医学教育評価機構(JACME: Japan Accreditation Council for Medical Education)が設立され、日本の医学部の認証評価を行うことになった。

この医学教育分野別評価基準日本版による認証評価では、在学生のみならず、卒業生の業績や実績を調査・分析し、カリキュラム立案等にフィードバックしているかどうかが問われている。そこで、本調査では、東京医科大学の卒業生の現状を把握し、今後のカリキュラム改善の視座を得ることを目的とした。

具体的には、大学設置基準の大綱化を契機に改定された 1993 年カリキュラムを履修した卒業生と、医学教育モデル・コア・カリキュラムの公表を契機に改定された 2003 年カリキュラムを履修した卒業生を比較することとした。なお、本学におけるカリキュラム改編の変遷についての概略を以下に示した。

○東京医科大学におけるカリキュラム改編の変遷

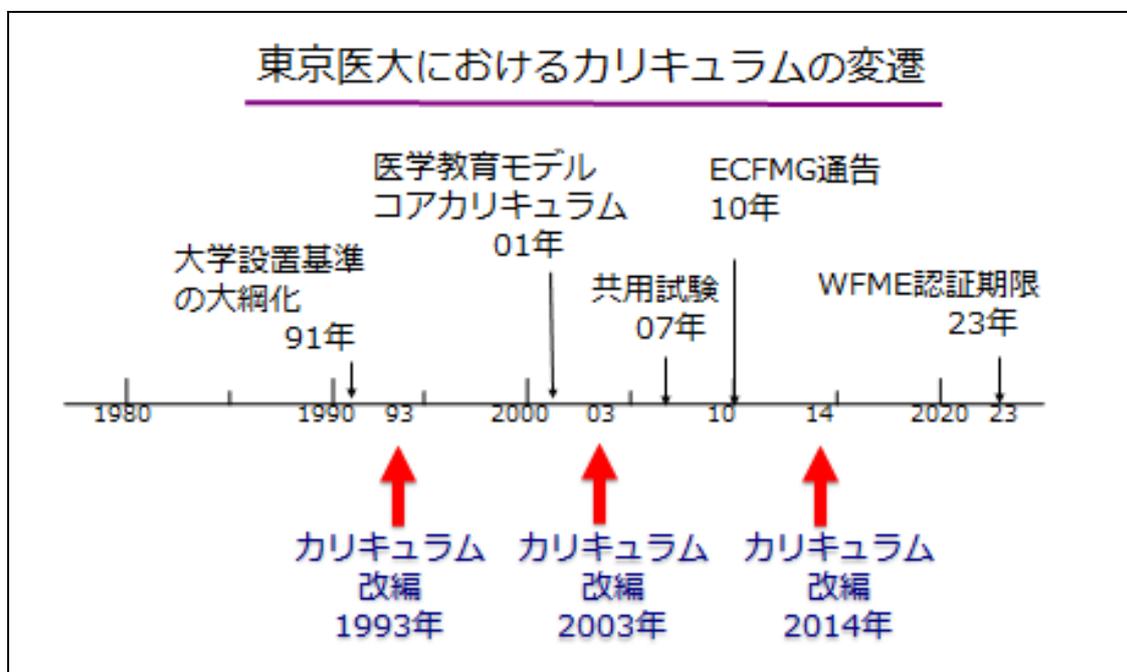


図 2-1 東京医科大学におけるカリキュラムの変遷

図 2-1 の通り、直近のカリキュラムの転機は、遡って、2014 年、2003 年、1993 年である。

1992年までは、図2-2の通り、昭和から続く従来型のカリキュラムであった。その特徴は、一般・教養教育科目の履修が2年生前期まで、基礎教育は2年生前期から3年生まで、臨床教育は4年生に入ってから、さらに、臨床実習は5年生の後期から開始されていたことである。

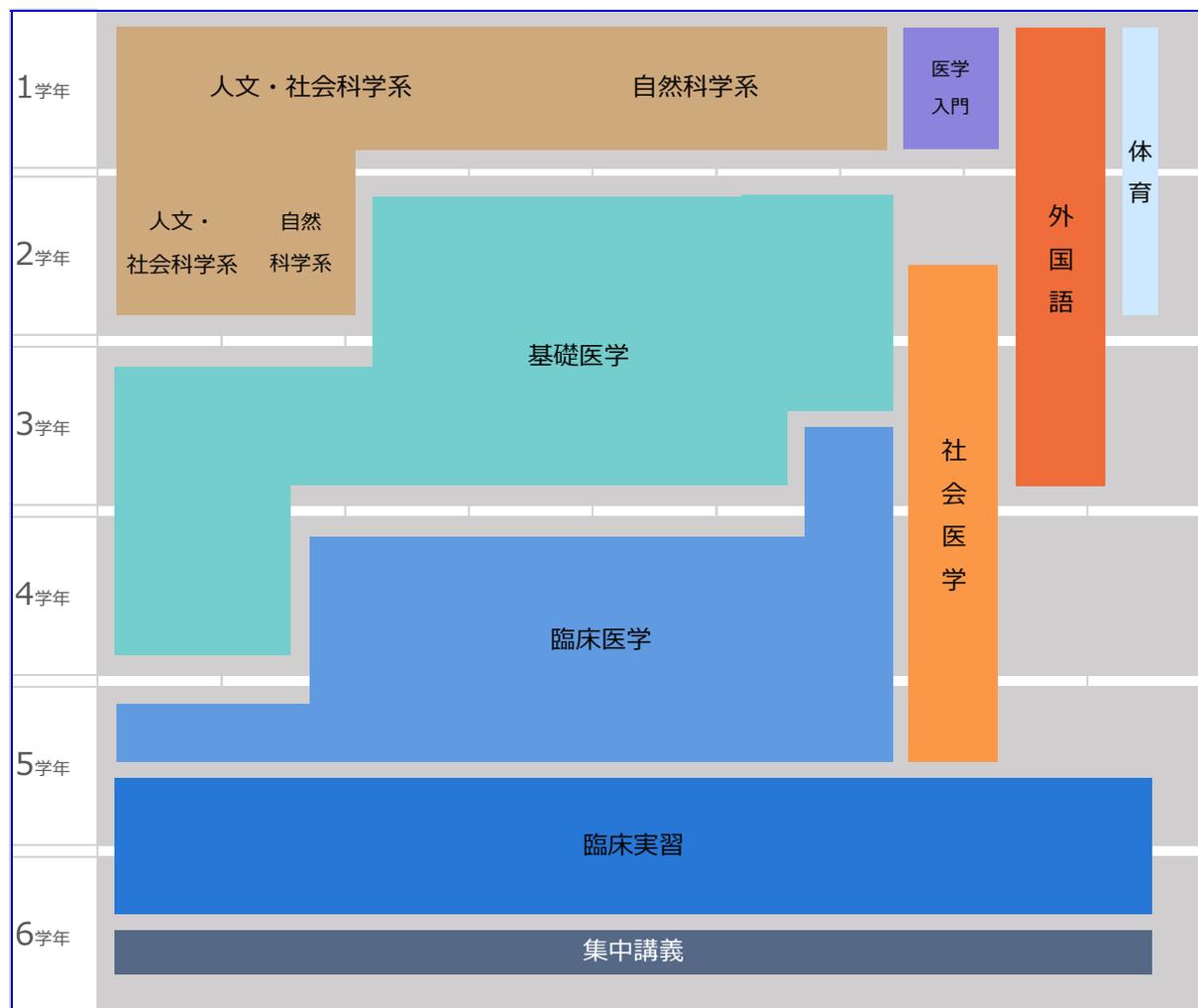


図2-2 1992年までの東京医科大学のカリキュラム概念図

1991年、いわゆる「大学設置基準の大綱化」があった。これは、「個々の大学が、学術の進展や社会の要請に適切に対応しつつ、その教育理念・目的に基づく特色ある教育研究を展開できるように、制度の弾力化を図るために実施された、学校教育法や大学設置基準など関連法令の大幅な改正」(大学改革支援・学位授与機構 高等教育に関する質保証関係用語集 より)のことであり、この改正により、「従来詳細に定められていた教育課程などの基準の詳細の部分が削除され、基準の要件が緩和された一方で、教育研究の質の保証を大学自身に求めるという方針の下、大学による自己点検・評価が努力義務と定められた」(大学改革支援・学位授与機構 高等教育に関する質保証関係用語集 より)なのである。

この「大学設置基準の大綱化」を受けて、本学においても図 2-3 の通り、カリキュラムが改編された。一般教養教育が1年生を中心として、2・3年までくさび型に配置された。また、基礎医学は2年生と3年生前期に、「自主研究」も始まった。さらに、臨床教育の開始が3年生後期へと前倒しとなり、臨床実習も5年生前期から開始されるように改められた。

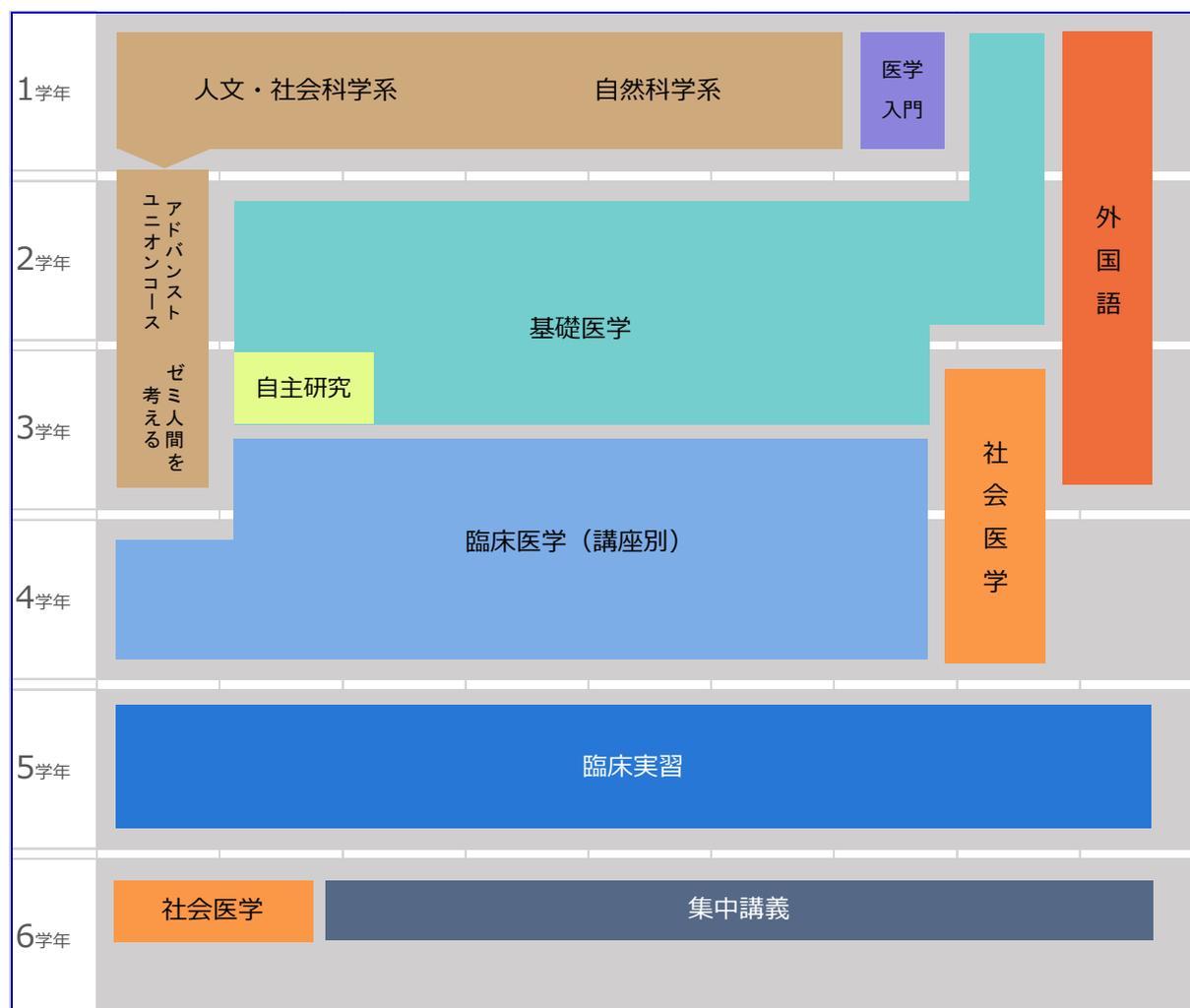


図 2-3 1993 年改編後の東京医科大学のカリキュラム概念図

2001 年（平成 13 年）、「医学教育モデル・コア・カリキュラム—教育内容ガイドライン—」が示された。これは、文部科学省の「21 世紀医学・医療懇談会報告」を受けて、「精選された基本的内容を重点的に履修させるコア・カリキュラム」を示したものである。「すべての医学生が履修すべき必須の学習内容を精選」したもので、「各大学が編成するカリキュラムの参考」とするようになっている。本学においても、このモデル・コア・カリキュラムに準拠した教育内容に改めるべく、図 2-4 の通り、2003 年にカリキュラムが改編された。

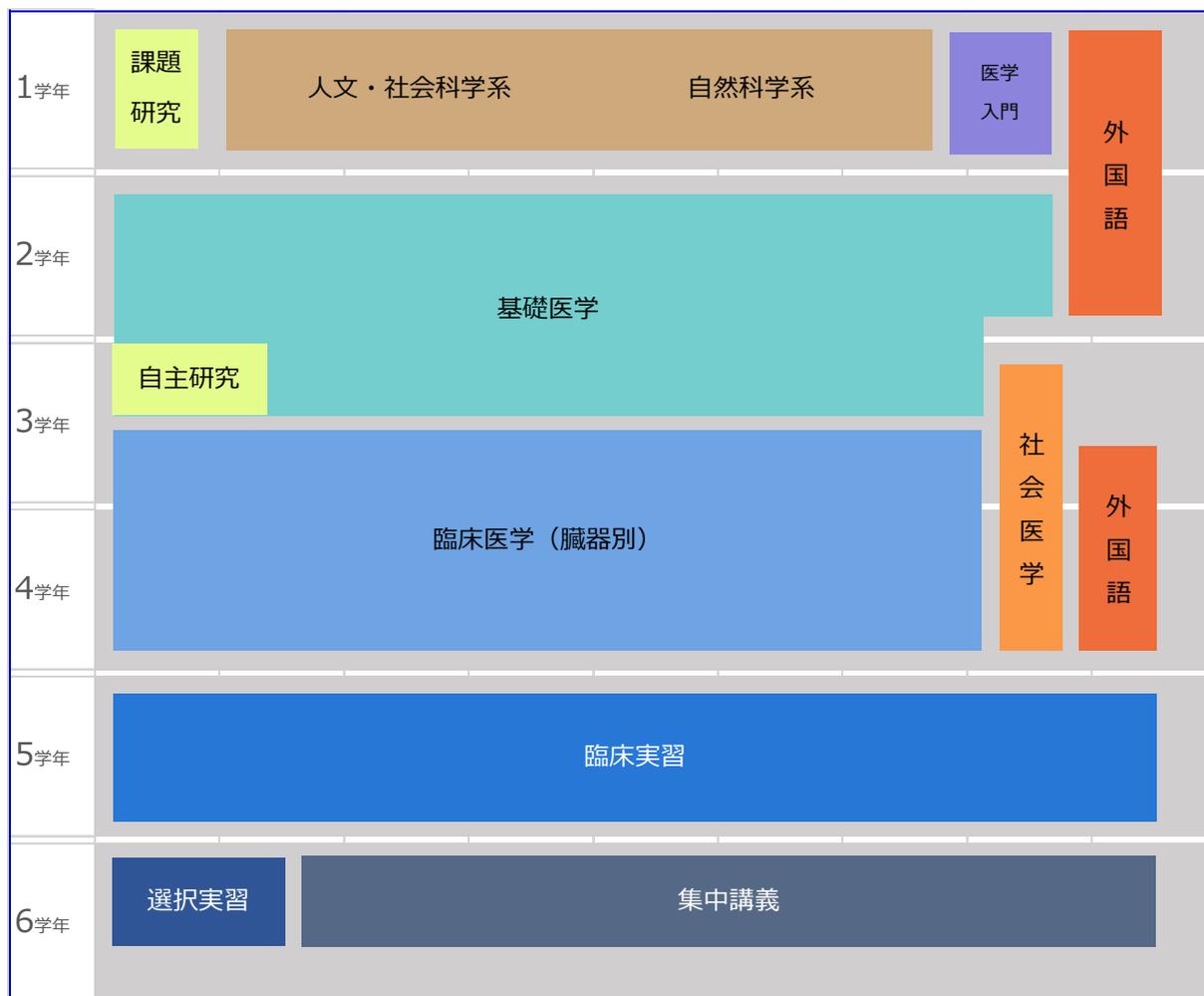


図 2-4 2003 年改編後の東京医科大学のカリキュラム概念図

大きな変更点は、1 年生に PBL チュートリアルによる「課題研究」が導入されるとともに、1 年生から 4 年生まで「医学英語」が配置されたこと、さらに臨床医学の授業において、例えば、内科学、小児科学、外科学のような分野別の授業形態から、例えば、循環器、呼吸器、消化器のような臓器別の授業形態に改められたことである。病因・診断・治療の流れにそって、病態を理解する授業形態に転換されたといえる。

2003 年から 2006 年までは、循環器、呼吸器、消化器から授業は進められた。さらに、共用試験 CBT の導入に対応して、臓器別の授業の順番を精神、運動器からの順に入れ替える等の修正が 2007 年に実施されるが、本質的には、2003 年のカリキュラムが 2013 年まで継続する。

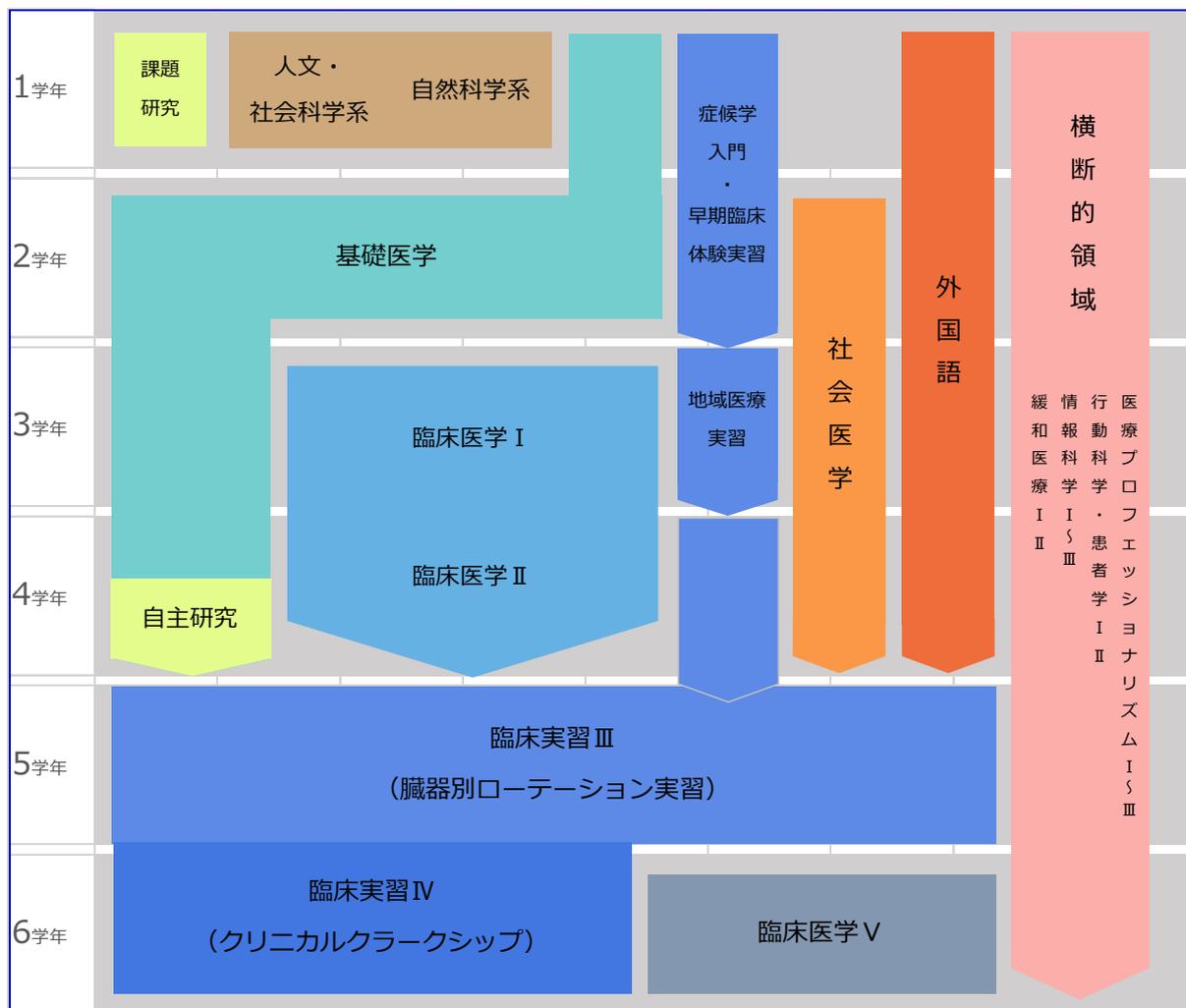


図 2-5 2014 年からの新カリキュラムの概念図

2014 年度には分野別認証評価に対応したカリキュラム改編を行い、2014 年入学者から順次新たなカリキュラムが適用されており、2016 年現在、新カリキュラムと従来カリキュラムが並走している状況にある。

新しいカリキュラムでは、9 項目（2016 年 10 項目に改定）の教育到達目標が定められるとともに、アウトカム基盤型教育が導入された。また、症候学入門や早期臨床体験実習を拡充するなど初年度から臨床医学を学び、プロフェッショナリズム、医療倫理、情報科学、緩和医療、漢方および行動科学・患者学など新しい領域の学年横断的科目も導入された。さらに臨床実習は診療参加型とし、その期間が 74 週に延長された。新カリキュラムの概念図を、図 2-5 に示す。

2. 調査方法

(1) 調査概要

- ①調査期間：平成 27 年 11 月 6 日～平成 28 年 1 月 4 日
- ②調査対象：平成 11 年 3 月卒業生から平成 27 年 3 月卒業生まで
- ③発送数：1733 （次項目の属性を参照）
- ④回収数：250 （郵送回収：130 Web 回収：120）
- ⑤回収率：14.8% （未達 49 を除外して算出）
- ⑥調査方法：調査は、東京医科大学医学部医学科同窓会（以下、同窓会）と共同で実施した。教育 IR センターにて調査用紙を作成し、実務は株式会社日経リサーチに委託した。回答は、郵送もしくは Web のどちらでも回答可能な形式とした。調査期間中、一度、その時点の未回答者に督促はがきを郵送し、回答を促した。当初の回答締め切りは平成 27 年 12 月 11 日であったが、最終的に、平成 28 年 1 月 4 日まで調査期間を延長した。その延長の間、メールでの督促（同窓会にてアドレスを把握している対象者に送信）、学内での呼びかけ（医局長会議での告知）等の回答促進策を実施した。

(2) 調査項目（巻末の調査用紙を参照）

①フェイスシート項目

問 1.卒業年、問 2.性別

②履歴

問 3.初期臨床研修先、問 4.後期臨床研修先、問 5.現在の専門科、問 6.現在の勤務先と雇用形態

③取得資格・学位

問 7.認定資格（学会認定医・専門医・指導医等）、問 8.学位、問 9.社会活動、問 10.追加事項

④問 11.授業や活動を通じて身につけた能力

1.プレゼンテーション能力、2.医師としての倫理観、3.診断や治療に関する知識、4.組織や集団をまとめるリーダーシップの能力、5.医学研究の考え方や手法、6.ものごとの問題点をみつけ解決方法を考える能力、7.疾病予防の考え方と保健・医療制度の知識、8.自己研鑽・自己啓発を継続的に行える学習習慣、9.豊かな教養による社会を見る広い視野、10.病態の理解に必要な基礎医学の知識、11.豊かな人間性、12.医療面接の技能、13.語学など国際化への対応能力、14.論理的な思考力、15.医療安全についての知識、16.礼儀・協調性・責任感など集団生活に必要な能力、17.IT 時代に対応した情報スキル、18.患者・家族に対する接遇・態度の能力、19.自分の意見を筋道立てて表現する能力

⑤問 12.在学中にもっと学んでおけば良かったと思うこと

臨床実習、シミュレーション教育、基本的臨床手技、実践的英語教育、統計学、臨床医学一般、社会医学一般、基礎医学一般、幅広い教養教育、医療経済学・医療経営学、その他

⑥問 13.在学中のカリキュラムや設備に関する満足度

1.一般教育系科目の授業・実習、2.語学の授業、3.基礎医学系科目の授業・実習、4.社会医学系科目の授業・実習、5.臨床系医学科目の授業、6.臨床実習、7.カリキュラム全般（科目の種類・配置・配当年次など）、8.教室・実習室等の設備環境、9.図書館の環境や設備、10.パソコンの利用環境

⑦問 14.東京医大の総合的な満足度

1.教育内容について全体的な満足度、2.社会での役立ち度、3.自分の子供などへの受験推奨度

⑧自由記述

問 15.東京医大の教育をより良くするための意見、問 16.東京医大への要望など

(3) 属性

①卒業年

	卒業生数 (名)	送付数 (名)	未達数 (名)	回答数 (名)	回答率 (%)	履修した カリキュラム
平成 11 年	93	90	0	16	17.8	1993 年
平成 12 年	116	113	1	14	12.5	1993 年
平成 13 年	97	94	4	17	18.9	1993 年
平成 14 年	121	115	6	25	22.9	1993 年
平成 15 年	106	103	3	22	22.0	1993 年
平成 16 年	116	107	6	21	20.8	1993 年
平成 17 年	105	98	1	14	14.4	1993 年
平成 18 年	105	102	4	12	12.2	1993 年
平成 19 年	100	86	4	13	15.9	1993 年
平成 20 年	105	97	6	14	15.4	1993 年
平成 21 年	115	106	2	14	13.5	2003 年
平成 22 年	100	97	2	8	8.4	2003 年
平成 23 年	115	113	3	10	9.1	2003 年
平成 24 年	91	90	4	10	11.6	2003 年
平成 25 年	107	107	3	10	9.6	2003 年
平成 26 年	114	114	0	18	15.8	2003 年
平成 27 年	101	101	0	12	11.9	2003 年
合計	1807	1733	49	250	14.8	

調査対象年度の卒業生の総計は 1807 名である。同窓会で連絡先を把握している 1733 名に調査用紙を発送したが、49 通があて先不明等で返送され、最終的な調査対象者は 1684 名となった。

卒業年別回答率は、総計 14.8% であり、最高で 22.9% (平成 14 年)、最低で 8.4% (平成 22 年) であった。本調査の回答率は、HP 等で公開されている他学の調査結果と比較しても、著しく低いとはいえない数字ではある。しかしながら、十分に満足できる回答率とはいえ、次回調査では、増加策の策定が必須と考えられる。

②性別

	回答数	%
男性	173	69 %
女性	75	30 %
未記入	2	1 %

男女比では、東京医大の当該卒業生の男女比がおよそ 7:3 であり、本調査のサンプルにおいて、男女の偏りは生じていないと考えられる。なお、本調査には性別の未回答者が含まれるため、男女差の分析においては、未回答者の回答を除外している。

(4) 調査対象者の内訳

大綱化を契機に改定された 1993 年カリキュラム履修者とコアカリを契機に改定された 2003 年カリキュラム履修者の内訳は、表 2-1 のとおりである。

表 2-1 履修カリキュラムごとの対象者内訳

履修カリキュラム	1993 年	2003 年
対象者	平成 11 年 3 月卒 ～ 平成 20 年 3 月卒	平成 21 年 3 月卒 ～ 平成 27 年 3 月卒
送付数	1005 人	728 人
回答者数	168 人	82 人
回答率	16.7%	11.3%

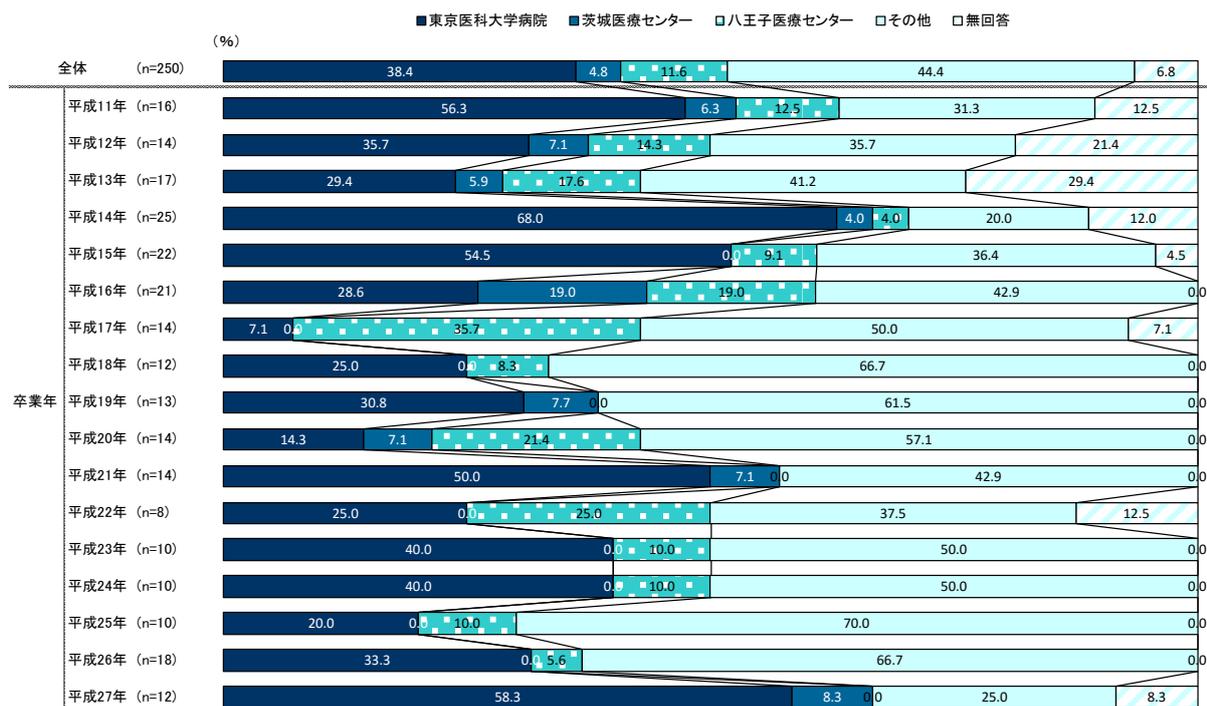
1993 年カリキュラム履修者の対象人数が多めであり、回答率も上回っている状況にある。

3. 調査結果

以下、質問項目ごとに、その特徴を述べる。

◆問1「卒業年」および◆問2「性別」は、前ページの「属性」を参照。

◆問3「初期臨床研修先をお教えてください。」



卒業年によって多少のばらつきがあるが、全体では、その他（外部病院）44.4%、東京医大病院（西新宿）33.4%の割合が高い。東京医大3病院（西新宿・茨城・八王子）を合計すると54.8%となり、その他（外部病院）の割合を上回る。

また、平成16年から「新医師臨床研修制度」がスタートし、「診療に従事しようとする医師は、2年以上の臨床研修を受けなければならない」とされ、初期臨床研修が必須化された。そこで、必修化前後における研修先の選択者数を要因に χ^2 乗検定を行った。

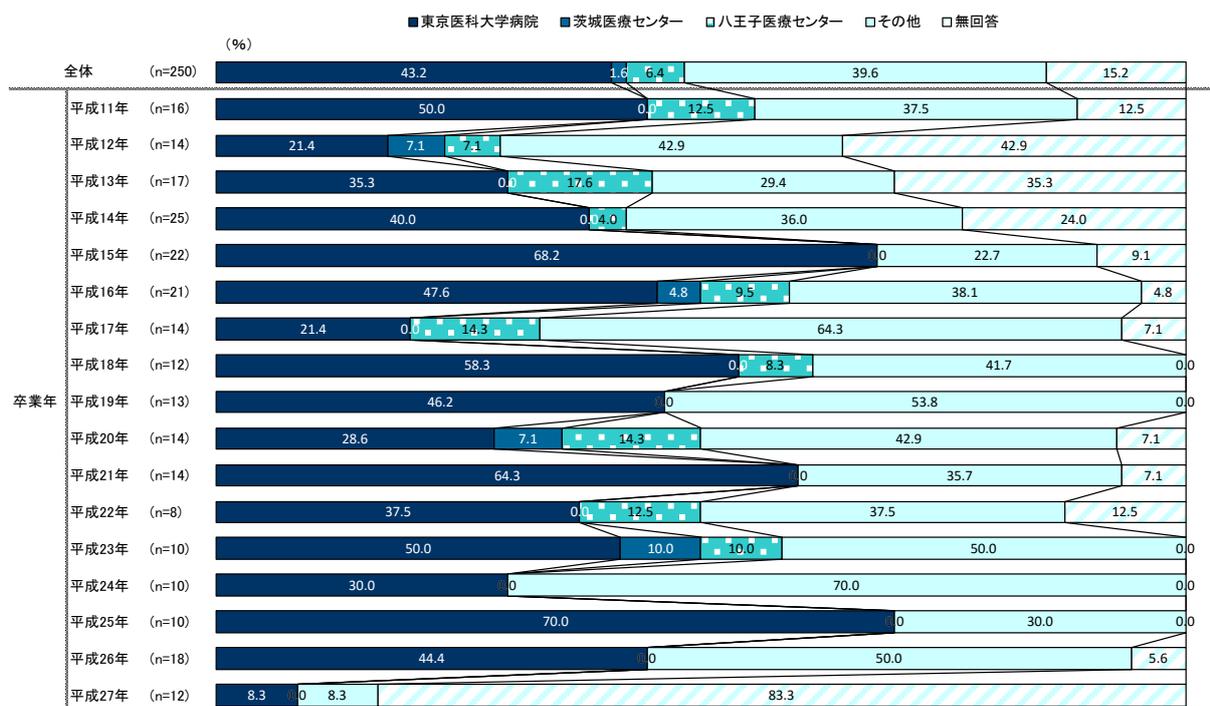
表3-1 初期臨床研修先の選択結果の比較

臨床研修先	臨床研修		χ^2 検定
	必修化前	必修化後	
大学病院(西新宿)	54	42	n.s.
茨城	2	4	n.s.
八王子	7	15	n.s.
外部病院(その他)	38	71	*

*:p<0.05

結果は表 3-1 にした通りであり、外部病院の選択者数が必修化以降に多くなっていた。出身大学や関連病院での研修よりも外部病院での研修を希望する者が増加するという、いわゆる「医局離れ」の現象が、本学においても追認できたといえる結果かもしれない。

◆問 4 「後期臨床研修先をお教えてください。」



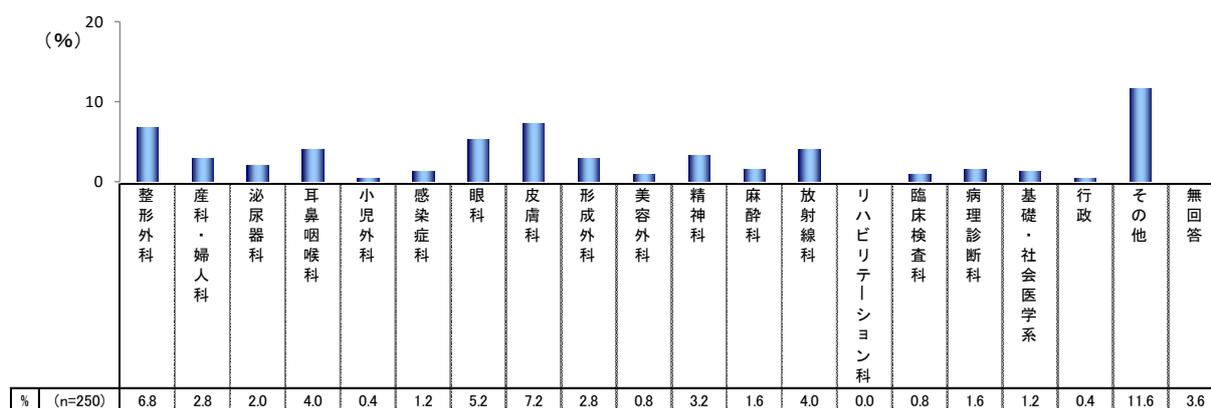
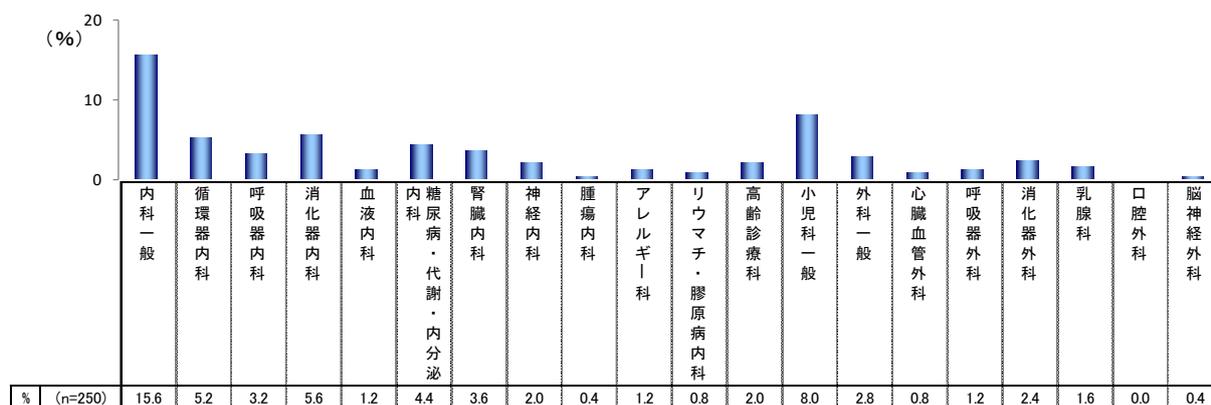
初期臨床研修先と傾向は同じであるが、総計で、その他（外部病院）39.6%よりも東京医大病院（西新宿）43.2%の方が高く、本院（西新宿）への回帰傾向がみられると推測される。なお、東京医大3病院（西新宿・茨城・八王子）合計では51.2%になる。平成27年の未回答者は、後期研修先が未決定であるため、である。

表3-2 後期臨床研修先の選択結果の比較

臨床研修先	臨床研修		χ^2 検定
	必修化前	必修化後	
大学病院(西新宿)	52	56	n.s.
茨城	1	1	n.s.
八王子	4	5	n.s.
外部病院(その他)	35	58	n.s.

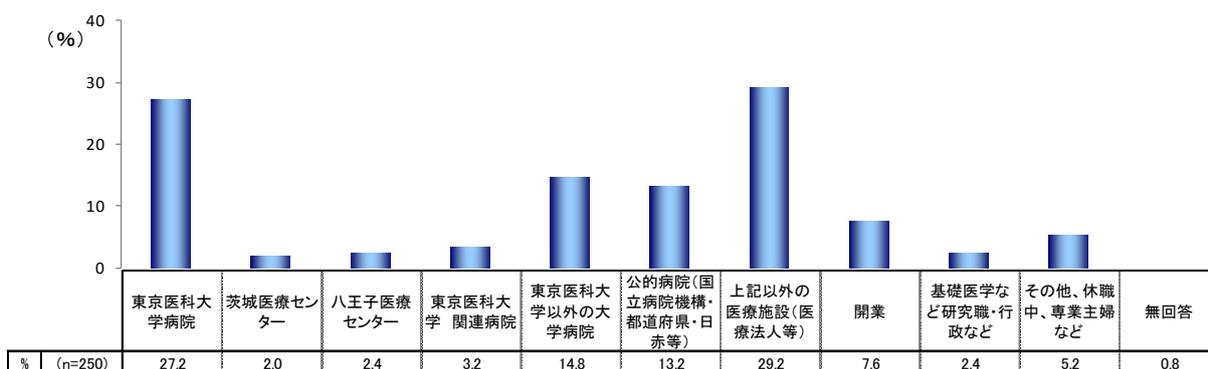
前項同様に、臨床研修必修化前後における研修先の選択者数を要因に χ^2 乗検定した。結果は表 3-2 に示した通り、有意差は認められなかった。有意ではないが、東京医大病院（西新宿）と外部病院に二極化する傾向が見られ、この先もこの傾向が続くものと予測できそうである。

◆問 5 「現在の専門をお教えください。」



選択された割合が多い科は、内科一般 15.6%、小児科一般 8.0%、皮膚科 7.2%である。その他で記載されたのは、総合診療、緩和ケア、在宅医療、救急・集中治療、産業医等である。

◆問 6 「現在の勤務先と、そこでの雇用形態をお教えてください。」



現在の勤務先では、東京医大病院（西新宿）27.2%、上記以外の医療施設（外部病院）29.2%の割合が高い。雇用形態では、東京医大病院から外部病院までのいわゆる勤務医の区分において、約80%が常勤職と回答している。

◆問 7 「認定資格についてお教えてください。」

比較的取得者の多い資格は、日本内科学会認定医・専門医、日本外科学会認定医・専門医、日本眼科学会専門医・指導医、日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本整形外科学会認定医・専門医、日本医師会産業医などである。

◆問 8 「学位についてお教えてください。」

学位取得者は、東京医大54名、他大学14名の計68名であり、学位所得率は27.2%であった。東京医大以外の学位取得大学は、慈恵医大、順天堂大学、昭和大学、慶應義塾大学、東海大学、日本大学、東京大学、東北大学、千葉大学、岐阜大学、長崎大学などである。

◆問 9 「その他特記すべき社会活動」

日本各地の医師会の役員をしている旨の記述が多かった。

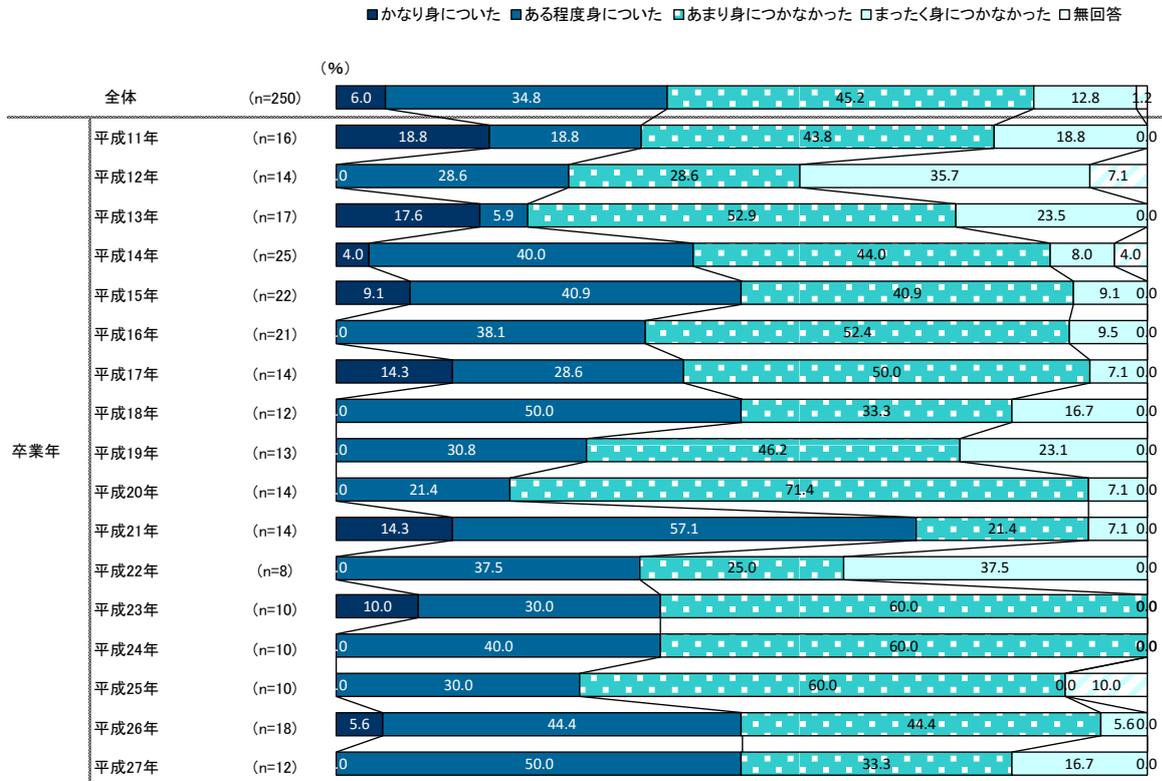
◆問 10 「その他追加事項」

特記事項として、野球、サッカー、スキー、障がい者スポーツなど、各種スポーツのチームや団体で、チームドクターや医療スタッフとして活躍している旨の記述した卒業生が複数いた。

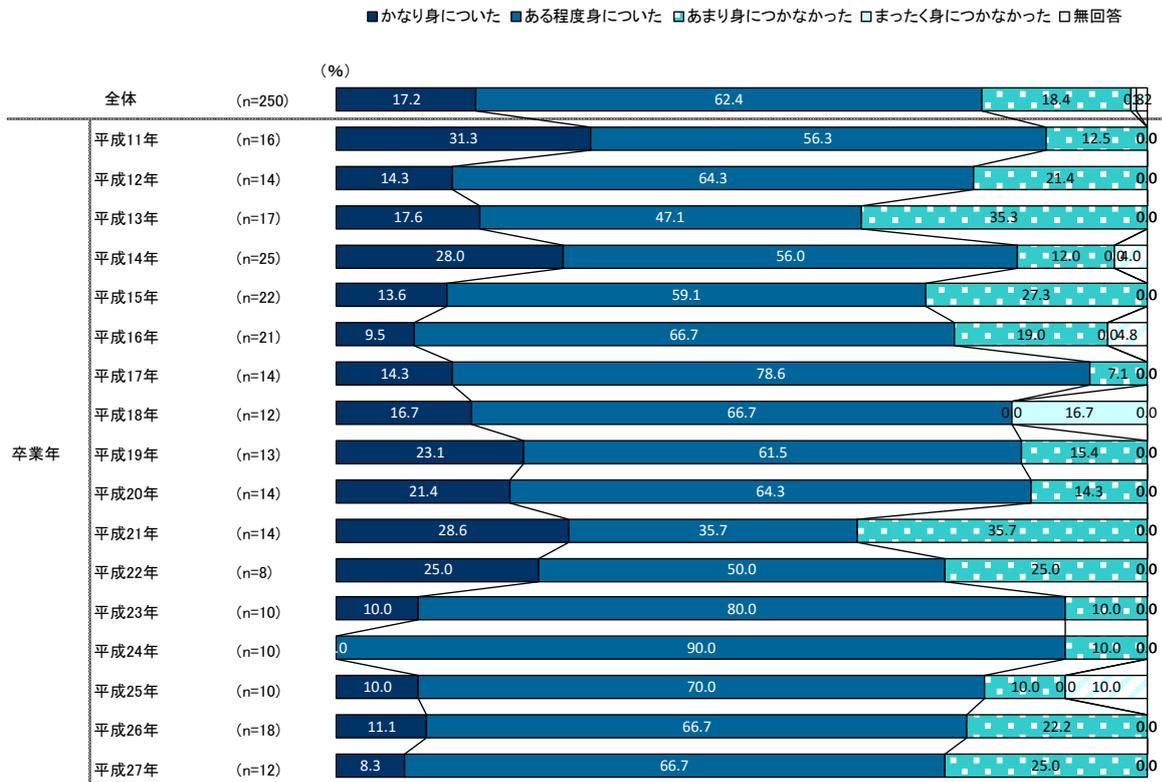
◆問 11 「授業や活動を通して、以下の能力を身につけることができましたか。」

(a) 19 項目に関する卒業年別の回答

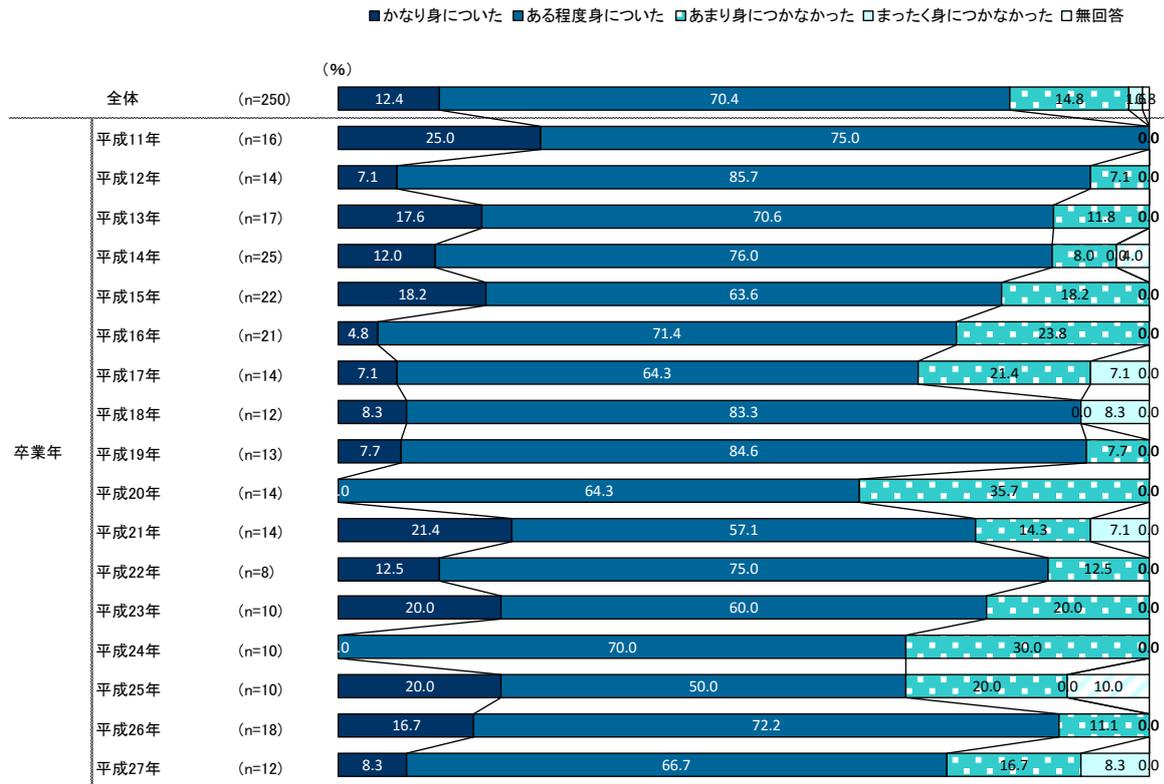
1. プレゼンテーションの能力



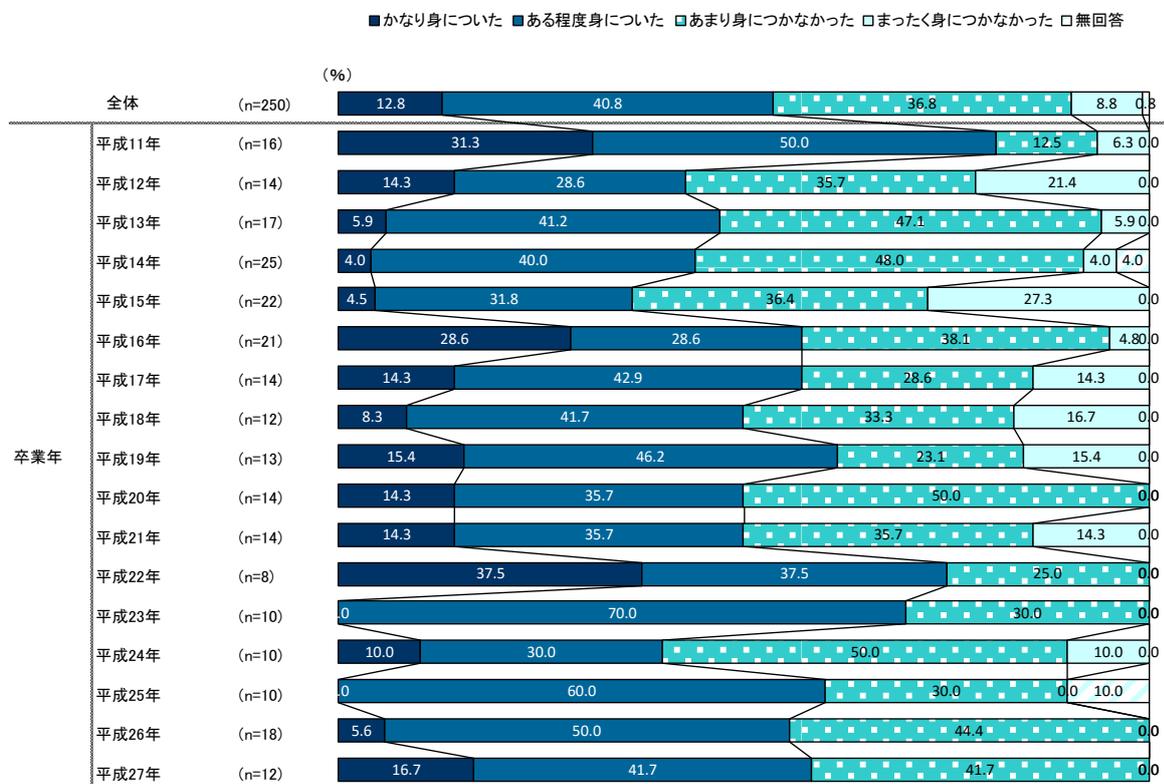
2. 医師としての倫理観



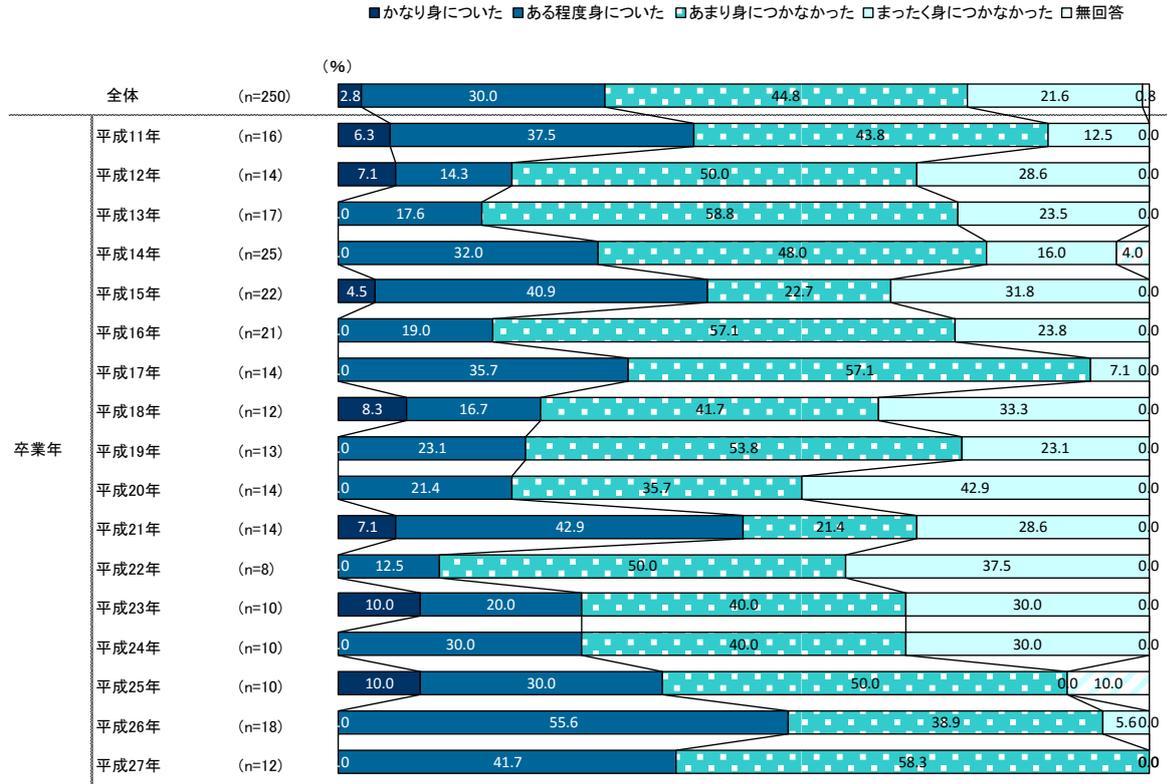
3. 診断や治療に関する知識



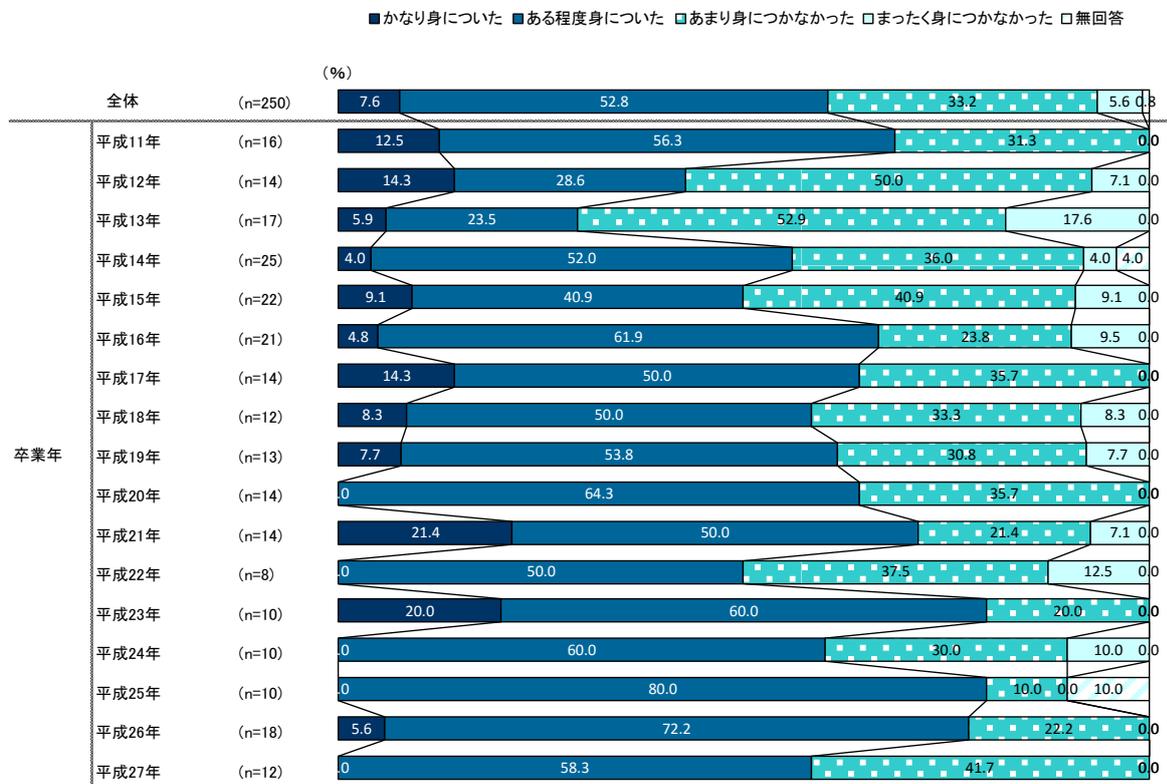
4. 組織や集団をまとめるリーダーシップの能力



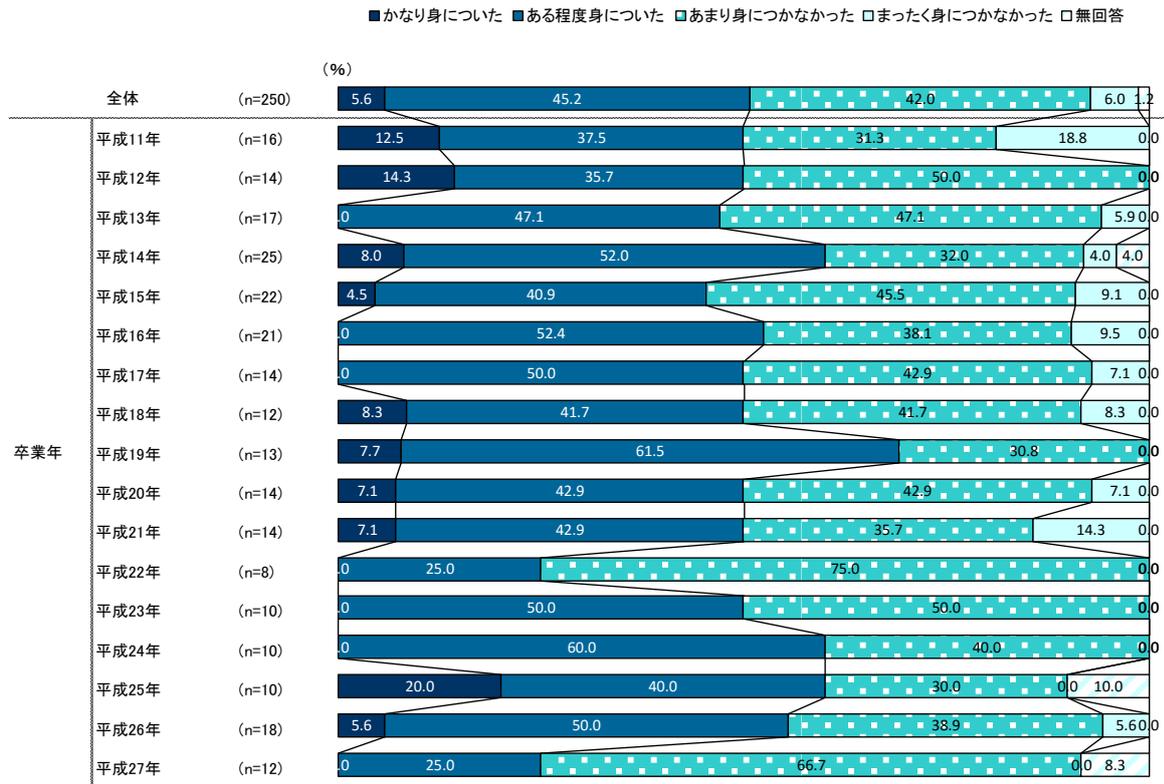
5. 医学研究の考え方や手法



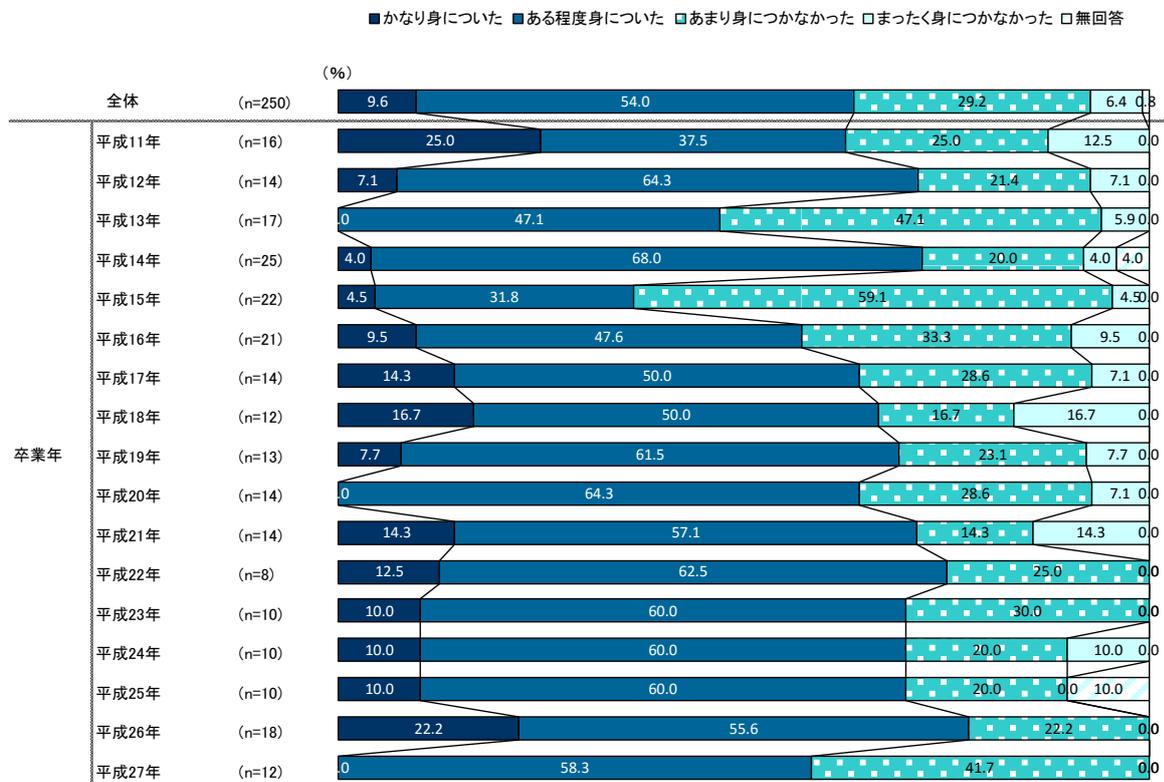
6. ものごとの問題点をみつけ解決方法を考える能力



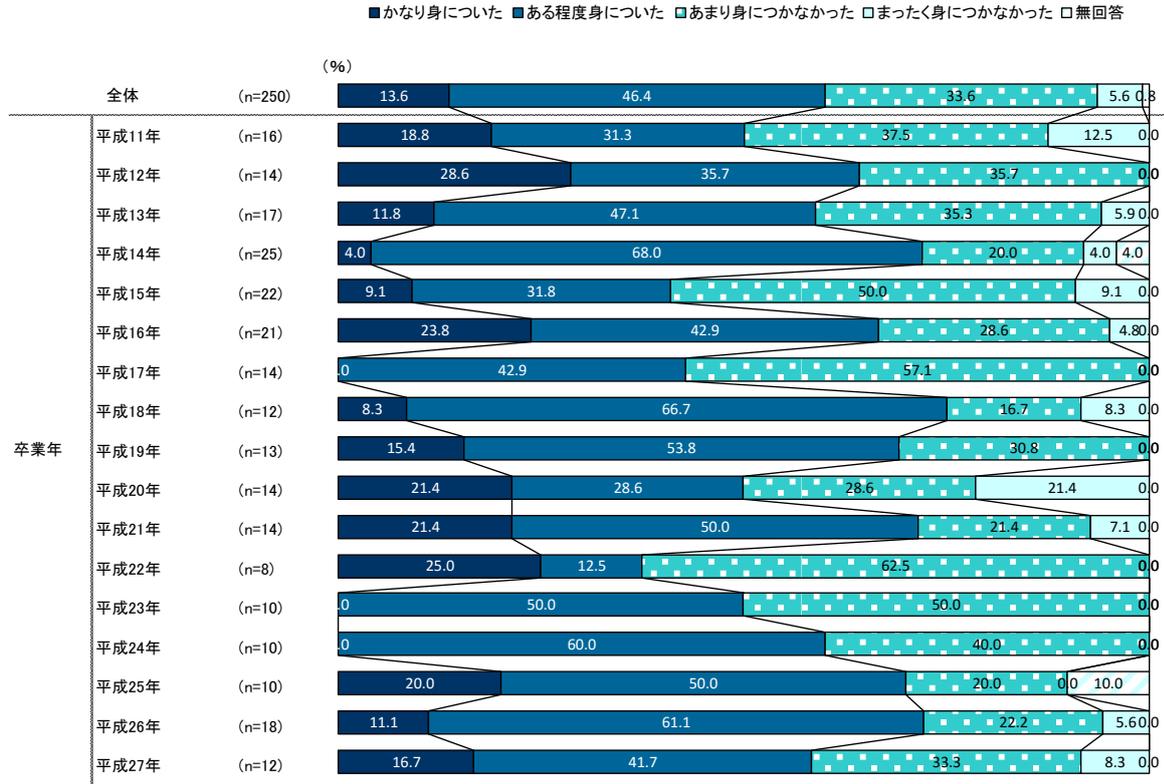
7. 疾病予防の考え方と保健・医療制度の知識



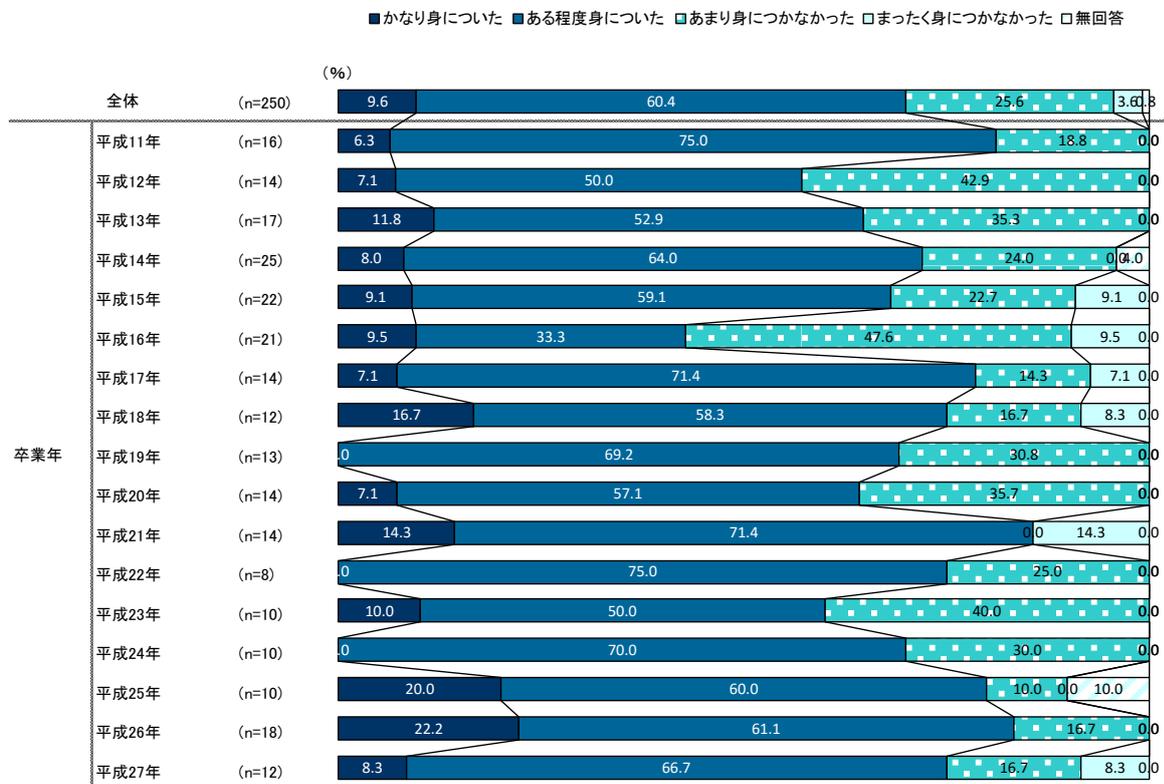
8. 自己研鑽・自己啓発を継続的に出来る学習習慣



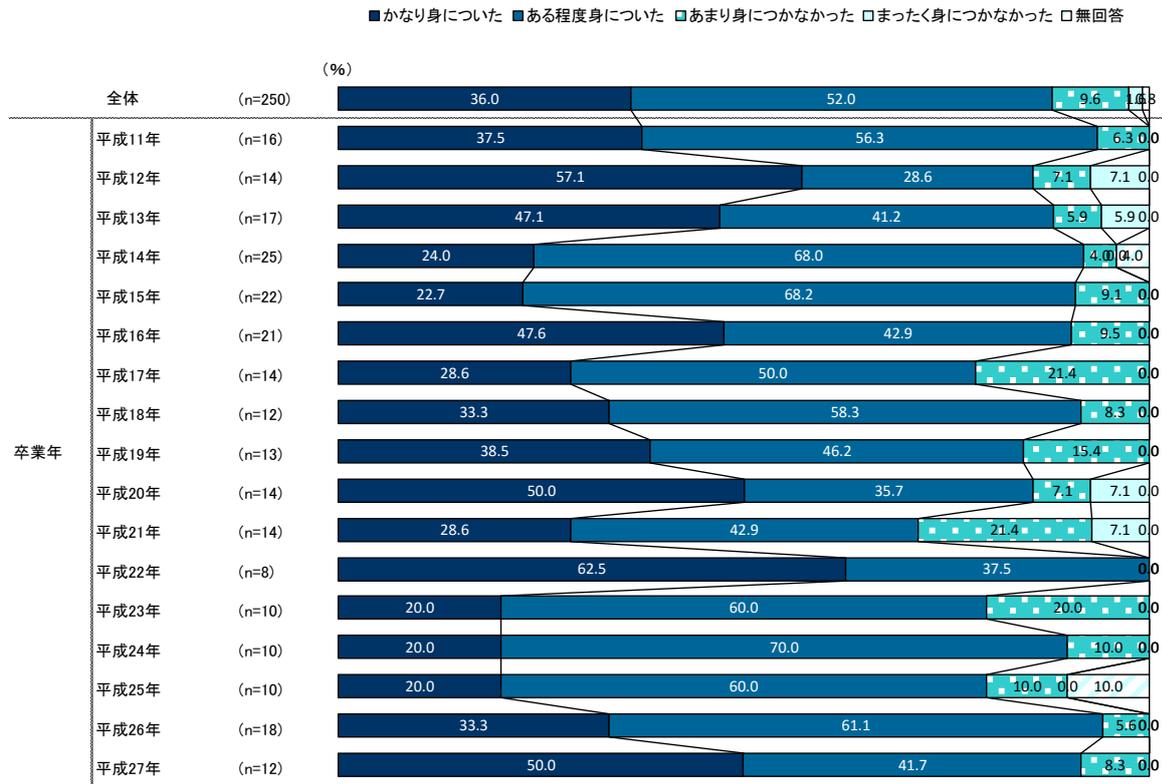
9.豊かな教養による社会を見る広い視野



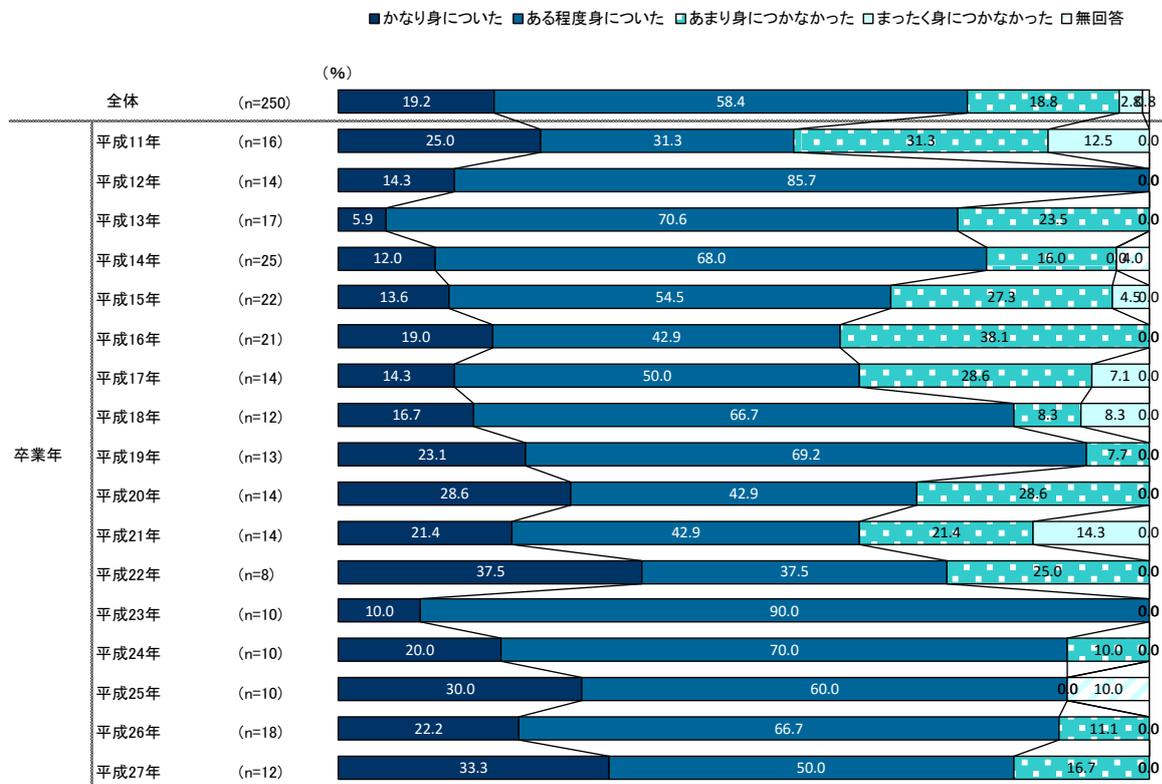
10.病態の理解に必要な基礎医学の知識



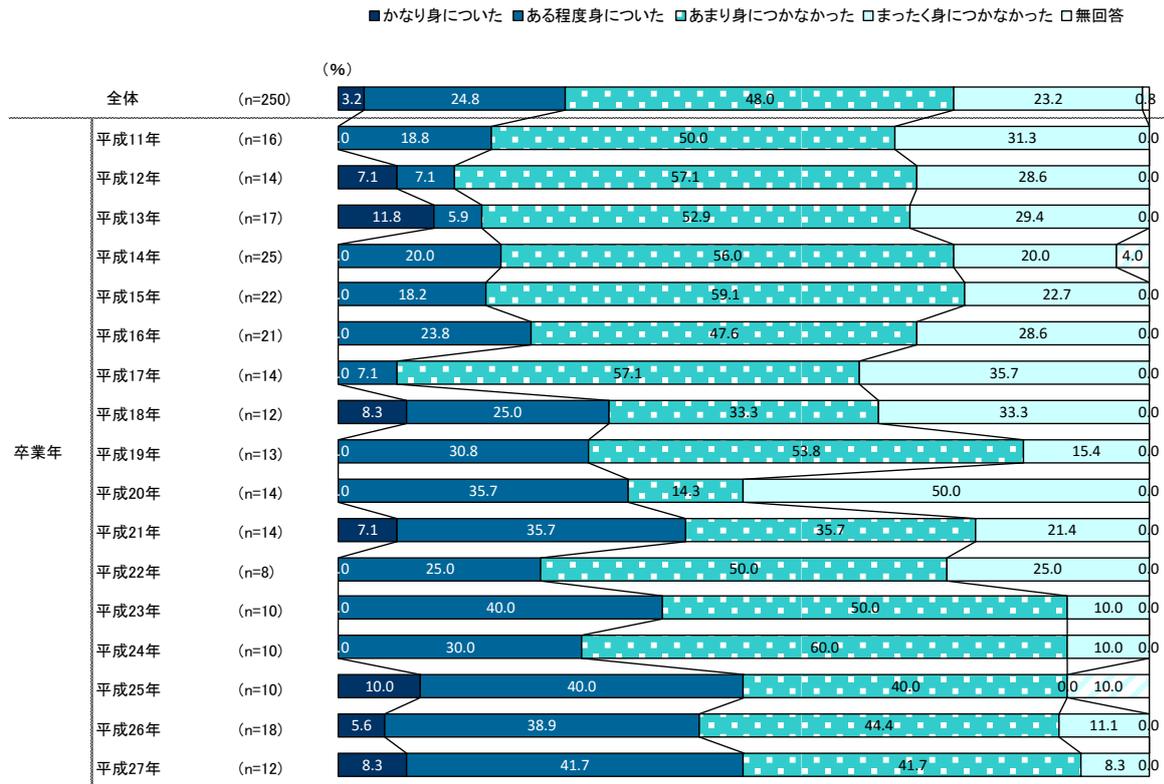
11.豊かな人間性



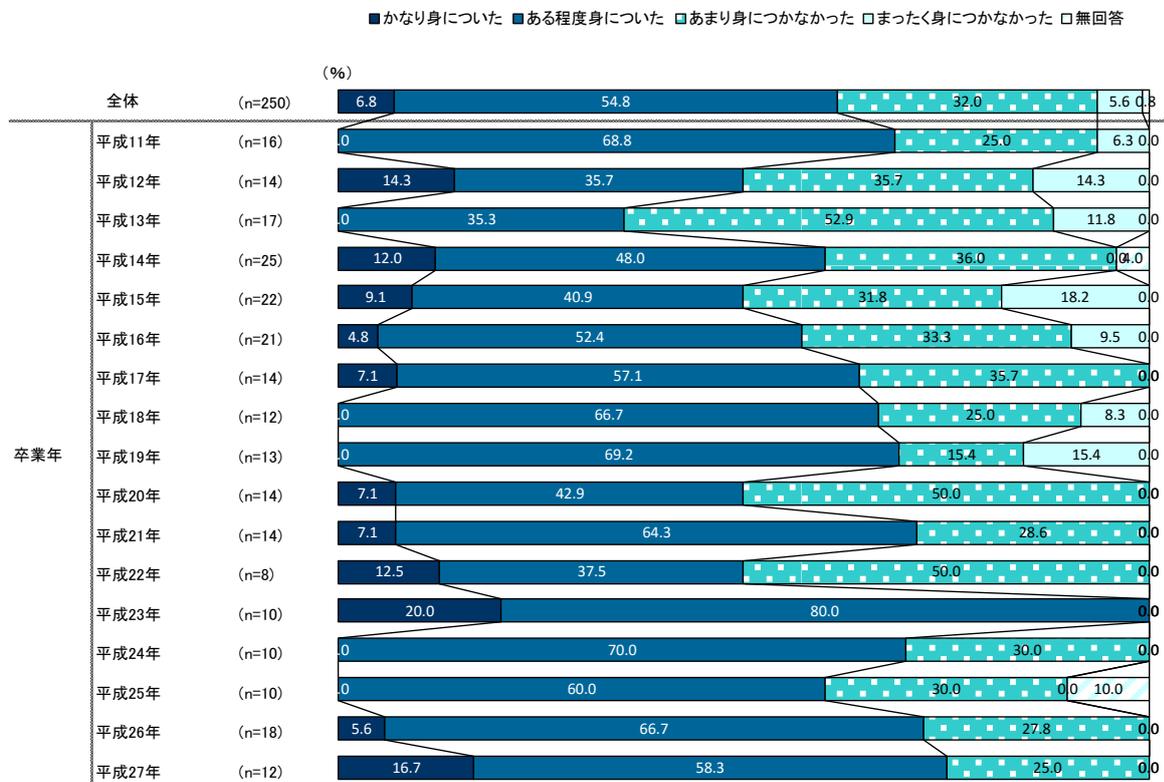
12.医療面接の技能



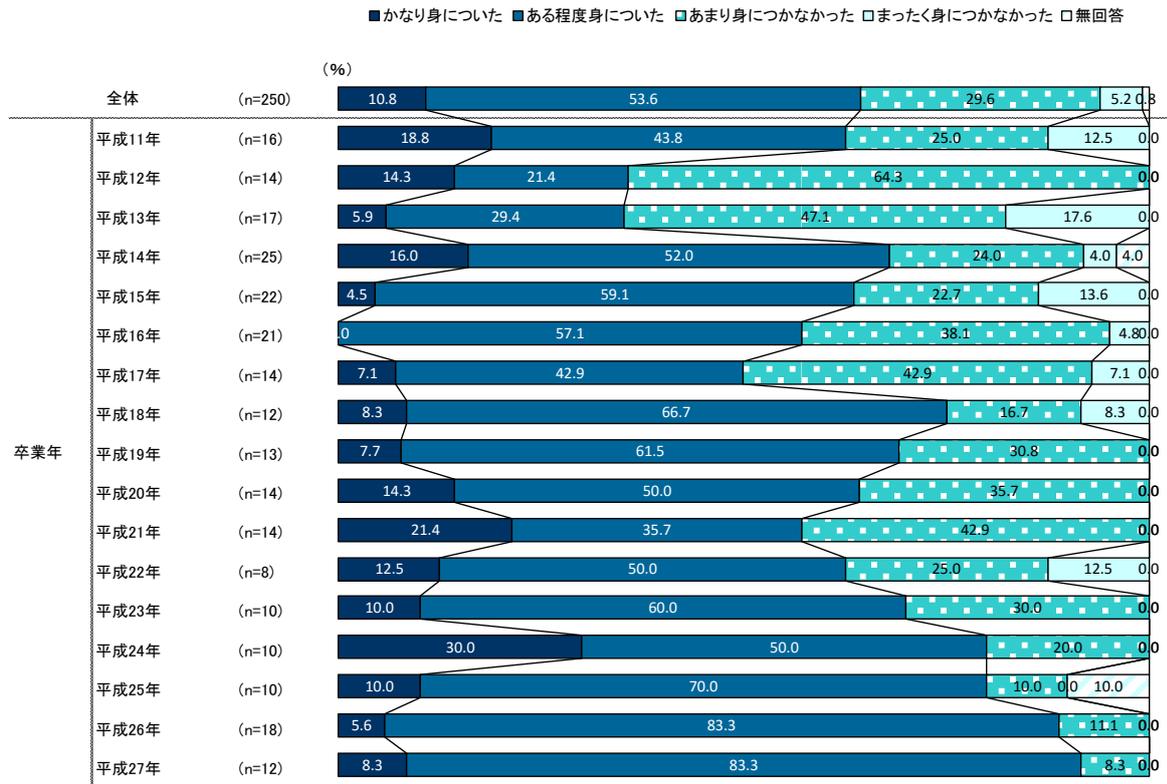
13. 語学など国際化への対応能力



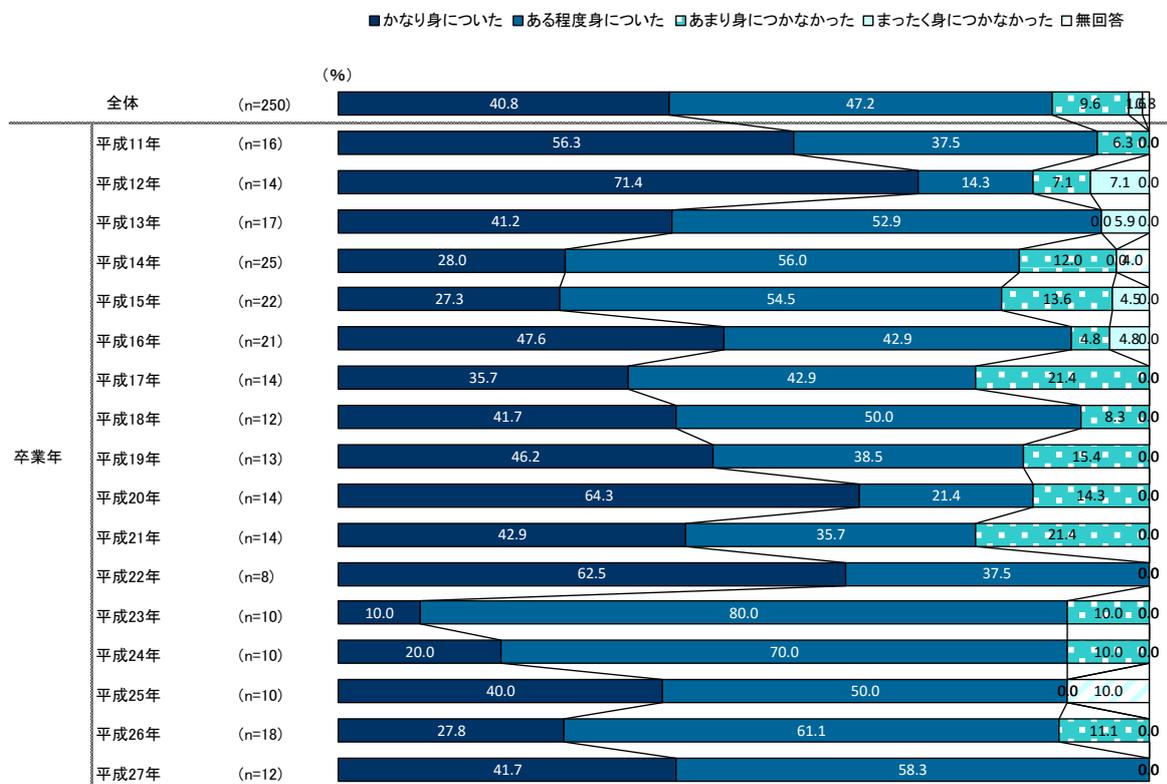
14. 論理的な思考力



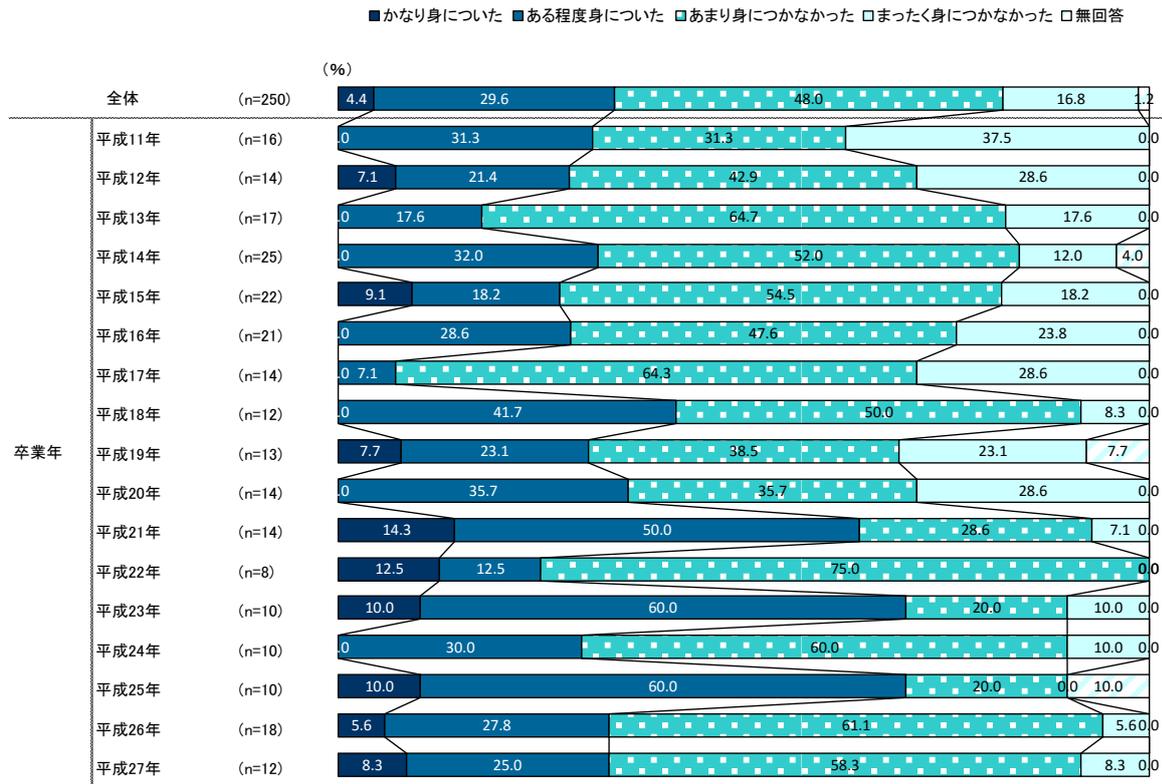
15.医療安全についての知識



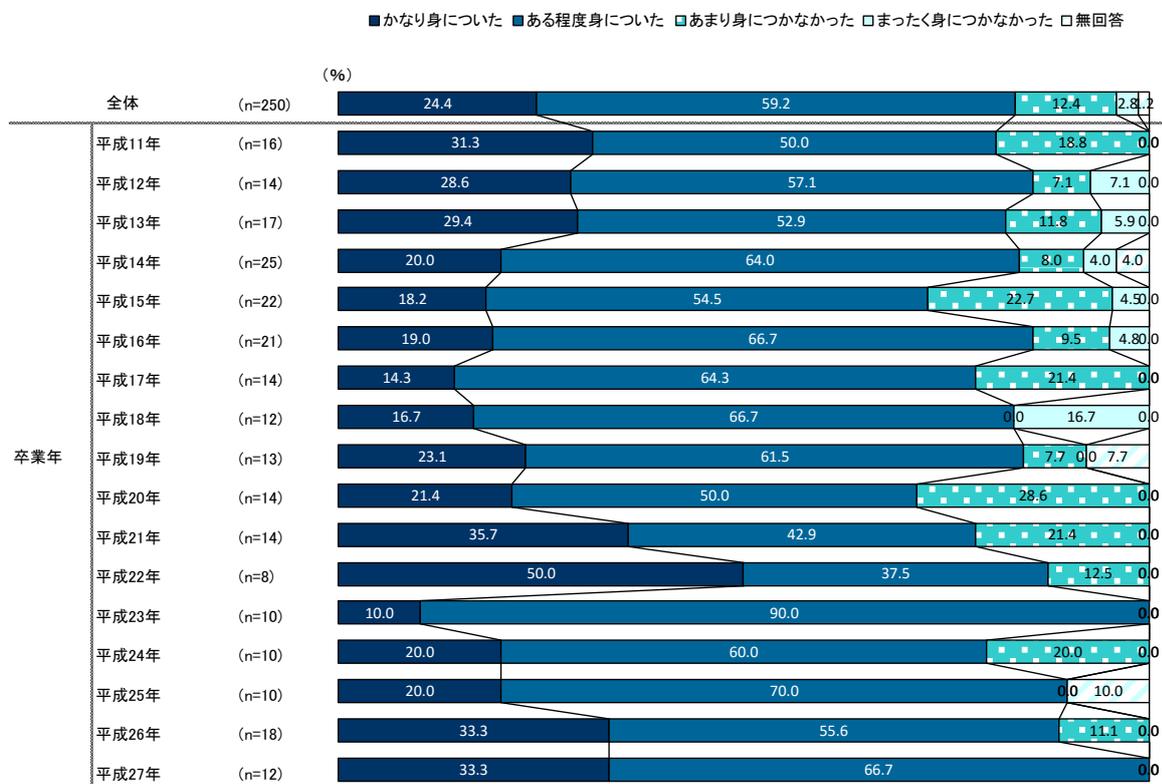
16.礼儀・協調性・責任感など集団生活に必要な能力



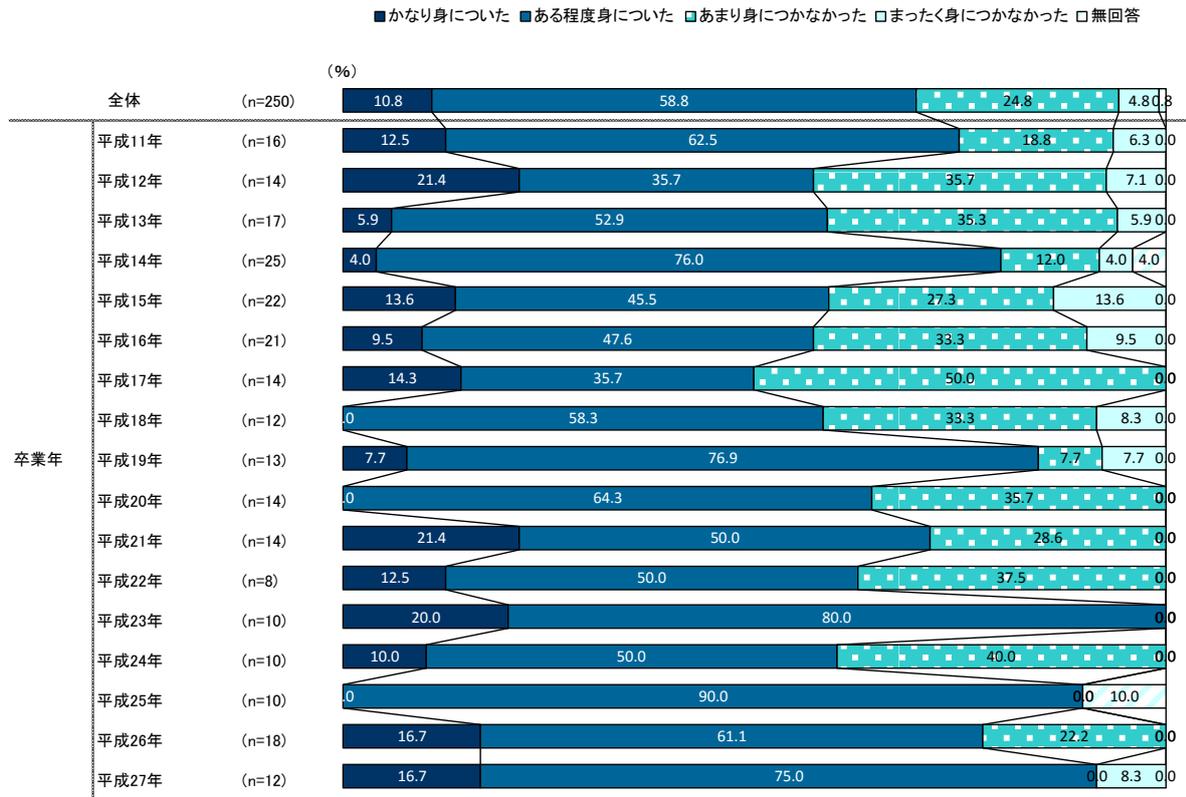
17.IT 時代に対応した情報スキル



18.患者・家族に対する接遇・態度の能力



19.自分の意見を筋道立てて表現する能力



(b) 質問全体の総合的比較

「かなり身についた」と「ある程度身についた」の回答者をまとめて「身についた」群とし、「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」をまとめて「身につかなかった」群として、群で比較した。結果を図 3-1 に示す。

単純比較では、19 項目中 15 項目で、「身についた」と回答した割合した割合が「身につかなかった」と回答した割合を上回った。特に高かった項目は、「診断や治療に関する知識」「豊かな人間性」「礼儀・協調性・責任感など集団生活に必要な能力」「患者・家族に対する接遇・態度の能力」の項目であった。

逆に「身につかなかった」と回答した割合が高めだった項目は、「医学研究の考え方や手法」「語学など国際化への対応能力」「IT 時代に対応した情報スキル」の項目であった。

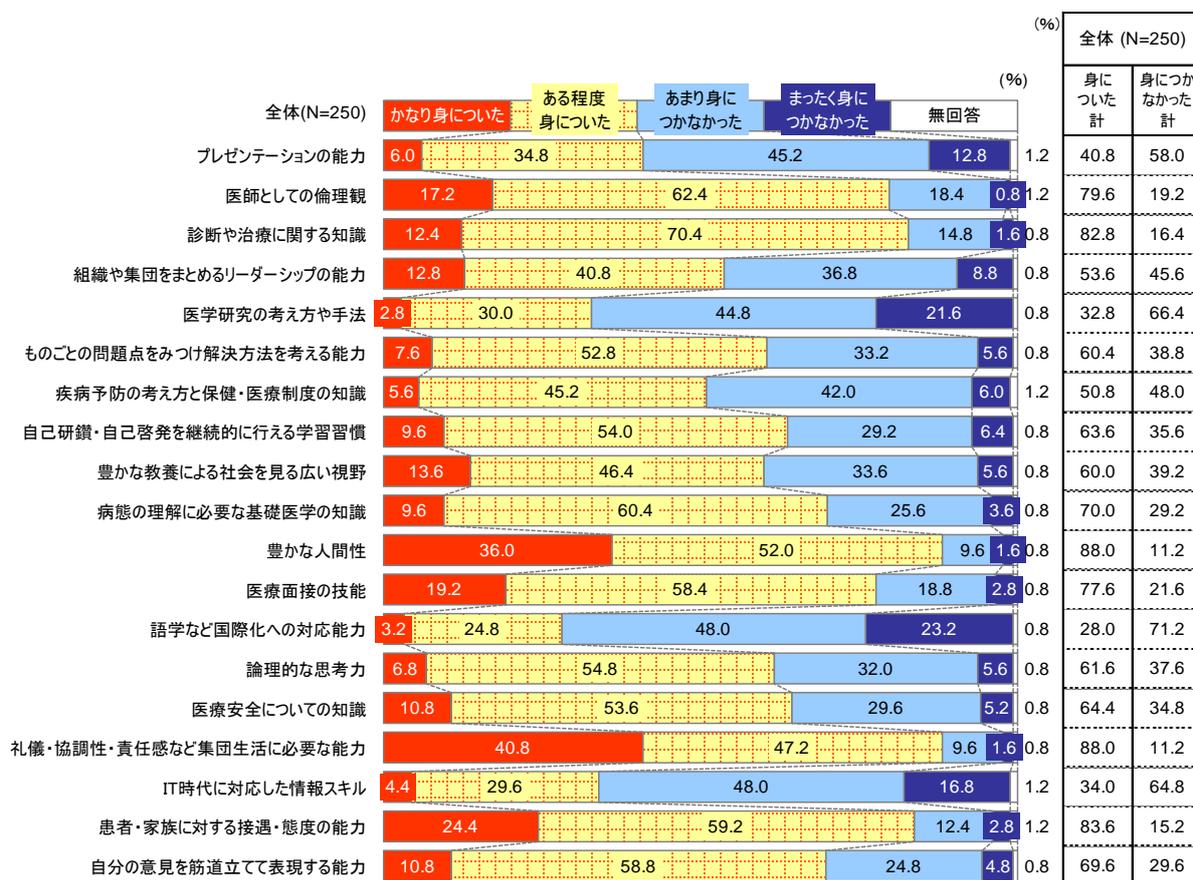


図 3-1 在学中に習得した能力に関する項目の全体的な回答状況

(c) 履修カリキュラムによる比較

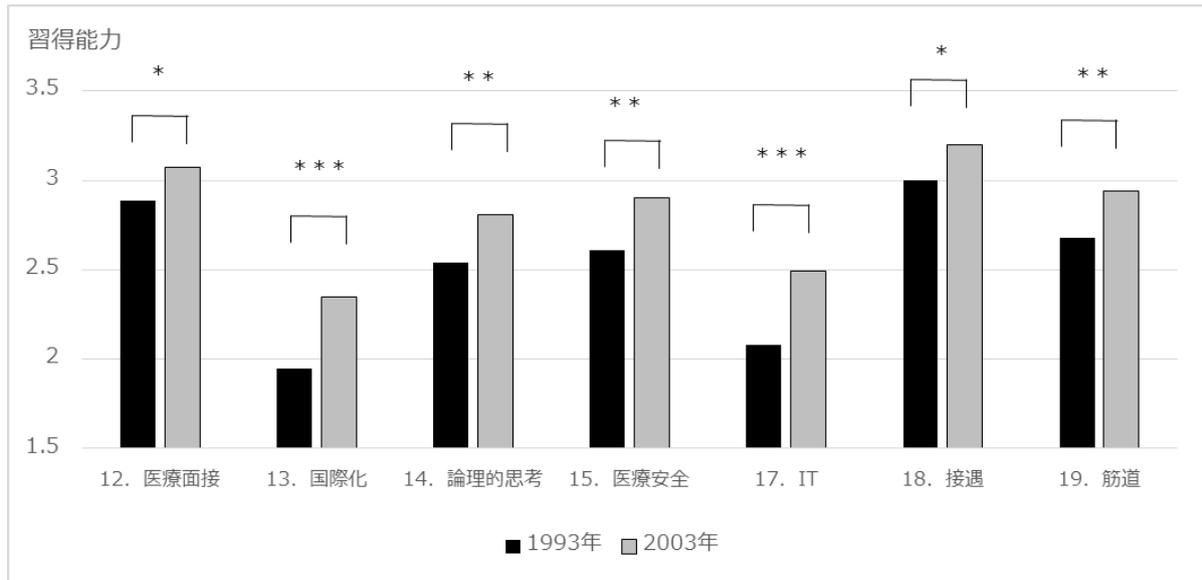
回答について、「かなり身についた」：4点、「ある程度身についた」：3点、「あまり身につかなかった」：2点、「まったく身につかなかった」：1点を配し、個人別得点を集計して平均点を算出した。結果を表3-3、図3-2に示す。

19項目のうち13項目で2003年カリキュラム履修者の得点が勝っていた。一方、「豊かな教養による社会を見る広い視野」の1項目において、1993年カリキュラム履修者の得点が勝っていた。

t検定を行ったところ、有意差のあった項目は「医療面接の技法」「語学などの国際化への対応力」「論理的な思考力」「医療安全についての知識」「IT時代に対応した情報スキル」「患者・家族に対する接遇・態度の能力」「自分の意見を筋道立てて表現する能力」であり、いずれも03年カリキュラム履修者の得点が高かった。特に、「語学など国際化への対応能力」「IT時代に対応した情報スキル」の項目で03年の評価が高く、語学能力の向上やITスキルの習得は、本学が力を入れてきた取り組みであり、一定の評価がなされている結果といえるだろう。

表3-3 履修したカリキュラムの違いによる習得能力の項目ごとの得点の差

	1993年	2003年	有意差
1. プレゼンテーション能力	2.30	2.44	
2. 医師としての倫理観	2.99	2.93	
3. 診断や治療に関する知識	2.95	2.93	
4. 組織や集団をまとめるリーダーシップの能力	2.54	2.65	
5. 医学研究の考え方や手法	2.08	2.27	
6. ものごとの問題点をみつけ解決方法を考える能力	2.57	2.74	
7. 疾病予防の考え方と保健・医療制度の知識	2.51	2.50	
8. 自己研鑽・自己啓発を継続的に進める学習習慣	2.61	2.80	
9. 豊かな教養による社会を見る広い視野	2.99	2.73	
10. 病態の理解に必要な基礎医学の知識	2.72	2.86	
11. 豊かな人間性	3.25	3.20	
12. 医療面接の技能	2.89	3.07	*
13. 語学など国際化への対応能力	1.95	2.35	***
14. 論理的な思考力	2.54	2.81	**
15. 医療安全についての知識	2.61	2.90	**
16. 礼儀・協調性・責任感など集団生活に必要なスキル	3.29	3.26	
17. IT時代に対応した情報スキル	2.08	2.49	***
18. 患者・家族に対する接遇・態度の能力	3.00	3.20	*
19. 自分の意見を筋道立てて表現する能力	2.68	2.94	**



(有意差のある項目のみを抜粋)

図 3-2 履修したカリキュラムの違いによる習得能力の項目ごとの有意差

◆問 12「在学中にもっと学んでおけば良かった、身につけておけばよかったと思うことは何ですか。」

結果を図 3-3 に示す。選択された割合の高い項目は、「実践的英語教育」「統計学」であった。英語教育は、本学でも力を入れてきた項目ではあるが、依然として現場でのニーズは高く、在学中にもっと勉強しておけばよかった科目として挙げられたものと予測される。

統計学は、独立した科目としては、現在のカリキュラムに存在していない。やはりこちらも、現場での医療統計に対するニーズが高く、今になってきちんと勉強しておけばよかったと感じていると予測されよう。

履修したカリキュラムによる比較では、93年カリキュラム履修者において、「統計学」「医療経済学」を選択した割合が高めの傾向があった。逆に、2003年カリキュラム履修者において、「基礎医学一般」「シミュレーション教育」を選択した割合が上回っていた。

男女の比較では、女性において、「実践的英語教育」を選択した割合が高めの傾向があった。

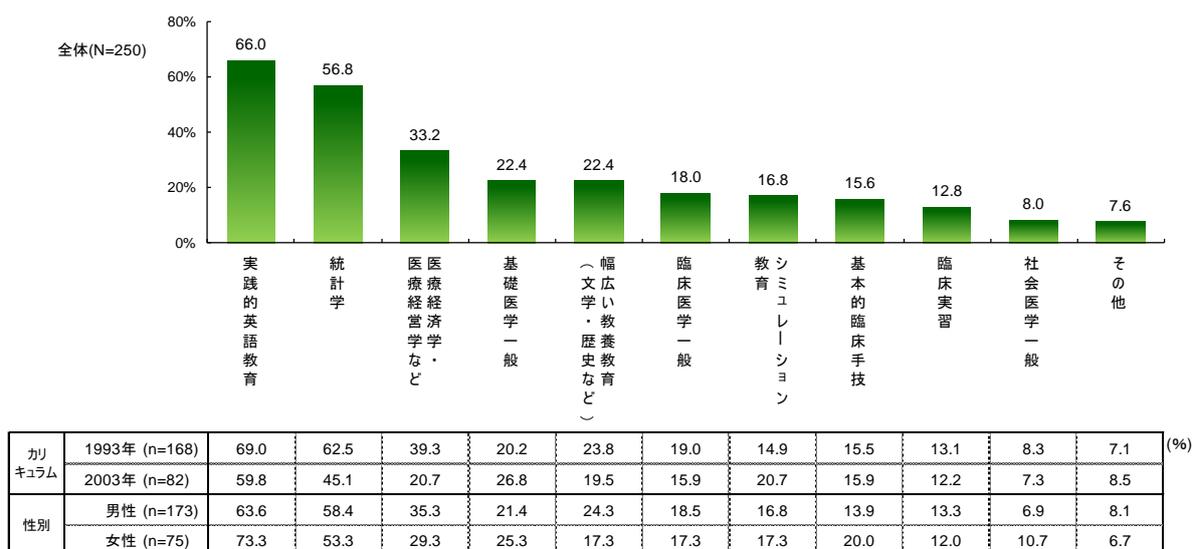
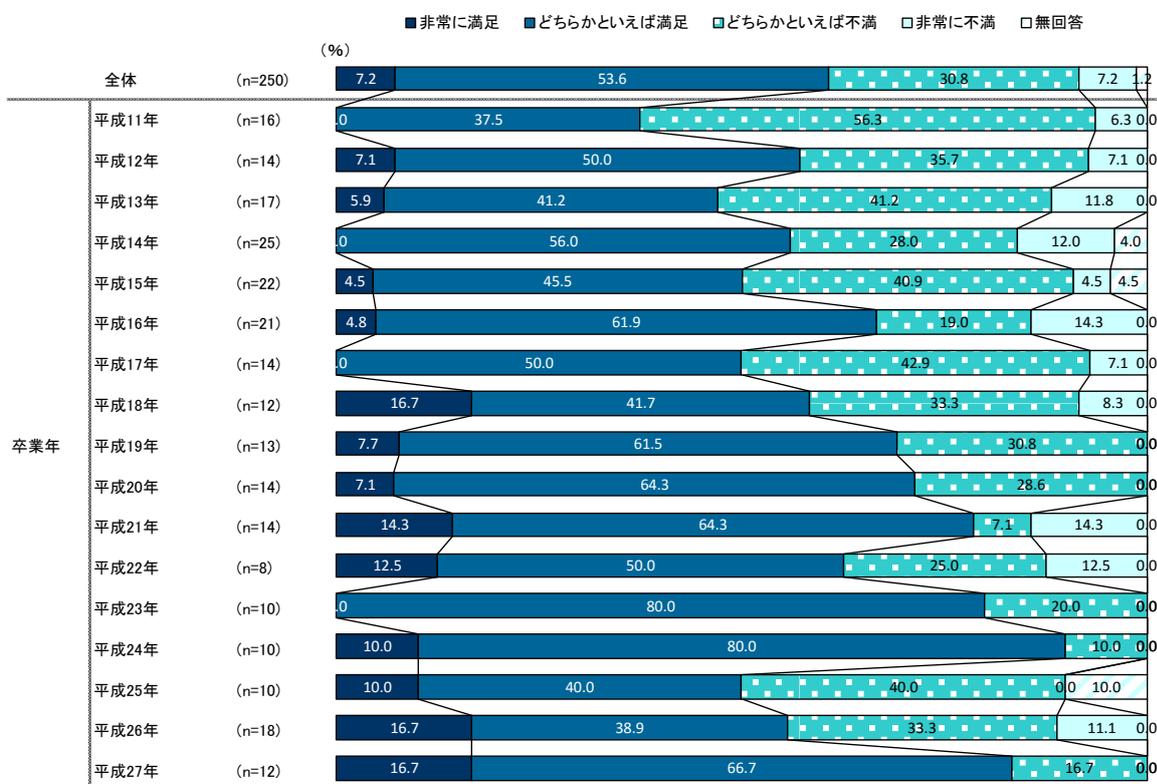


図 3-3 在学中に身につけておけばよかったと思う項目の選択状況

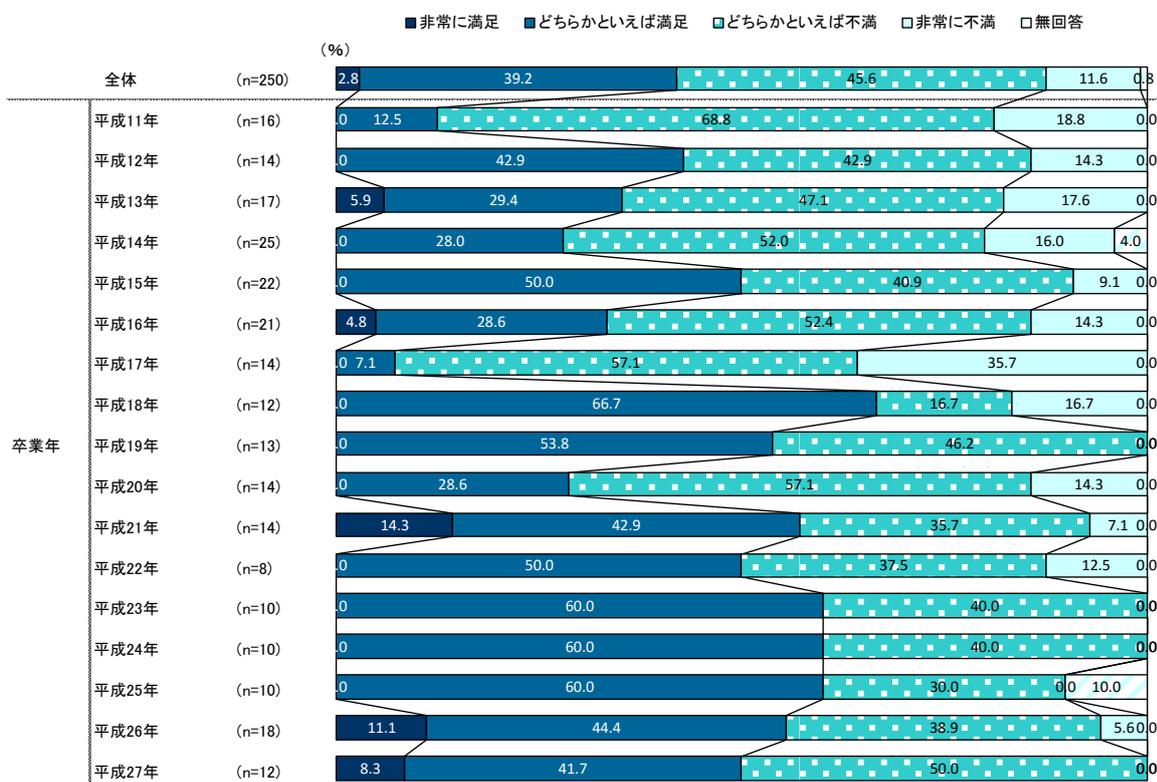
◆問 13 「在学中の各カリキュラムや設備に対して、どれくらい満足していますか。」

(a) 10 項目に関する卒業年別の回答

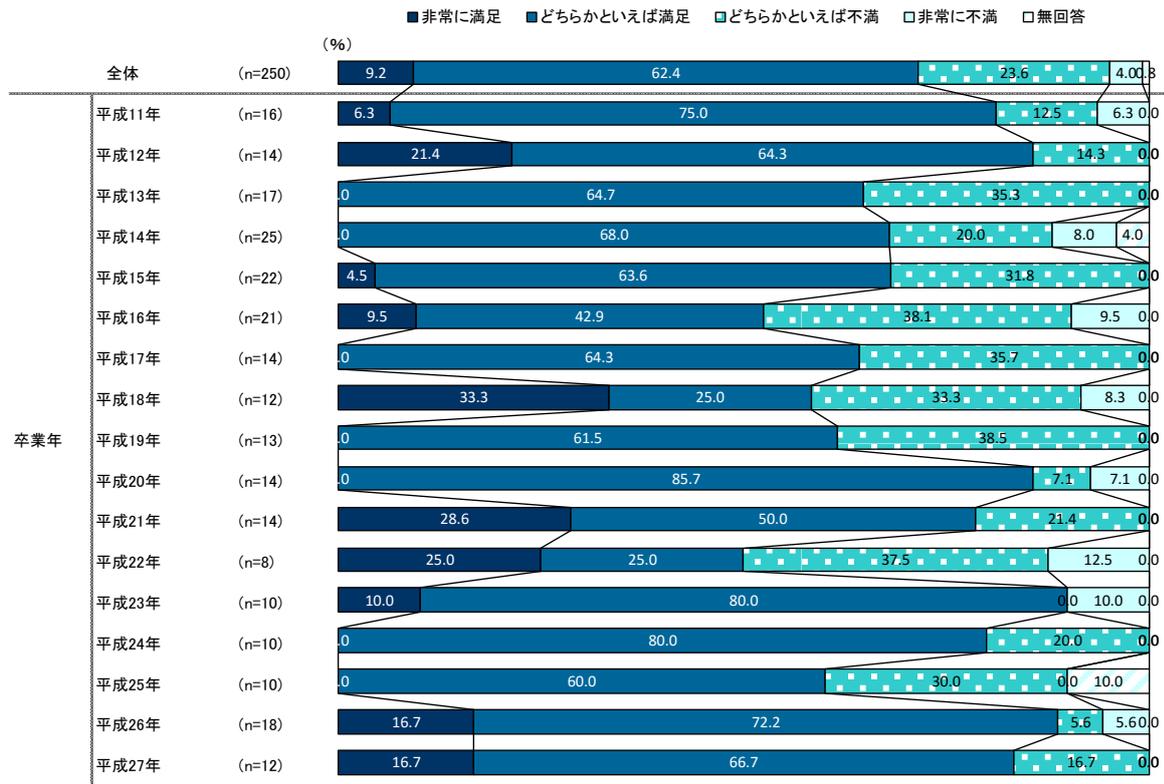
1. 一般教育系科目の授業・実習（語学を除く）



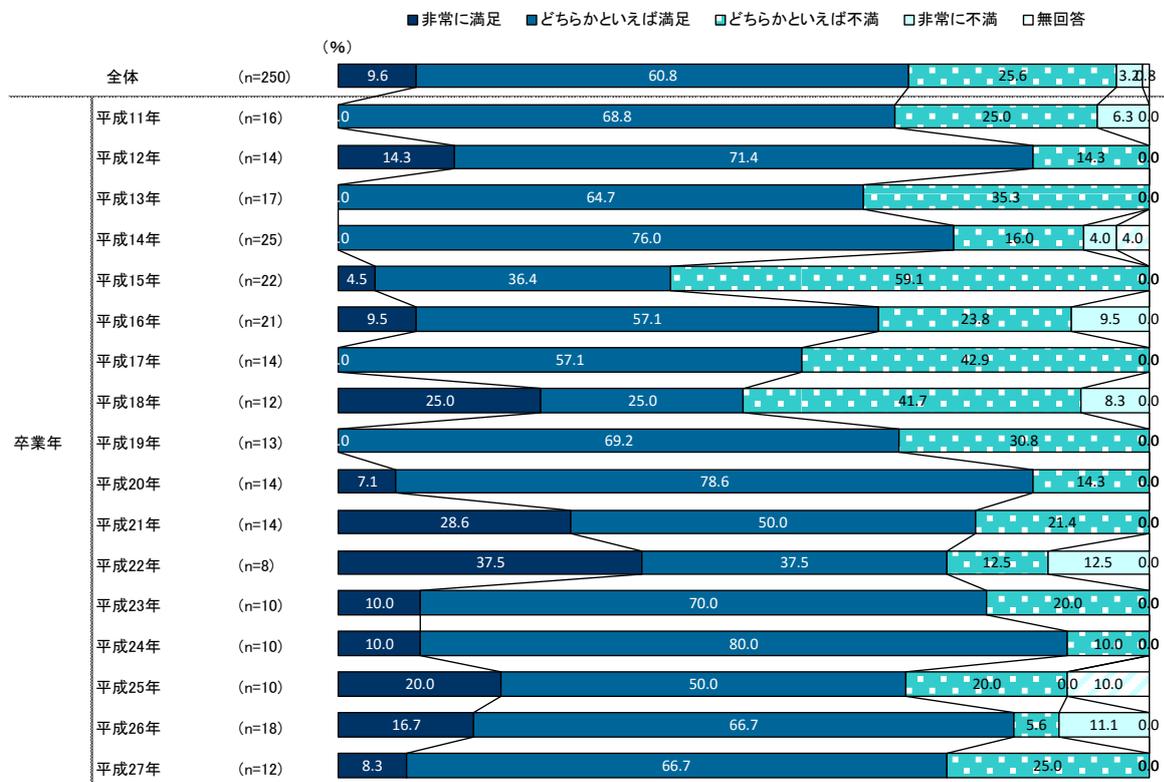
2. 語学の授業



3.基礎医学系科目の授業・実習



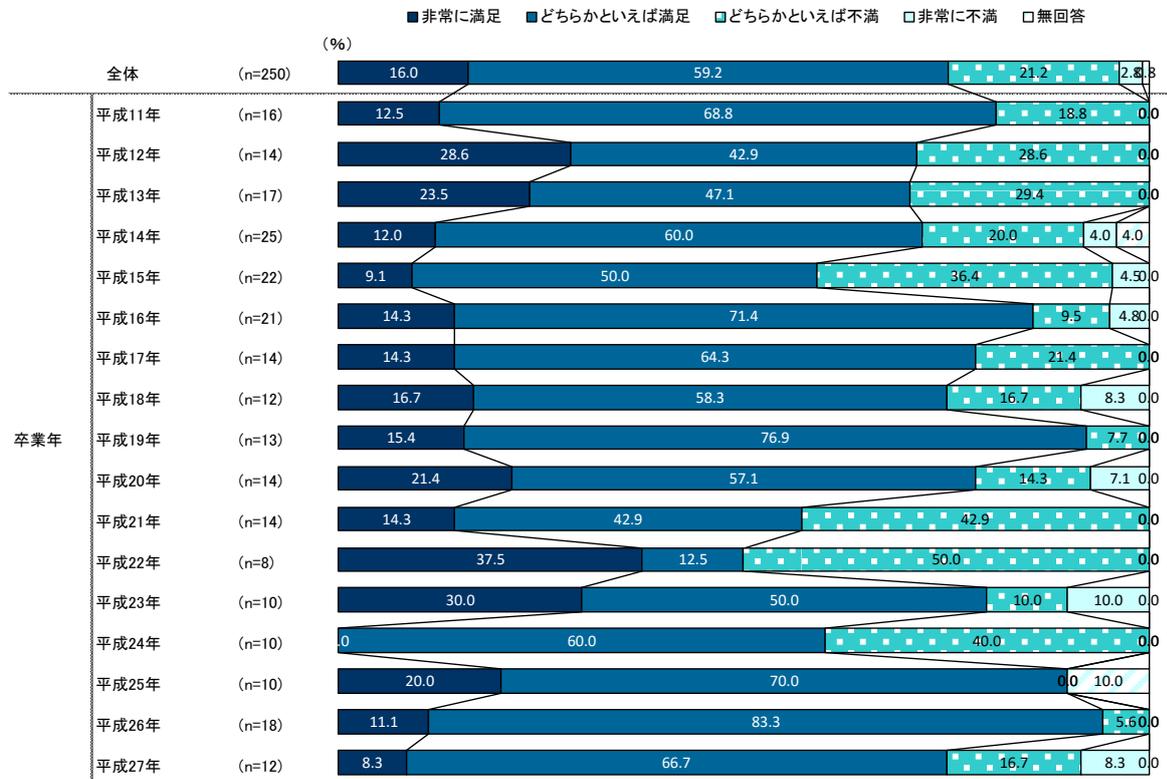
4.社会医学系科目の授業・実習



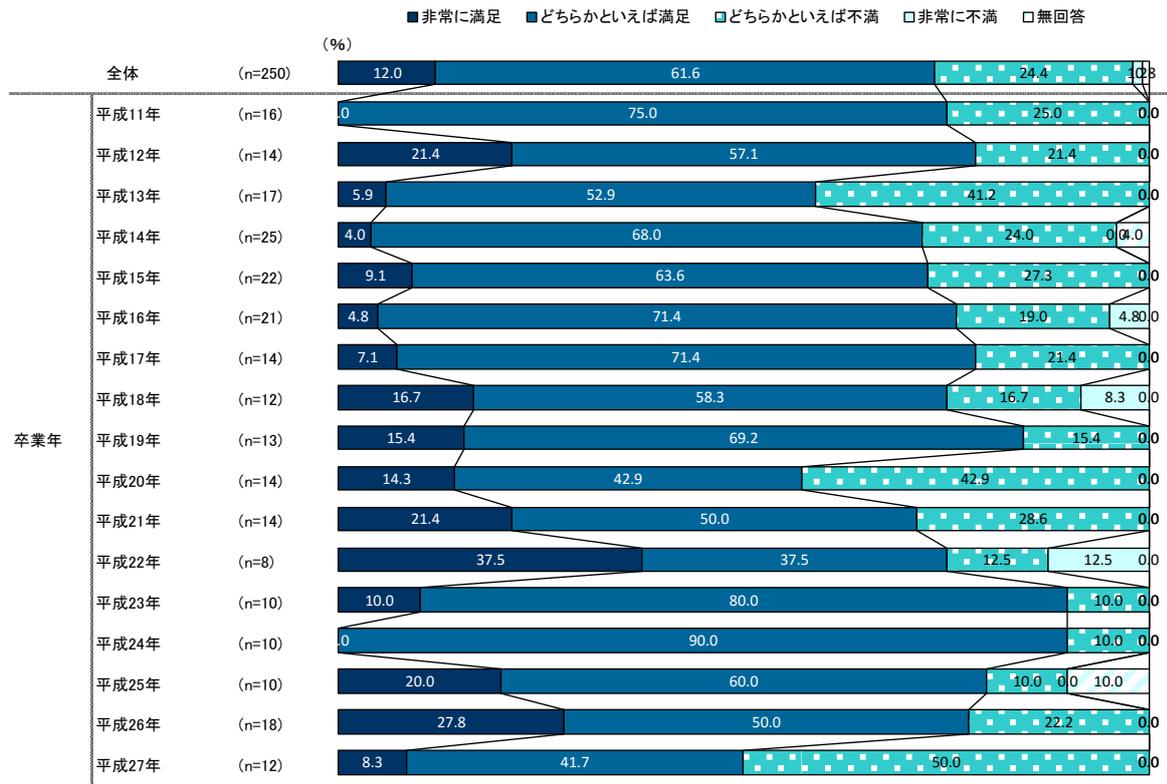
5.臨床医学系科目の授業



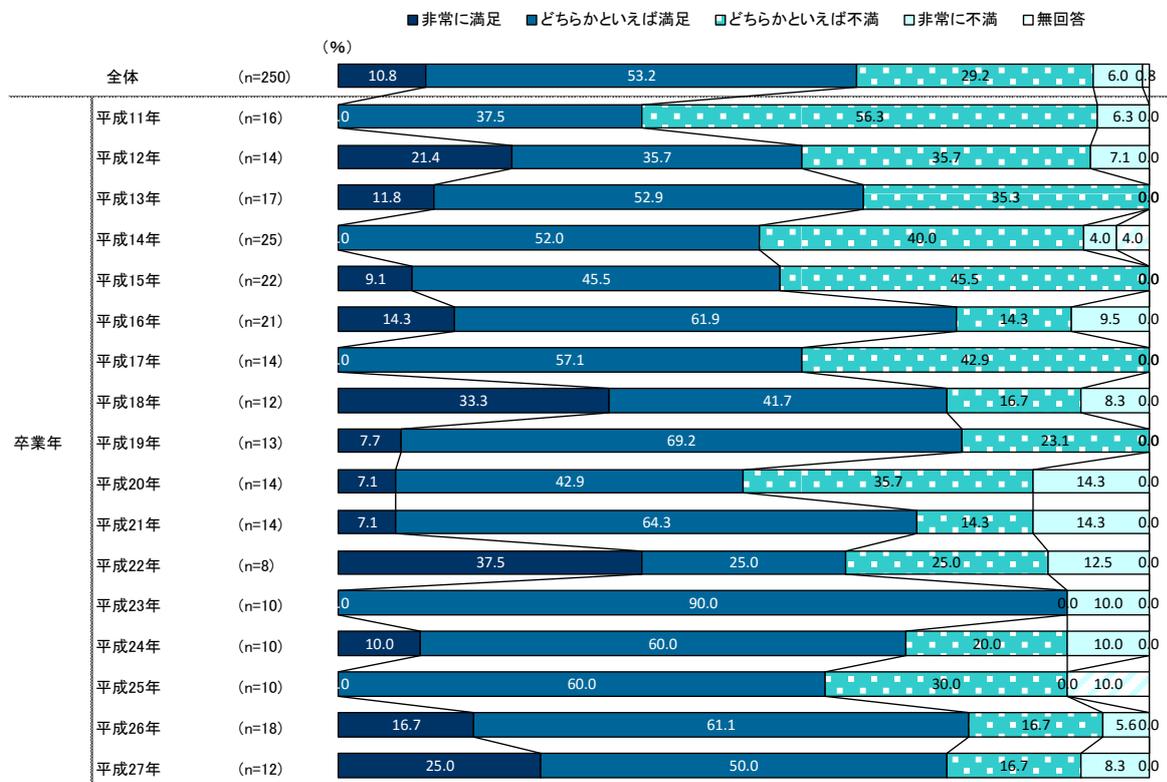
6.臨床実習



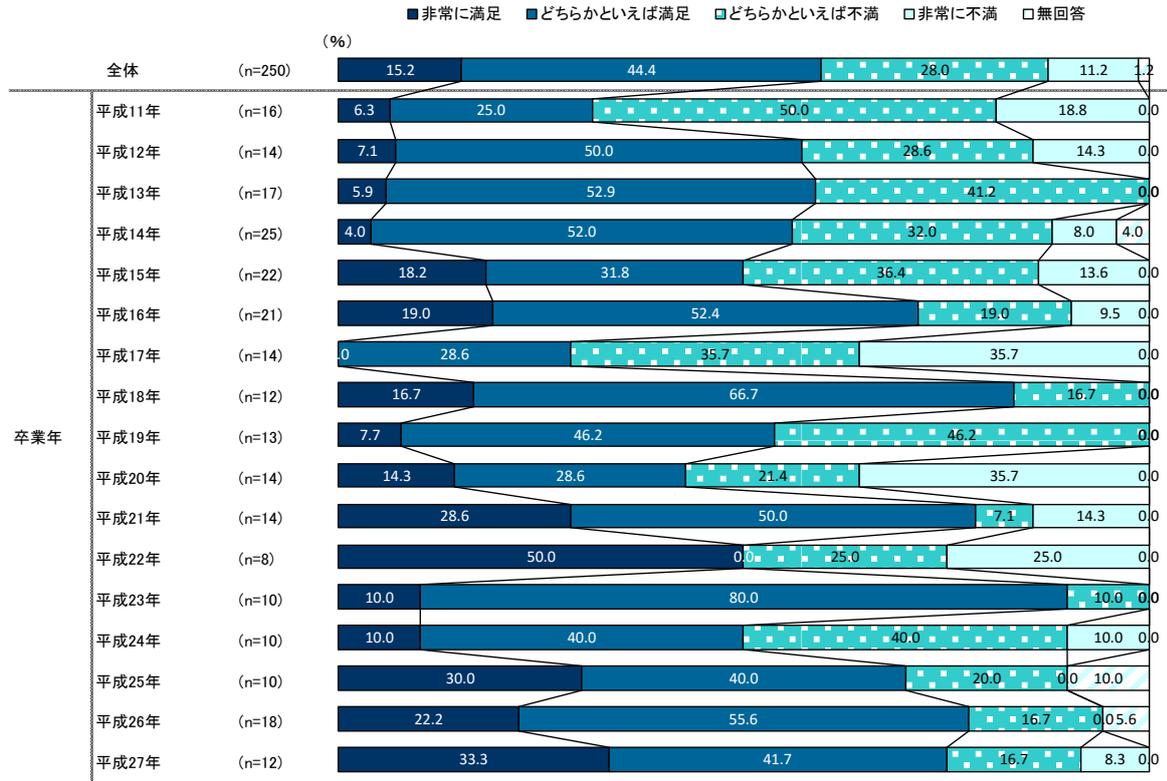
7.カリキュラム全般（科目の種類・配置・配当年次など）



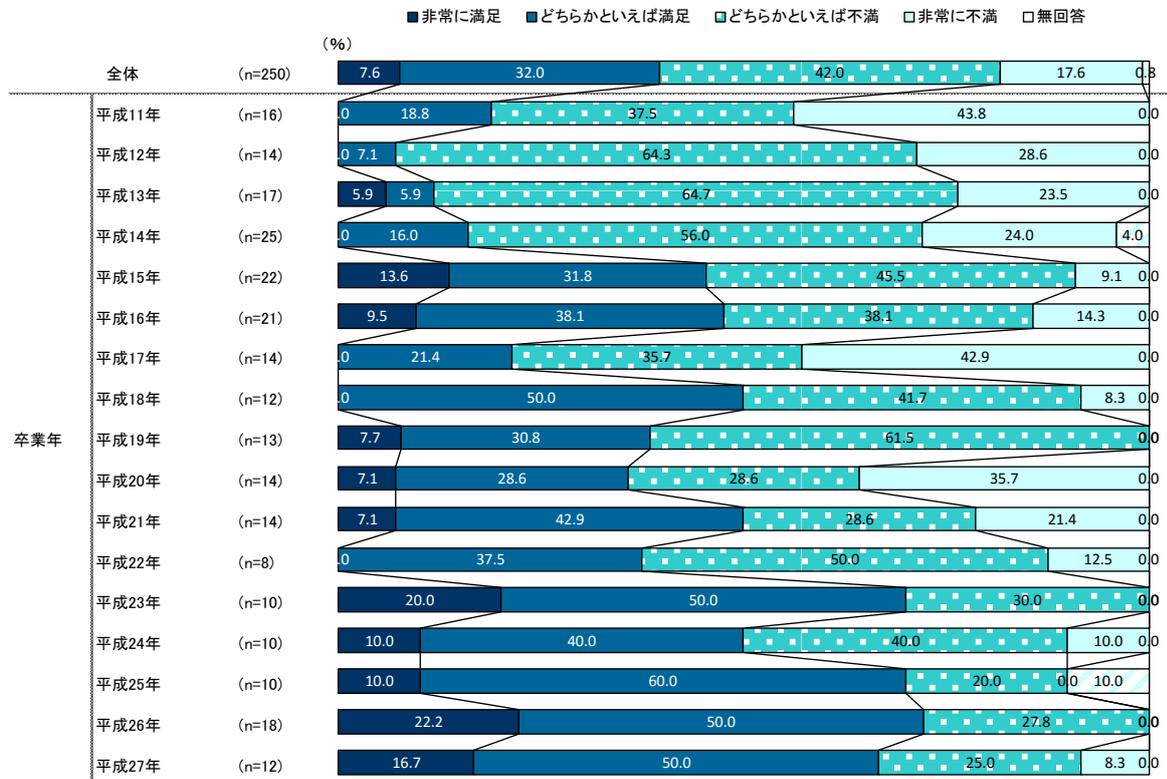
8.教室・実習室等の設備環境



9. 図書館の環境や整備



10. パソコンの利用環境



(b) 質問全体の総合的比較

「非常に満足」と「どちらかといえば満足」をまとめて「満足」群とし、「どちらかといえば不満」と「非常に不満」をまとめて「不満」群として、群で比較した。結果を図 3-4 に示す。

満足と回答した割合が特に高かったのは、「臨床医学系科目の授業」「臨床実習」の項目であった。逆に不満と回答した割合が高かったのは、「語学の授業」「パソコンの利用環境」の項目であった。

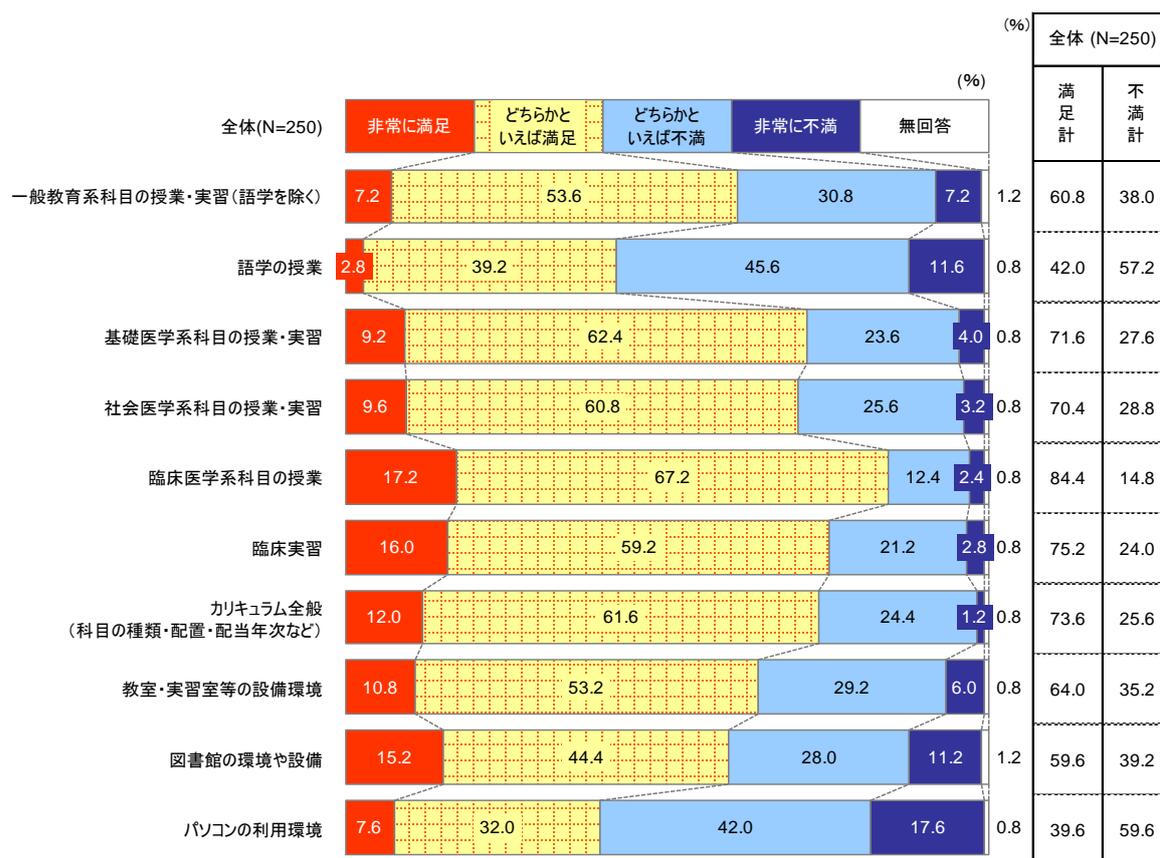


図 3-4 在学中のカリキュラムや設備に関する項目の全体的な回答状況

本調査の対象者の大部分は、平成 26 年 7 月に竣工した西新宿キャンパスの教育研究棟（自主自学館）で学習した経験のない卒業生である。施設や設備については適宜改修を進めており、新校舎・新設備で学習した卒業生が増えてくれば、不満は低減していくと考えられる。しかし、テクノロジーの進化は日進月歩であり、ICT の環境については、継続的に更新を続けていく必要があると考えられる。

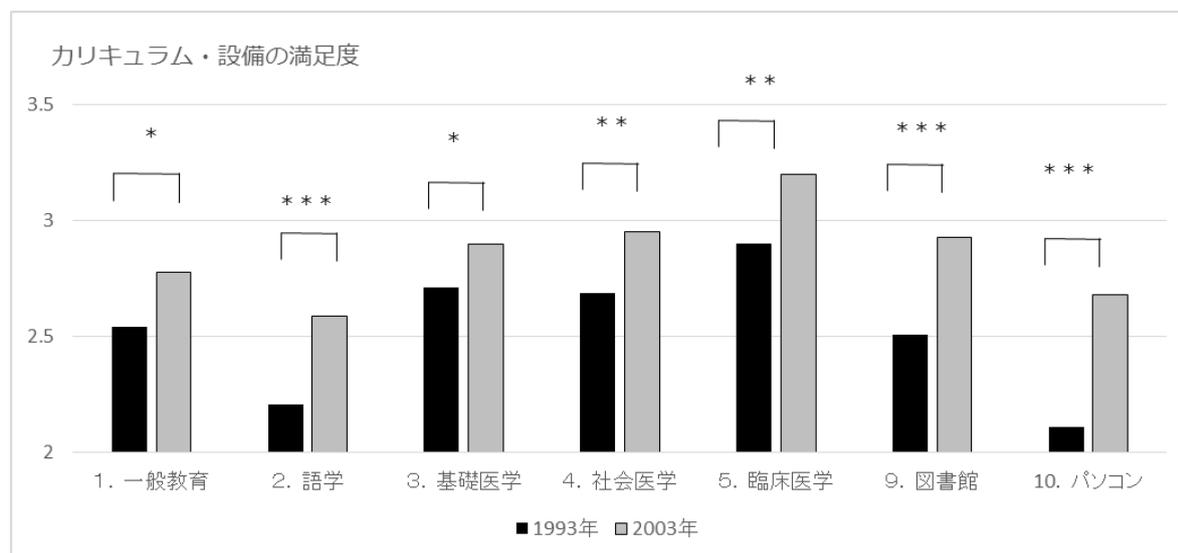
語学については、前項目の間 12 の結果の通り、臨床現場でも外国語を必要とする場面は多く、在学中の不満が現在になって析出された結果であると予測されよう。

(c) 履修カリキュラムによる比較

回答について、「非常に満足」：4点、「どちらかといえば満足」：3点、「どちらかといえば不満」：2点、「非常に不満」：1点を配し、履修カリキュラムを要因としたt検定を実施した。結果を表3-4、図3-5に示す。「臨床実習」以外のすべての9項目で、2003年カリキュラム履修者の得点が上回っていた。

表3-4 履修したカリキュラムの違いによるカリキュラムや設備への満足度の項目ごとの得点差

	1993年	2003年	有意差
1. 一般教育系科目の授業・実習（語学を除く）	2.54	2.78	*
2. 語学の授業	2.21	2.59	***
3. 基礎医学系科目の授業・実習	2.71	2.90	*
4. 社会医学系科目の授業・実習	2.69	2.95	**
5. 臨床医学系科目の授業・実習	2.90	3.20	**
6. 臨床実習	2.89	2.89	
7. カリキュラム全般	2.81	2.94	
8. 教室・実習室等の設備環境	2.65	2.79	
9. 図書館の環境や設備	2.51	2.93	***
10. パソコンの利用環境	2.11	2.68	***



(有意差のある項目のみを抜粋)

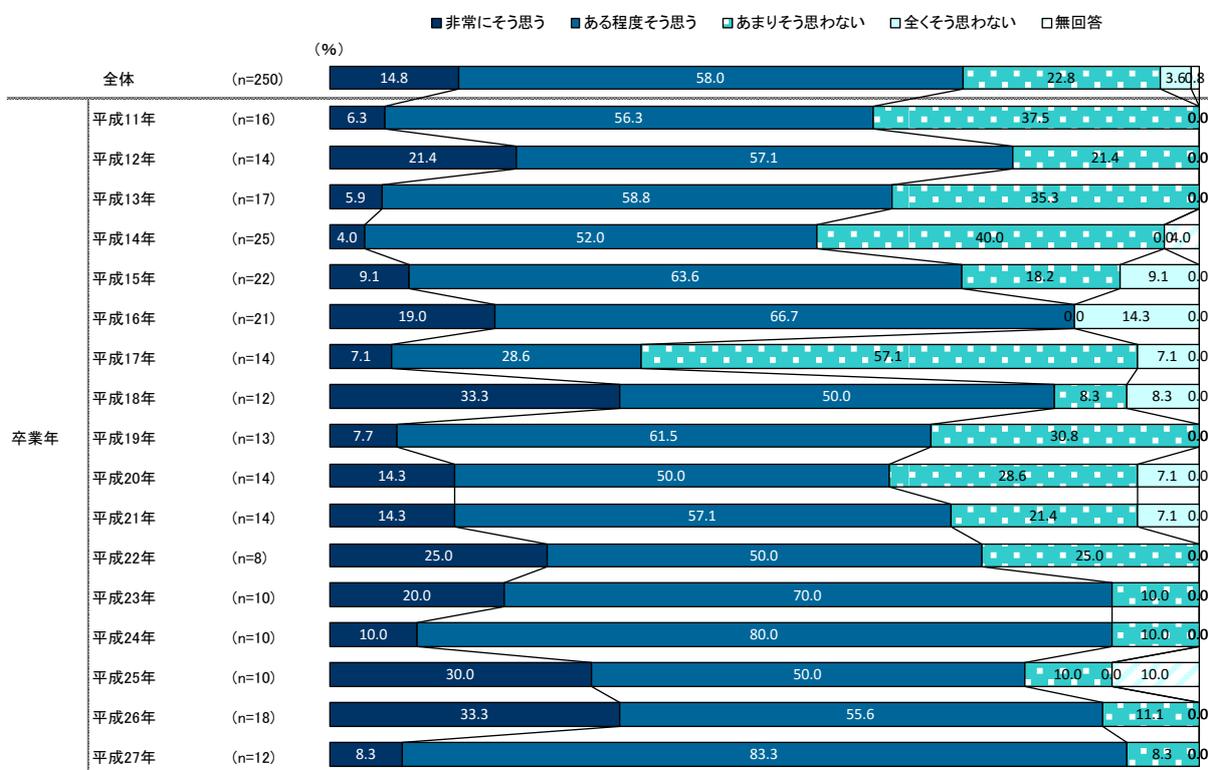
図3-5 履修したカリキュラムの違いによるカリキュラムや設備への満足度の項目ごとの有意差

特に、「語学の授業」「図書館の環境や設備」「パソコンの利用状況」の項目で03年カリキュラム履修者の評価が高かった。医学英語の授業の充実および図書館やICTの整備に力を入れてきたことが評価されているといえよう。

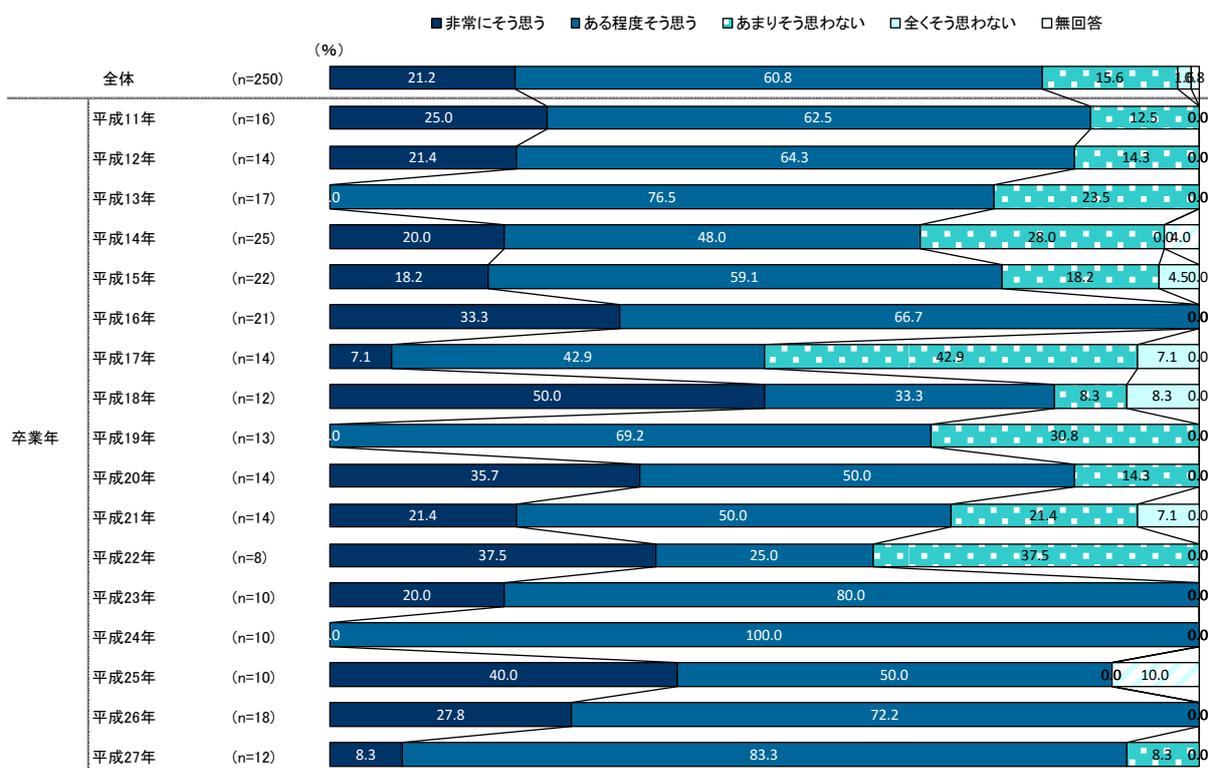
◆問 14 「東京医科大学を総合的に見て、現在どのように感じていますか。」

(a) 3項目に関する卒業年別の回答

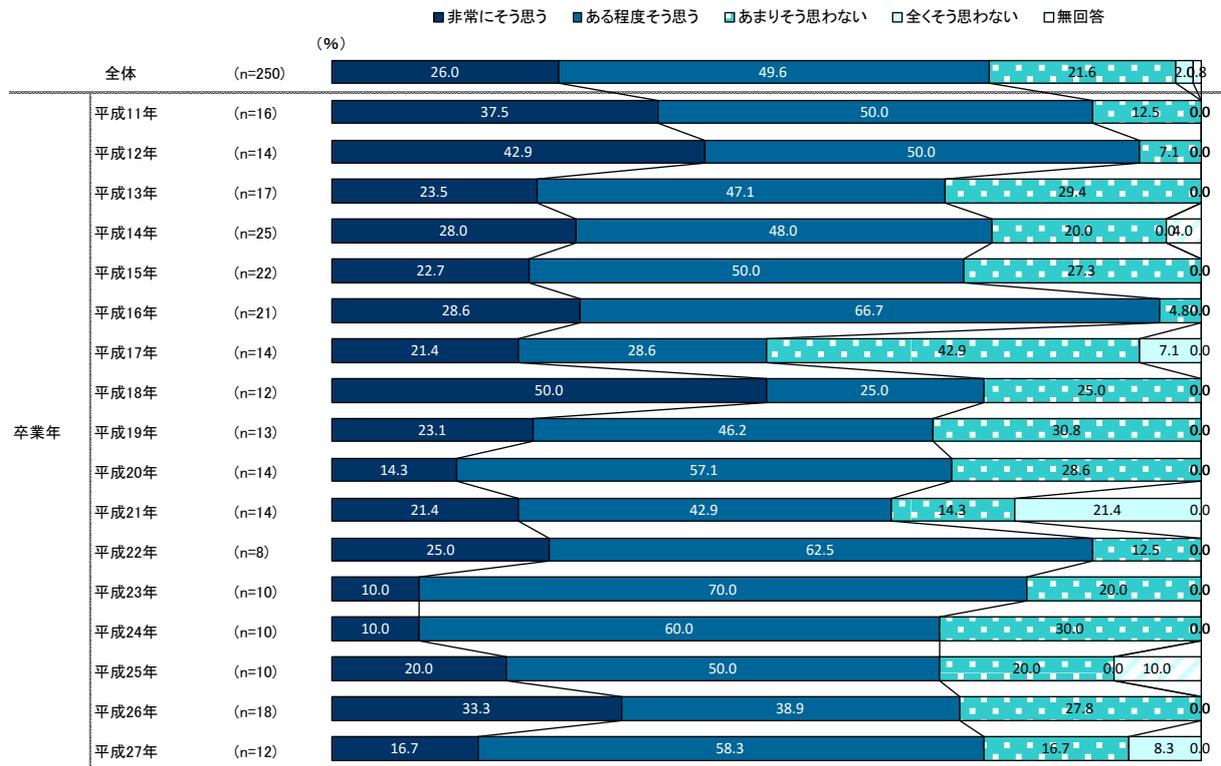
1. 東京医科大学の教育内容に、全体として満足している。



2. 東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立っている。



3. 東京医科大学への受験を自分の子供や知人に薦めたい。



(b) 質問全体の総合的比較

「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」をまとめて「満足」群とし、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」をまとめて「不満」群として、群で比較した。結果を図 3-6 に示す。

3 項目共に満足群は 70%を超えており、概ね、東京医大の教育が受け入れられている結果といえるだろう。しかしながら、本調査の回答率は 14.8%であるので、不満層はそもそもアンケートに協力していない可能性があり、結果の解釈には考慮も必要であると考えられる。

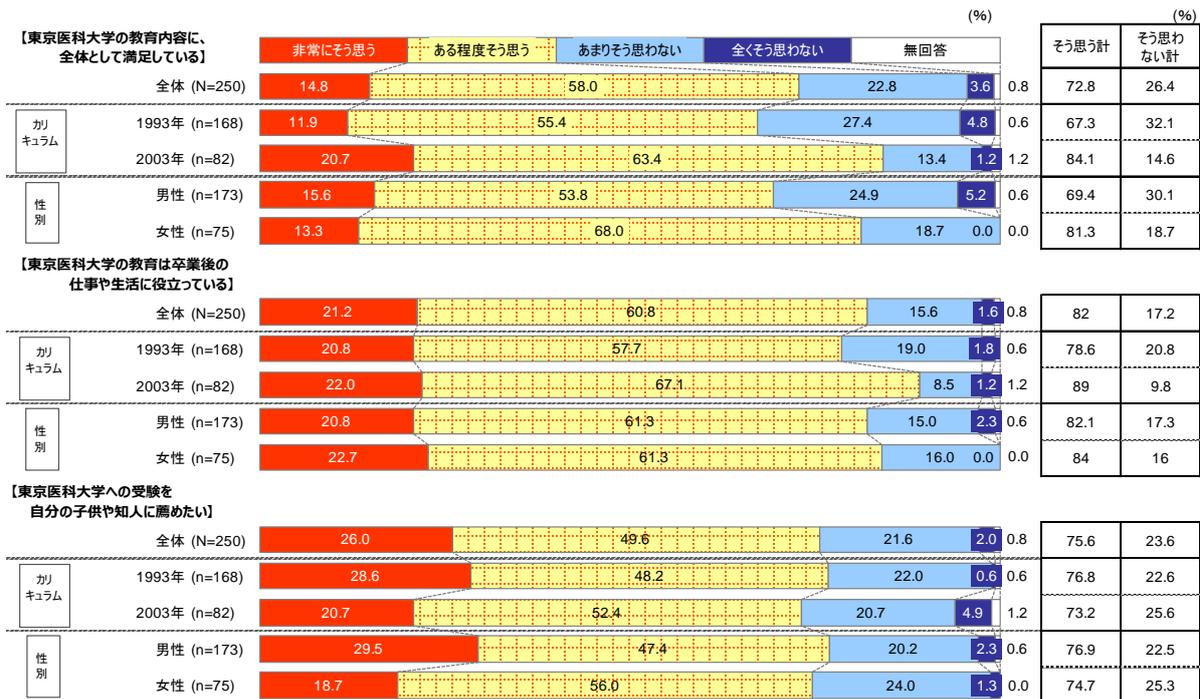


図 3-6 東京医大の教育に対する満足度の項目の全体的な回答状況

(c) 履修カリキュラムによる比較

回答について、「非常にそう思う」：4点、「ある程度そう思う」：3点、「あまりそう思わない」：2点、「全くそう思わない」：1点を配し、履修カリキュラムを要因とした t 検定を実施した。結果を表 3-5、図 3-7 に示す。

表 3-5 履修したカリキュラムの違いによる東京医大の教育への満足感の得点差

	1993年	2003年	有意差
教育内容に全体的に満足している	2.75	3.05	**
仕事や生活に役立っている	2.98	3.11	
受験を薦めたい	3.05	2.90	

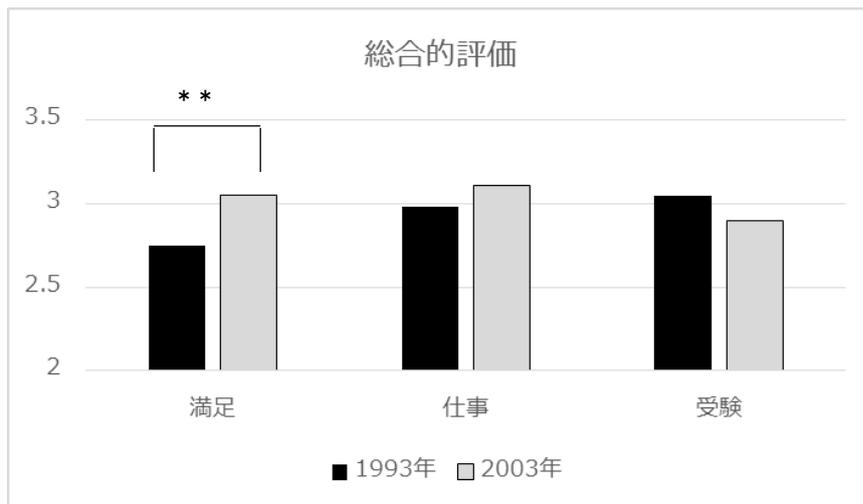


図 3-7 履修したカリキュラムの違いによる東京医大の教育への満足感の有意差

1993年カリキュラム履修者と2003年カリキュラム履修者との比較では、「教育内容に全体的に満足している」の項目において、2003年の値が有意に高かった。「仕事や生活に役立っている」と「受験を薦めたい」の項目では、有意差はなかった。

問 15 と問 16 は、自由記述による回答である。回答内容が多岐にわたるため、大まかな項目ごとに、抜粋して記述する。

(回答を簡略化し、そのまま掲載している。教育 IR センターとしての意見や見解ではない。)

◆問 15 「東京医科大学の教育をより良くするためのご意見をお願いいたします。」

○教員に関して

- ・授業に積極的ではない教員がいる
- ・大学に残った教員がなかなか上に上がれないようだ
- ・教員が学生とコミュニケーションをとろうとしない
- ・外部を経験した教員を積極的に採用してはどうか

○学生に関して

- ・1年次に学習習慣をきちんと身に付けさせるべき
- ・学生のモチベーションが低い
- ・カンニング等の不正行為に厳しく対処すべき
- ・もっと他大学との交流の機会を
- ・夏休み等に、学生の間積極的に海外へ
- ・歌舞伎町から遠ざけるべき
- ・若手医師との交流の機会があるとよいのでは
- ・今の学生は「こじんまり」してしまっている

○授業に関して

- ・OB を授業に参加させては
- ・他大学の講義を受ける機会を
- ・一般教育を早稲田等に外注して、科目のバリエーションを増やす
- ・物理、化学、生物、数学の廃止。役に立っていない
- ・実習中に放置された
- ・参加型（実習）と大学は言いつつ、実際は見ているだけ
- ・基礎医学の授業を充実させる必要がある
- ・もっと研究能力を向上させる授業を
- ・体験型の授業を増やす
- ・実習期間をもっと伸ばす
- ・高学年で「臨床的医学英語」の授業を
- ・高学年の授業が国試対策に偏りすぎている

○大学・カリキュラム・設備に関して

- ・教育への貢献が評価されていないようだ
- ・国試合格率にこだわりすぎている
- ・大学が国試予備校化している
- ・もっと IT 化が必要
- ・学内での「英語コミュニケーション」を進めるべき
- ・カリキュラムが一律で、個人能力に対応できていない。個別指導の推進を
- ・空調が不調だった

○その他

- ・他大学の現状を大学がもっと知るべき
- ・「心の学習」をする機会を
- ・「社会性に富んだ人」を育てるべき
- ・「人間性」を伸ばす教育を
- ・「東医らしさ」をもっと磨く必要がある
- ・入試の際に「人格」をきちんと評価すべき

○足りない指摘のあった、具体的授業科目・内容

- ・語学 ・医療統計 ・プレゼンテーション ・英語の文献検索 ・基礎医学の知識
- ・臨床の基本手技 ・国際交流 ・ホスピタリティ ・接遇 ・東洋医学 ・保険診療の知識
- ・エクスターンシップ（編集注：法科大学院の短期の実務実習を示す場合が多い）
- ・被災地等のボランティア経験 ・人間関係論 ・行動心理学 ・コミュニケーション論
- ・栄養学

◆問 16「東京医科大学へのご要望等、自由にご記載ください。」

100 周年のお祝い、母校への応援等のコメントを多数いただきました。一方、母校に不祥事があり悲しい、などの叱咤激励、図書館を同窓生にも 24 時間開放してほしい、などの建設的意見もいただきました。

4. まとめ

①1993年カリキュラム履修者と2003年カリキュラム履修者との比較

本調査の主な目的は、履修カリキュラムよる比較であるが、総じて、2003年カリキュラム履修者の評価が高かった。カリキュラムの充実に継続してつとめてきたことが、評価された結果であるといえるだろう。

②初期・後期研修先

初期研修は学外に出て、後期研修から学内に戻ってくる傾向がある。将来のキャリアを考えてであろうか、一定数の母校への回帰傾向がありそうである。後期研修の選択時期に適切なアピールができれば、本学での後期研修の希望者が増加する可能性があるかと推察される。

③現在の専門

選択された割合の多い科は、内科一般、小児科、皮膚科の順であった。本調査では、外科系の選択が少なかった。その他において、総合診療、緩和ケア、在宅医療などの記載が少なからずあり、高齢化社会を反映するなどして、専門が多様化している一端が垣間見られる結果であろう。

④現在の勤務先

選択の割合は、東京医大・関連病院計（西新宿・茨城・八王子・関連）34.8%、他大学病院14.8%、他公立病院13.2%、他民間病院29.2%、開業7.8%である。調査対象が平成11年卒からであり、開業に至るまでの経験年数には達しておらず、開業を選択した割合がさほど高くなっていないものと推測される。

⑤本学で身につけた能力

「豊かな人間性」や「礼儀・協調性・責任感など集団生活に必要な能力」などの項目で、「身につけた」と回答する割合が高い。部活や同級生などとの、仲間同士の人とのつながりの濃密さが、本学の特徴といえるかもしれない。しかしながら、教員とのつながりの希薄さに関する意見も存在しているようである。

一方、「語学など国際化への対応能力」や「IT時代に対応した情報スキル」においては「身につかなかった」と回答した割合が高い。これらの項目は、2003年カリキュラムで取り入れられた科目内容であり、古いカリキュラムでの取り組みは十分ではなかった可能性は高く、2003年カリキュラムの履修者の得点が1993年カリキュラムの履修者の得点を有意に上回っていることから、その成果は表れているといえる。今後も、継続して、取り組みを充実させていく必要があると考えられる。

⑥在学中に学んでおけば良かったと思うこと

「実践的英語教育」「統計学」を選択した割合が高い。自由記述でも、外国語能力に関する記載は多く、国際化への対応力育成は、継続した課題であるといえよう。

⑦カリキュラムや設備に対する満足度

満足度が高いのは、「臨床医学系科目の授業」や「臨床実習」であり、臨床系の授業や実習の充実度は、誇れるものになっているといえるだろう。

逆に、満足度が低いのは「図書館の環境や設備」や「パソコンの利用環境」であった。本調査の調査対象者の大部分は、2013年7月の教育研究棟(自主自学館)竣工前に卒業した世代である。教育研究棟の竣工でその施設は改善されたが、まだ未改修の校舎も多く、継続して、施設・設備の改善に努めていく必要があるだろう。

⑧総合的な満足度

2003年カリキュラムの履修者のスコアが有意に高いことから、総合的な満足度は上昇してきており、本学のカリキュラム改編に対する一定の評価が得られていると結論づけられるであろう。

⑨本調査の限界

本調査の回答率は、14.8%とそれほど高くはない。その点を留意して、結果を解釈する必要がある。次回調査時は、さらに回答率を上昇させる工夫が必要であると考えられる。

また、本調査において、はがきによる督促を未回答者全員に実施した他に、メールや学内での呼びかけによる督促を実施した。このメールや学内による呼びかけが実施されたのは調査対象者の一部であり、回答サンプルに多少のバイアスが生じた可能性は残る。

5.データ

質問項目ごとに、卒業年によるクロス集計表を掲載する。

Q1.卒業年をお答え下さい。

卒業年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
回答者数	250	6.4	5.6	6.8	10.0	8.8	8.4	5.6	4.8	5.2	5.6	5.6	4.0	4.0	4.0	7.2	4.8
全体																	
卒業年																	
平成11年	16	1000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成12年	14	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成13年	17	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成14年	25	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成15年	22	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成16年	21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成17年	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成18年	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成19年	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成20年	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成21年	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成22年	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成23年	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
平成25年	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
平成26年	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
平成27年	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q2.性別をお教え下さい。

性別	回答者数	男性	女性	無回答
全体	250	69.2	30.0	0.8
卒業年				
平成11年	16	93.8	6.3	0.0
平成12年	14	64.3	35.7	0.0
平成13年	17	70.6	29.4	0.0
平成14年	25	64.0	32.0	4.0
平成15年	22	59.1	40.9	0.0
平成16年	21	81.0	19.0	0.0
平成17年	14	71.4	21.4	7.1
平成18年	12	66.7	33.3	0.0
平成19年	13	46.2	53.8	0.0
平成20年	14	78.6	21.4	0.0
平成21年	14	85.7	14.3	0.0
平成22年	8	75.0	25.0	0.0
平成23年	10	70.0	30.0	0.0
平成24年	10	50.0	50.0	0.0
平成25年	10	60.0	40.0	0.0
平成26年	18	72.2	27.8	0.0
平成27年	12	58.3	41.7	0.0

Q3.初期臨床研修先をお教え下さい。

研修先	回答者数	東京医科 大学病院	茨城医療 センター	八王子医 療セン ター	その他	無回答
全体	250	38.4	4.8	11.6	44.4	6.8
卒業年						
平成11年	16	56.3	6.3	12.5	31.3	12.5
平成12年	14	35.7	7.1	14.3	35.7	21.4
平成13年	17	29.4	5.9	17.6	41.2	29.4
平成14年	25	68.0	4.0	4.0	20.0	12.0
平成15年	22	54.5	0.0	9.1	36.4	4.5
平成16年	21	28.6	19.0	19.0	42.9	0.0
平成17年	14	7.1	0.0	35.7	50.0	7.1
平成18年	12	25.0	0.0	8.3	66.7	0.0
平成19年	13	30.8	7.7	0.0	61.5	0.0
平成20年	14	14.3	7.1	21.4	57.1	0.0
平成21年	14	50.0	7.1	0.0	42.9	0.0
平成22年	8	25.0	0.0	25.0	37.5	12.5
平成23年	10	40.0	0.0	10.0	50.0	0.0
平成24年	10	40.0	0.0	10.0	50.0	0.0
平成25年	10	20.0	0.0	10.0	70.0	0.0
平成26年	18	33.3	0.0	5.6	66.7	0.0
平成27年	12	58.3	8.3	0.0	25.0	8.3

Q4.後期臨床研修先をお教え下さい。

研修先	回答者数	東京医科 大学病院	茨城医療 センター	八王子医 療セン ター	その他	無回答
全体	250	43.2	1.6	6.4	39.6	15.2
卒業年						
平成11年	16	50.0	0.0	12.5	37.5	12.5
平成12年	14	21.4	7.1	7.1	42.9	42.9
平成13年	17	35.3	0.0	17.6	29.4	35.3
平成14年	25	40.0	0.0	4.0	36.0	24.0
平成15年	22	68.2	0.0	0.0	22.7	9.1
平成16年	21	47.6	4.8	9.5	38.1	4.8
平成17年	14	21.4	0.0	14.3	64.3	7.1
平成18年	12	58.3	0.0	8.3	41.7	0.0
平成19年	13	46.2	0.0	0.0	53.8	0.0
平成20年	14	28.6	7.1	14.3	42.9	7.1
平成21年	14	64.3	0.0	0.0	35.7	7.1
平成22年	8	37.5	0.0	12.5	37.5	12.5
平成23年	10	50.0	10.0	10.0	50.0	0.0
平成24年	10	30.0	0.0	0.0	70.0	0.0
平成25年	10	70.0	0.0	0.0	30.0	0.0
平成26年	18	44.4	0.0	0.0	50.0	5.6
平成27年	12	8.3	0.0	0.0	8.3	83.3

Q5.現在の専門科をお教え下さい。

専門科	回答者数	内科一般	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科	血液内科	糖尿病・代謝・内分泌内科	腎臓内科	神経内科	腫瘍内科	アレルギー科	リウマチ・膠原病内科	高齢診療科	小児科一般
全体	250	15.6	5.2	3.2	5.6	1.2	4.4	3.6	2.0	0.4	1.2	0.8	2.0	8.0
卒業年														
平成11年	16	31.3	18.8	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
平成12年	14	42.9	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
平成13年	17	11.8	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8
平成14年	25	32.0	4.0	4.0	8.0	0.0	8.0	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0
平成15年	22	13.6	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	4.5	9.1	0.0	4.5	0.0	0.0	9.1
平成16年	21	23.8	14.3	14.3	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
平成17年	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
平成18年	12	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
平成19年	13	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4
平成20年	14	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0
平成21年	14	14.3	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
平成22年	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成23年	10	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0
平成24年	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0
平成25年	10	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
平成26年	18	11.1	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6
平成27年	12	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

専門科	回答者数	外科一般	心臓血管外科	呼吸器外科	消化器外科	乳腺科	口腔外科	脳神経外科	整形外科	産科・婦人科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	小児外科	感染症科
全体	250	2.8	0.8	1.2	2.4	1.6	0.0	0.4	6.8	2.8	2.0	4.0	0.4	1.2
卒業年														
平成11年	16	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成12年	14	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
平成13年	17	11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成14年	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	8.0	4.0	0.0	0.0
平成15年	22	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0	9.1	4.5	0.0	9.1	0.0	0.0
平成16年	21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	4.8	4.8	0.0	4.8
平成17年	14	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0
平成18年	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
平成19年	13	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
平成20年	14	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1
平成21年	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0
平成22年	8	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5
平成23年	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
平成25年	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成26年	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成27年	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

専門科	回答者数	眼科	皮膚科	形成外科	美容外科	精神科	麻酔科	放射線科	リハビリテーション科	臨床検査科	病理診断科	基礎・社会医学系	行政	その他	無回答
全体	250	5.2	7.2	2.8	0.8	3.2	1.6	4.0	0.0	0.8	1.6	1.2	0.4	11.6	3.6
卒業年															
平成11年	16	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成12年	14	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成13年	17	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
平成14年	25	8.0	16.0	4.0	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0	0.0	8.0	4.0
平成15年	22	0.0	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	13.6	4.5
平成16年	21	9.5	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
平成17年	14	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1
平成18年	12	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
平成19年	13	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
平成20年	14	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0
平成21年	14	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
平成22年	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
平成23年	10	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0
平成25年	10	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
平成26年	18	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	33.3	16.7
平成27年	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	16.7

Q6.現在の勤務先をお教え下さい。

勤務先	回答者数	東京医科 大学病院	茨城医療 センター	八王子医 療セン ター	東京医科 大学 関 連病院	東京医科 大学以外 の大学病 院	公的病院 (国立病 院機構・ 都道府 県・日赤	上記以外 の医療施 設(医療 法人等)	開業	基礎医学 など研究 職・行政 など	その他、 休職中、 専業主婦 など	無回答
全体	250	27.2	2.0	2.4	3.2	14.8	13.2	29.2	7.6	2.4	5.2	0.8
卒業年												
平成11年	16	31.3	0.0	0.0	6.3	18.8	6.3	31.3	12.5	0.0	0.0	0.0
平成12年	14	7.1	0.0	7.1	0.0	21.4	7.1	35.7	21.4	0.0	0.0	0.0
平成13年	17	17.6	0.0	0.0	5.9	17.6	5.9	47.1	11.8	0.0	0.0	0.0
平成14年	25	12.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	52.0	16.0	4.0	8.0	4.0
平成15年	22	27.3	4.5	0.0	0.0	9.1	9.1	27.3	18.2	4.5	4.5	0.0
平成16年	21	28.6	4.8	0.0	9.5	9.5	14.3	33.3	9.5	0.0	4.8	0.0
平成17年	14	7.1	0.0	14.3	0.0	14.3	7.1	50.0	7.1	7.1	7.1	0.0
平成18年	12	50.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	33.3	0.0	8.3	0.0	0.0
平成19年	13	7.7	7.7	0.0	0.0	23.1	15.4	23.1	0.0	0.0	30.8	0.0
平成20年	14	14.3	0.0	7.1	0.0	28.6	35.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
平成21年	14	57.1	0.0	0.0	7.1	14.3	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0
平成22年	8	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5
平成23年	10	40.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0
平成25年	10	60.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0
平成26年	18	33.3	0.0	0.0	0.0	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
平成27年	12	58.3	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0

Q6.雇用形態をお教え下さい。

雇用形態	回答者数	常勤計	非常勤計	無回答
全体	250	82.0	17.6	3.6
卒業年				
平成11年	16	100.0	6.3	0.0
平成12年	14	100.0	0.0	0.0
平成13年	17	76.5	29.4	0.0
平成14年	25	80.0	16.0	8.0
平成15年	22	90.9	9.1	4.5
平成16年	21	95.2	9.5	0.0
平成17年	14	85.7	7.1	7.1
平成18年	12	83.3	16.7	0.0
平成19年	13	76.9	23.1	0.0
平成20年	14	92.9	7.1	0.0
平成21年	14	78.6	28.6	0.0
平成22年	8	50.0	37.5	12.5
平成23年	10	80.0	30.0	0.0
平成24年	10	80.0	20.0	0.0
平成25年	10	80.0	30.0	0.0
平成26年	18	61.1	33.3	5.6
平成27年	12	58.3	16.7	25.0

Q8.学位についてお教え下さい。

取得年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	無回答	
回答者数	250	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	4.0	2.4	2.4	1.2	2.4	1.6	1.6	1.6	1.6	0.8	78.4	
卒業年																			
平成11年	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.3
平成12年	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
平成13年	17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.7
平成14年	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	12.0	4.0	0.0	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0	68.0
平成15年	22	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	9.1	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	63.6
平成16年	21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	9.5	0.0	4.8	0.0	81.0
平成17年	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	85.7
平成18年	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	66.7
平成19年	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	84.6
平成20年	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	92.9
平成21年	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	85.7
平成22年	8	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
平成23年	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
平成24年	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
平成25年	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
平成26年	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
平成27年	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q11 東京医大での授業や活動を通して、以下の能力を身につけることができましたか。

【1.プレゼンテーションの能力】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	6.0	34.8	45.2	12.8	1.2
卒業年						
平成11年	16	18.8	18.8	43.8	18.8	0.0
平成12年	14	0.0	28.6	28.6	35.7	7.1
平成13年	17	17.6	5.9	52.9	23.5	0.0
平成14年	25	4.0	40.0	44.0	8.0	4.0
平成15年	22	9.1	40.9	40.9	9.1	0.0
平成16年	21	0.0	38.1	52.4	9.5	0.0
平成17年	14	14.3	28.6	50.0	7.1	0.0
平成18年	12	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0
平成19年	13	0.0	30.8	46.2	23.1	0.0
平成20年	14	0.0	21.4	71.4	7.1	0.0
平成21年	14	14.3	57.1	21.4	7.1	0.0
平成22年	8	0.0	37.5	25.0	37.5	0.0
平成23年	10	10.0	30.0	60.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0
平成25年	10	0.0	30.0	60.0	0.0	10.0
平成26年	18	5.6	44.4	44.4	5.6	0.0
平成27年	12	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0

【2.医師としての倫理観】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	17.2	62.4	18.4	0.8	1.2
卒業年						
平成11年	16	31.3	56.3	12.5	0.0	0.0
平成12年	14	14.3	64.3	21.4	0.0	0.0
平成13年	17	17.6	47.1	35.3	0.0	0.0
平成14年	25	28.0	56.0	12.0	0.0	4.0
平成15年	22	13.6	59.1	27.3	0.0	0.0
平成16年	21	9.5	66.7	19.0	0.0	4.8
平成17年	14	14.3	78.6	7.1	0.0	0.0
平成18年	12	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0
平成19年	13	23.1	61.5	15.4	0.0	0.0
平成20年	14	21.4	64.3	14.3	0.0	0.0
平成21年	14	28.6	35.7	35.7	0.0	0.0
平成22年	8	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
平成23年	10	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	90.0	10.0	0.0	0.0
平成25年	10	10.0	70.0	10.0	0.0	10.0
平成26年	18	11.1	66.7	22.2	0.0	0.0
平成27年	12	8.3	66.7	25.0	0.0	0.0

【3.診断や治療に関する知識】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	12.4	70.4	14.8	1.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
平成12年	14	7.1	85.7	7.1	0.0	0.0
平成13年	17	17.6	70.6	11.8	0.0	0.0
平成14年	25	12.0	76.0	8.0	0.0	4.0
平成15年	22	18.2	63.6	18.2	0.0	0.0
平成16年	21	4.8	71.4	23.8	0.0	0.0
平成17年	14	7.1	64.3	21.4	7.1	0.0
平成18年	12	8.3	83.3	0.0	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	84.6	7.7	0.0	0.0
平成20年	14	0.0	64.3	35.7	0.0	0.0
平成21年	14	21.4	57.1	14.3	7.1	0.0
平成22年	8	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0
平成23年	10	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0
平成25年	10	20.0	50.0	20.0	0.0	10.0
平成26年	18	16.7	72.2	11.1	0.0	0.0
平成27年	12	8.3	66.7	16.7	8.3	0.0

【4.組織や集団をまとめるリーダーシップの能力】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	12.8	40.8	36.8	8.8	0.8
卒業年						
平成11年	16	31.3	50.0	12.5	6.3	0.0
平成12年	14	14.3	28.6	35.7	21.4	0.0
平成13年	17	5.9	41.2	47.1	5.9	0.0
平成14年	25	4.0	40.0	48.0	4.0	4.0
平成15年	22	4.5	31.8	36.4	27.3	0.0
平成16年	21	28.6	28.6	38.1	4.8	0.0
平成17年	14	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0
平成18年	12	8.3	41.7	33.3	16.7	0.0
平成19年	13	15.4	46.2	23.1	15.4	0.0
平成20年	14	14.3	35.7	50.0	0.0	0.0
平成21年	14	14.3	35.7	35.7	14.3	0.0
平成22年	8	37.5	37.5	25.0	0.0	0.0
平成23年	10	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	30.0	50.0	10.0	0.0
平成25年	10	0.0	60.0	30.0	0.0	10.0
平成26年	18	5.6	50.0	44.4	0.0	0.0
平成27年	12	16.7	41.7	41.7	0.0	0.0

【5.医学研究の考え方や手法】

	回答者数	かなり身 についた	ある程度 身につい た	あまり身 につか なかつた	まったく 身につか なかつた	無回答
全体	250	2.8	30.0	44.8	21.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	6.3	37.5	43.8	12.5	0.0
平成12年	14	7.1	14.3	50.0	28.6	0.0
平成13年	17	0.0	17.6	58.8	23.5	0.0
平成14年	25	0.0	32.0	48.0	16.0	4.0
平成15年	22	4.5	40.9	22.7	31.8	0.0
平成16年	21	0.0	19.0	57.1	23.8	0.0
平成17年	14	0.0	35.7	57.1	7.1	0.0
平成18年	12	8.3	16.7	41.7	33.3	0.0
平成19年	13	0.0	23.1	53.8	23.1	0.0
平成20年	14	0.0	21.4	35.7	42.9	0.0
平成21年	14	7.1	42.9	21.4	28.6	0.0
平成22年	8	0.0	12.5	50.0	37.5	0.0
平成23年	10	10.0	20.0	40.0	30.0	0.0
平成24年	10	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0
平成25年	10	10.0	30.0	50.0	0.0	10.0
平成26年	18	0.0	55.6	38.9	5.6	0.0
平成27年	12	0.0	41.7	58.3	0.0	0.0

【6.ものごとの問題点をみつけ解決方法を考える能力】

	回答者数	かなり身 についた	ある程度 身につい た	あまり身 につか なかつた	まったく 身につか なかつた	無回答
全体	250	7.6	52.8	33.2	5.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	12.5	56.3	31.3	0.0	0.0
平成12年	14	14.3	28.6	50.0	7.1	0.0
平成13年	17	5.9	23.5	52.9	17.6	0.0
平成14年	25	4.0	52.0	36.0	4.0	4.0
平成15年	22	9.1	40.9	40.9	9.1	0.0
平成16年	21	4.8	61.9	23.8	9.5	0.0
平成17年	14	14.3	50.0	35.7	0.0	0.0
平成18年	12	8.3	50.0	33.3	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	53.8	30.8	7.7	0.0
平成20年	14	0.0	64.3	35.7	0.0	0.0
平成21年	14	21.4	50.0	21.4	7.1	0.0
平成22年	8	0.0	50.0	37.5	12.5	0.0
平成23年	10	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	60.0	30.0	10.0	0.0
平成25年	10	0.0	80.0	10.0	0.0	10.0
平成26年	18	5.6	72.2	22.2	0.0	0.0
平成27年	12	0.0	58.3	41.7	0.0	0.0

【7.疾病予防の考え方と保健・医療制度の知識】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	5.6	45.2	42.0	6.0	1.2
卒業年						
平成11年	16	12.5	37.5	31.3	18.8	0.0
平成12年	14	14.3	35.7	50.0	0.0	0.0
平成13年	17	0.0	47.1	47.1	5.9	0.0
平成14年	25	8.0	52.0	32.0	4.0	4.0
平成15年	22	4.5	40.9	45.5	9.1	0.0
平成16年	21	0.0	52.4	38.1	9.5	0.0
平成17年	14	0.0	50.0	42.9	7.1	0.0
平成18年	12	8.3	41.7	41.7	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	61.5	30.8	0.0	0.0
平成20年	14	7.1	42.9	42.9	7.1	0.0
平成21年	14	7.1	42.9	35.7	14.3	0.0
平成22年	8	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
平成23年	10	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
平成25年	10	20.0	40.0	30.0	0.0	10.0
平成26年	18	5.6	50.0	38.9	5.6	0.0
平成27年	12	0.0	25.0	66.7	0.0	8.3

【8.自己研鑽・自己啓発を継続的に行える学習習慣】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	9.6	54.0	29.2	6.4	0.8
卒業年						
平成11年	16	25.0	37.5	25.0	12.5	0.0
平成12年	14	7.1	64.3	21.4	7.1	0.0
平成13年	17	0.0	47.1	47.1	5.9	0.0
平成14年	25	4.0	68.0	20.0	4.0	4.0
平成15年	22	4.5	31.8	59.1	4.5	0.0
平成16年	21	9.5	47.6	33.3	9.5	0.0
平成17年	14	14.3	50.0	28.6	7.1	0.0
平成18年	12	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0
平成19年	13	7.7	61.5	23.1	7.7	0.0
平成20年	14	0.0	64.3	28.6	7.1	0.0
平成21年	14	14.3	57.1	14.3	14.3	0.0
平成22年	8	12.5	62.5	25.0	0.0	0.0
平成23年	10	10.0	60.0	30.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	60.0	20.0	10.0	0.0
平成25年	10	10.0	60.0	20.0	0.0	10.0
平成26年	18	22.2	55.6	22.2	0.0	0.0
平成27年	12	0.0	58.3	41.7	0.0	0.0

【9.豊かな教養による社会を見る広い視野】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	13.6	46.4	33.6	5.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	18.8	31.3	37.5	12.5	0.0
平成12年	14	28.6	35.7	35.7	0.0	0.0
平成13年	17	11.8	47.1	35.3	5.9	0.0
平成14年	25	4.0	68.0	20.0	4.0	4.0
平成15年	22	9.1	31.8	50.0	9.1	0.0
平成16年	21	23.8	42.9	28.6	4.8	0.0
平成17年	14	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0
平成18年	12	8.3	66.7	16.7	8.3	0.0
平成19年	13	15.4	53.8	30.8	0.0	0.0
平成20年	14	21.4	28.6	28.6	21.4	0.0
平成21年	14	21.4	50.0	21.4	7.1	0.0
平成22年	8	25.0	12.5	62.5	0.0	0.0
平成23年	10	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
平成25年	10	20.0	50.0	20.0	0.0	10.0
平成26年	18	11.1	61.1	22.2	5.6	0.0
平成27年	12	16.7	41.7	33.3	8.3	0.0

【10.病態の理解に必要な基礎医学の知識】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	9.6	60.4	25.6	3.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	6.3	75.0	18.8	0.0	0.0
平成12年	14	7.1	50.0	42.9	0.0	0.0
平成13年	17	11.8	52.9	35.3	0.0	0.0
平成14年	25	8.0	64.0	24.0	0.0	4.0
平成15年	22	9.1	59.1	22.7	9.1	0.0
平成16年	21	9.5	33.3	47.6	9.5	0.0
平成17年	14	7.1	71.4	14.3	7.1	0.0
平成18年	12	16.7	58.3	16.7	8.3	0.0
平成19年	13	0.0	69.2	30.8	0.0	0.0
平成20年	14	7.1	57.1	35.7	0.0	0.0
平成21年	14	14.3	71.4	0.0	14.3	0.0
平成22年	8	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
平成23年	10	10.0	50.0	40.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0
平成25年	10	20.0	60.0	10.0	0.0	10.0
平成26年	18	22.2	61.1	16.7	0.0	0.0
平成27年	12	8.3	66.7	16.7	8.3	0.0

【11.豊かな人間性】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	36.0	52.0	9.6	1.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	37.5	56.3	6.3	0.0	0.0
平成12年	14	57.1	28.6	7.1	7.1	0.0
平成13年	17	47.1	41.2	5.9	5.9	0.0
平成14年	25	24.0	68.0	4.0	0.0	4.0
平成15年	22	22.7	68.2	9.1	0.0	0.0
平成16年	21	47.6	42.9	9.5	0.0	0.0
平成17年	14	28.6	50.0	21.4	0.0	0.0
平成18年	12	33.3	58.3	8.3	0.0	0.0
平成19年	13	38.5	46.2	15.4	0.0	0.0
平成20年	14	50.0	35.7	7.1	7.1	0.0
平成21年	14	28.6	42.9	21.4	7.1	0.0
平成22年	8	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0
平成23年	10	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
平成24年	10	20.0	70.0	10.0	0.0	0.0
平成25年	10	20.0	60.0	10.0	0.0	10.0
平成26年	18	33.3	61.1	5.6	0.0	0.0
平成27年	12	50.0	41.7	8.3	0.0	0.0

【12.医療面接の技能】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	19.2	58.4	18.8	2.8	0.8
卒業年						
平成11年	16	25.0	31.3	31.3	12.5	0.0
平成12年	14	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0
平成13年	17	5.9	70.6	23.5	0.0	0.0
平成14年	25	12.0	68.0	16.0	0.0	4.0
平成15年	22	13.6	54.5	27.3	4.5	0.0
平成16年	21	19.0	42.9	38.1	0.0	0.0
平成17年	14	14.3	50.0	28.6	7.1	0.0
平成18年	12	16.7	66.7	8.3	8.3	0.0
平成19年	13	23.1	69.2	7.7	0.0	0.0
平成20年	14	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0
平成21年	14	21.4	42.9	21.4	14.3	0.0
平成22年	8	37.5	37.5	25.0	0.0	0.0
平成23年	10	10.0	90.0	0.0	0.0	0.0
平成24年	10	20.0	70.0	10.0	0.0	0.0
平成25年	10	30.0	60.0	0.0	0.0	10.0
平成26年	18	22.2	66.7	11.1	0.0	0.0
平成27年	12	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0

【13.語学など国際化への対応能力】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	3.2	24.8	48.0	23.2	0.8
卒業年						
平成11年	16	0.0	18.8	50.0	31.3	0.0
平成12年	14	7.1	7.1	57.1	28.6	0.0
平成13年	17	11.8	5.9	52.9	29.4	0.0
平成14年	25	0.0	20.0	56.0	20.0	4.0
平成15年	22	0.0	18.2	59.1	22.7	0.0
平成16年	21	0.0	23.8	47.6	28.6	0.0
平成17年	14	0.0	7.1	57.1	35.7	0.0
平成18年	12	8.3	25.0	33.3	33.3	0.0
平成19年	13	0.0	30.8	53.8	15.4	0.0
平成20年	14	0.0	35.7	14.3	50.0	0.0
平成21年	14	7.1	35.7	35.7	21.4	0.0
平成22年	8	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
平成23年	10	0.0	40.0	50.0	10.0	0.0
平成24年	10	0.0	30.0	60.0	10.0	0.0
平成25年	10	10.0	40.0	40.0	0.0	10.0
平成26年	18	5.6	38.9	44.4	11.1	0.0
平成27年	12	8.3	41.7	41.7	8.3	0.0

【14.論理的な思考力】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	6.8	54.8	32.0	5.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	0.0	68.8	25.0	6.3	0.0
平成12年	14	14.3	35.7	35.7	14.3	0.0
平成13年	17	0.0	35.3	52.9	11.8	0.0
平成14年	25	12.0	48.0	36.0	0.0	4.0
平成15年	22	9.1	40.9	31.8	18.2	0.0
平成16年	21	4.8	52.4	33.3	9.5	0.0
平成17年	14	7.1	57.1	35.7	0.0	0.0
平成18年	12	0.0	66.7	25.0	8.3	0.0
平成19年	13	0.0	69.2	15.4	15.4	0.0
平成20年	14	7.1	42.9	50.0	0.0	0.0
平成21年	14	7.1	64.3	28.6	0.0	0.0
平成22年	8	12.5	37.5	50.0	0.0	0.0
平成23年	10	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0
平成25年	10	0.0	60.0	30.0	0.0	10.0
平成26年	18	5.6	66.7	27.8	0.0	0.0
平成27年	12	16.7	58.3	25.0	0.0	0.0

【15.医療安全についての知識】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	10.8	53.6	29.6	5.2	0.8
卒業年						
平成11年	16	18.8	43.8	25.0	12.5	0.0
平成12年	14	14.3	21.4	64.3	0.0	0.0
平成13年	17	5.9	29.4	47.1	17.6	0.0
平成14年	25	16.0	52.0	24.0	4.0	4.0
平成15年	22	4.5	59.1	22.7	13.6	0.0
平成16年	21	0.0	57.1	38.1	4.8	0.0
平成17年	14	7.1	42.9	42.9	7.1	0.0
平成18年	12	8.3	66.7	16.7	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	61.5	30.8	0.0	0.0
平成20年	14	14.3	50.0	35.7	0.0	0.0
平成21年	14	21.4	35.7	42.9	0.0	0.0
平成22年	8	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0
平成23年	10	10.0	60.0	30.0	0.0	0.0
平成24年	10	30.0	50.0	20.0	0.0	0.0
平成25年	10	10.0	70.0	10.0	0.0	10.0
平成26年	18	5.6	83.3	11.1	0.0	0.0
平成27年	12	8.3	83.3	8.3	0.0	0.0

【16.礼儀・協調性・責任感など集団生活に必要な能力】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	40.8	47.2	9.6	1.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	56.3	37.5	6.3	0.0	0.0
平成12年	14	71.4	14.3	7.1	7.1	0.0
平成13年	17	41.2	52.9	0.0	5.9	0.0
平成14年	25	28.0	56.0	12.0	0.0	4.0
平成15年	22	27.3	54.5	13.6	4.5	0.0
平成16年	21	47.6	42.9	4.8	4.8	0.0
平成17年	14	35.7	42.9	21.4	0.0	0.0
平成18年	12	41.7	50.0	8.3	0.0	0.0
平成19年	13	46.2	38.5	15.4	0.0	0.0
平成20年	14	64.3	21.4	14.3	0.0	0.0
平成21年	14	42.9	35.7	21.4	0.0	0.0
平成22年	8	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0
平成23年	10	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0
平成24年	10	20.0	70.0	10.0	0.0	0.0
平成25年	10	40.0	50.0	0.0	0.0	10.0
平成26年	18	27.8	61.1	11.1	0.0	0.0
平成27年	12	41.7	58.3	0.0	0.0	0.0

【17.IT時代に対応した情報スキル】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	4.4	29.6	48.0	16.8	1.2
卒業年						
平成11年	16	0.0	31.3	31.3	37.5	0.0
平成12年	14	7.1	21.4	42.9	28.6	0.0
平成13年	17	0.0	17.6	64.7	17.6	0.0
平成14年	25	0.0	32.0	52.0	12.0	4.0
平成15年	22	9.1	18.2	54.5	18.2	0.0
平成16年	21	0.0	28.6	47.6	23.8	0.0
平成17年	14	0.0	7.1	64.3	28.6	0.0
平成18年	12	0.0	41.7	50.0	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	23.1	38.5	23.1	7.7
平成20年	14	0.0	35.7	35.7	28.6	0.0
平成21年	14	14.3	50.0	28.6	7.1	0.0
平成22年	8	12.5	12.5	75.0	0.0	0.0
平成23年	10	10.0	60.0	20.0	10.0	0.0
平成24年	10	0.0	30.0	60.0	10.0	0.0
平成25年	10	10.0	60.0	20.0	0.0	10.0
平成26年	18	5.6	27.8	61.1	5.6	0.0
平成27年	12	8.3	25.0	58.3	8.3	0.0

【18.患者・家族に対する接遇・態度の能力】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	24.4	59.2	12.4	2.8	1.2
卒業年						
平成11年	16	31.3	50.0	18.8	0.0	0.0
平成12年	14	28.6	57.1	7.1	7.1	0.0
平成13年	17	29.4	52.9	11.8	5.9	0.0
平成14年	25	20.0	64.0	8.0	4.0	4.0
平成15年	22	18.2	54.5	22.7	4.5	0.0
平成16年	21	19.0	66.7	9.5	4.8	0.0
平成17年	14	14.3	64.3	21.4	0.0	0.0
平成18年	12	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0
平成19年	13	23.1	61.5	7.7	0.0	7.7
平成20年	14	21.4	50.0	28.6	0.0	0.0
平成21年	14	35.7	42.9	21.4	0.0	0.0
平成22年	8	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0
平成23年	10	10.0	90.0	0.0	0.0	0.0
平成24年	10	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
平成25年	10	20.0	70.0	0.0	0.0	10.0
平成26年	18	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0
平成27年	12	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0

【19.自分の意見を筋道立てて表現する能力】

	回答者数	かなり身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	無回答
全体	250	10.8	58.8	24.8	4.8	0.8
卒業年						
平成11年	16	12.5	62.5	18.8	6.3	0.0
平成12年	14	21.4	35.7	35.7	7.1	0.0
平成13年	17	5.9	52.9	35.3	5.9	0.0
平成14年	25	4.0	76.0	12.0	4.0	4.0
平成15年	22	13.6	45.5	27.3	13.6	0.0
平成16年	21	9.5	47.6	33.3	9.5	0.0
平成17年	14	14.3	35.7	50.0	0.0	0.0
平成18年	12	0.0	58.3	33.3	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	76.9	7.7	7.7	0.0
平成20年	14	0.0	64.3	35.7	0.0	0.0
平成21年	14	21.4	50.0	28.6	0.0	0.0
平成22年	8	12.5	50.0	37.5	0.0	0.0
平成23年	10	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	50.0	40.0	0.0	0.0
平成25年	10	0.0	90.0	0.0	0.0	10.0
平成26年	18	16.7	61.1	22.2	0.0	0.0
平成27年	12	16.7	75.0	0.0	8.3	0.0

Q12.在学中にもっと学んでおけば良かった、身につけておけば良かったと思うことはなんですか。

	回答者数	臨床実習	コミュニケーション教育	基本的臨床手技	実践的英語教育	統計学	臨床医学一般	社会医学一般	基礎医学一般	幅広い教養教育(文学・歴史など)	医療経済学・医学・経営学など	その他	無回答
全体	250	12.8	16.8	15.6	66.0	56.8	18.0	8.0	22.4	22.4	33.2	7.6	2.0
卒業年													
平成11年	16	6.3	25.0	25.0	81.3	68.8	18.8	6.3	31.3	18.8	50.0	6.3	0.0
平成12年	14	21.4	50.0	21.4	78.6	71.4	28.6	21.4	35.7	35.7	50.0	7.1	0.0
平成13年	17	17.6	23.5	11.8	64.7	70.6	17.6	5.9	17.6	29.4	35.3	11.8	5.9
平成14年	25	8.0	20.0	16.0	64.0	48.0	20.0	12.0	8.0	16.0	40.0	8.0	8.0
平成15年	22	9.1	13.6	22.7	77.3	54.5	13.6	13.6	18.2	27.3	40.9	0.0	0.0
平成16年	21	23.8	4.8	4.8	66.7	66.7	19.0	4.8	19.0	19.0	33.3	9.5	0.0
平成17年	14	7.1	0.0	7.1	57.1	57.1	21.4	0.0	14.3	14.3	42.9	7.1	0.0
平成18年	12	16.7	0.0	8.3	83.3	58.3	16.7	16.7	16.7	25.0	33.3	8.3	0.0
平成19年	13	23.1	7.7	30.8	69.2	61.5	15.4	0.0	23.1	30.8	23.1	15.4	0.0
平成20年	14	0.0	0.0	7.1	50.0	78.6	21.4	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0	0.0
平成21年	14	14.3	14.3	7.1	42.9	42.9	0.0	0.0	21.4	0.0	21.4	21.4	7.1
平成22年	8	12.5	12.5	25.0	75.0	75.0	25.0	25.0	50.0	50.0	62.5	12.5	0.0
平成23年	10	10.0	20.0	0.0	50.0	40.0	10.0	0.0	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0
平成24年	10	20.0	30.0	40.0	60.0	40.0	40.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0
平成25年	10	0.0	10.0	0.0	60.0	30.0	10.0	0.0	50.0	30.0	0.0	10.0	10.0
平成26年	18	11.1	22.2	16.7	61.1	61.1	16.7	11.1	16.7	11.1	22.2	5.6	0.0
平成27年	12	16.7	33.3	25.0	75.0	25.0	16.7	16.7	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0

Q13.東京医科大学在学中の各カリキュラムや設備に対して、どれくらい満足していますか。

【1.一般教育系科目の授業・実習(語学を除く)】

	回答者数	非常に満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	非常に不満	無回答
全体	250	7.2	53.6	30.8	7.2	1.2
卒業年						
平成11年	16	0.0	37.5	56.3	6.3	0.0
平成12年	14	7.1	50.0	35.7	7.1	0.0
平成13年	17	5.9	41.2	41.2	11.8	0.0
平成14年	25	0.0	56.0	28.0	12.0	4.0
平成15年	22	4.5	45.5	40.9	4.5	4.5
平成16年	21	4.8	61.9	19.0	14.3	0.0
平成17年	14	0.0	50.0	42.9	7.1	0.0
平成18年	12	16.7	41.7	33.3	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	61.5	30.8	0.0	0.0
平成20年	14	7.1	64.3	28.6	0.0	0.0
平成21年	14	14.3	64.3	7.1	14.3	0.0
平成22年	8	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0
平成23年	10	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0
平成25年	10	10.0	40.0	40.0	0.0	10.0
平成26年	18	16.7	38.9	33.3	11.1	0.0
平成27年	12	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0

【2.語学の授業】

	回答者数	非常に満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	非常に不満	無回答
全体	250	2.8	39.2	45.6	11.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	0.0	12.5	68.8	18.8	0.0
平成12年	14	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0
平成13年	17	5.9	29.4	47.1	17.6	0.0
平成14年	25	0.0	28.0	52.0	16.0	4.0
平成15年	22	0.0	50.0	40.9	9.1	0.0
平成16年	21	4.8	28.6	52.4	14.3	0.0
平成17年	14	0.0	7.1	57.1	35.7	0.0
平成18年	12	0.0	66.7	16.7	16.7	0.0
平成19年	13	0.0	53.8	46.2	0.0	0.0
平成20年	14	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0
平成21年	14	14.3	42.9	35.7	7.1	0.0
平成22年	8	0.0	50.0	37.5	12.5	0.0
平成23年	10	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
平成25年	10	0.0	60.0	30.0	0.0	10.0
平成26年	18	11.1	44.4	38.9	5.6	0.0
平成27年	12	8.3	41.7	50.0	0.0	0.0

【3.基礎医学系科目の授業・実習】

	回答者数	非常に満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	非常に不 満	無回答
全体	250	9.2	62.4	23.6	4.0	0.8
卒業年						
平成11年	16	6.3	75.0	12.5	6.3	0.0
平成12年	14	21.4	64.3	14.3	0.0	0.0
平成13年	17	0.0	64.7	35.3	0.0	0.0
平成14年	25	0.0	68.0	20.0	8.0	4.0
平成15年	22	4.5	63.6	31.8	0.0	0.0
平成16年	21	9.5	42.9	38.1	9.5	0.0
平成17年	14	0.0	64.3	35.7	0.0	0.0
平成18年	12	33.3	25.0	33.3	8.3	0.0
平成19年	13	0.0	61.5	38.5	0.0	0.0
平成20年	14	0.0	85.7	7.1	7.1	0.0
平成21年	14	28.6	50.0	21.4	0.0	0.0
平成22年	8	25.0	25.0	37.5	12.5	0.0
平成23年	10	10.0	80.0	0.0	10.0	0.0
平成24年	10	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
平成25年	10	0.0	60.0	30.0	0.0	10.0
平成26年	18	16.7	72.2	5.6	5.6	0.0
平成27年	12	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0

【4.社会医学系科目の授業・実習】

	回答者数	非常に満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	非常に不 満	無回答
全体	250	9.6	60.8	25.6	3.2	0.8
卒業年						
平成11年	16	0.0	68.8	25.0	6.3	0.0
平成12年	14	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0
平成13年	17	0.0	64.7	35.3	0.0	0.0
平成14年	25	0.0	76.0	16.0	4.0	4.0
平成15年	22	4.5	36.4	59.1	0.0	0.0
平成16年	21	9.5	57.1	23.8	9.5	0.0
平成17年	14	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0
平成18年	12	25.0	25.0	41.7	8.3	0.0
平成19年	13	0.0	69.2	30.8	0.0	0.0
平成20年	14	7.1	78.6	14.3	0.0	0.0
平成21年	14	28.6	50.0	21.4	0.0	0.0
平成22年	8	37.5	37.5	12.5	12.5	0.0
平成23年	10	10.0	70.0	20.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0
平成25年	10	20.0	50.0	20.0	0.0	10.0
平成26年	18	16.7	66.7	5.6	11.1	0.0
平成27年	12	8.3	66.7	25.0	0.0	0.0

【5.臨床医学系科目の授業】

	回答者数	非常に満足	どちらか とえば 満足	どちらか とえば 不満	非常に不 満	無回答
全体	250	17.2	67.2	12.4	2.4	0.8
卒業年						
平成11年	16	6.3	81.3	12.5	0.0	0.0
平成12年	14	14.3	64.3	21.4	0.0	0.0
平成13年	17	11.8	70.6	17.6	0.0	0.0
平成14年	25	12.0	60.0	24.0	0.0	4.0
平成15年	22	4.5	72.7	22.7	0.0	0.0
平成16年	21	14.3	66.7	9.5	9.5	0.0
平成17年	14	0.0	92.9	7.1	0.0	0.0
平成18年	12	16.7	66.7	8.3	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	76.9	15.4	0.0	0.0
平成20年	14	21.4	57.1	21.4	0.0	0.0
平成21年	14	35.7	42.9	7.1	14.3	0.0
平成22年	8	37.5	37.5	12.5	12.5	0.0
平成23年	10	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
平成25年	10	60.0	30.0	0.0	0.0	10.0
平成26年	18	27.8	66.7	5.6	0.0	0.0
平成27年	12	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0

【6.臨床実習】

	回答者数	非常に満足	どちらか とえば 満足	どちらか とえば 不満	非常に不 満	無回答
全体	250	16.0	59.2	21.2	2.8	0.8
卒業年						
平成11年	16	12.5	68.8	18.8	0.0	0.0
平成12年	14	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0
平成13年	17	23.5	47.1	29.4	0.0	0.0
平成14年	25	12.0	60.0	20.0	4.0	4.0
平成15年	22	9.1	50.0	36.4	4.5	0.0
平成16年	21	14.3	71.4	9.5	4.8	0.0
平成17年	14	14.3	64.3	21.4	0.0	0.0
平成18年	12	16.7	58.3	16.7	8.3	0.0
平成19年	13	15.4	76.9	7.7	0.0	0.0
平成20年	14	21.4	57.1	14.3	7.1	0.0
平成21年	14	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0
平成22年	8	37.5	12.5	50.0	0.0	0.0
平成23年	10	30.0	50.0	10.0	10.0	0.0
平成24年	10	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
平成25年	10	20.0	70.0	0.0	0.0	10.0
平成26年	18	11.1	83.3	5.6	0.0	0.0
平成27年	12	8.3	66.7	16.7	8.3	0.0

【7.カリキュラム全般(科目の種類・配置・配当年次など)】

	回答者数	非常に満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	非常に不 満	無回答
全体	250	12.0	61.6	24.4	1.2	0.8
卒業年						
平成11年	16	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
平成12年	14	21.4	57.1	21.4	0.0	0.0
平成13年	17	5.9	52.9	41.2	0.0	0.0
平成14年	25	4.0	68.0	24.0	0.0	4.0
平成15年	22	9.1	63.6	27.3	0.0	0.0
平成16年	21	4.8	71.4	19.0	4.8	0.0
平成17年	14	7.1	71.4	21.4	0.0	0.0
平成18年	12	16.7	58.3	16.7	8.3	0.0
平成19年	13	15.4	69.2	15.4	0.0	0.0
平成20年	14	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0
平成21年	14	21.4	50.0	28.6	0.0	0.0
平成22年	8	37.5	37.5	12.5	12.5	0.0
平成23年	10	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	90.0	10.0	0.0	0.0
平成25年	10	20.0	60.0	10.0	0.0	10.0
平成26年	18	27.8	50.0	22.2	0.0	0.0
平成27年	12	8.3	41.7	50.0	0.0	0.0

【8.教室・実習室等の設備環境】

	回答者数	非常に満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	非常に不 満	無回答
全体	250	10.8	53.2	29.2	6.0	0.8
卒業年						
平成11年	16	0.0	37.5	56.3	6.3	0.0
平成12年	14	21.4	35.7	35.7	7.1	0.0
平成13年	17	11.8	52.9	35.3	0.0	0.0
平成14年	25	0.0	52.0	40.0	4.0	4.0
平成15年	22	9.1	45.5	45.5	0.0	0.0
平成16年	21	14.3	61.9	14.3	9.5	0.0
平成17年	14	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0
平成18年	12	33.3	41.7	16.7	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	69.2	23.1	0.0	0.0
平成20年	14	7.1	42.9	35.7	14.3	0.0
平成21年	14	7.1	64.3	14.3	14.3	0.0
平成22年	8	37.5	25.0	25.0	12.5	0.0
平成23年	10	0.0	90.0	0.0	10.0	0.0
平成24年	10	10.0	60.0	20.0	10.0	0.0
平成25年	10	0.0	60.0	30.0	0.0	10.0
平成26年	18	16.7	61.1	16.7	5.6	0.0
平成27年	12	25.0	50.0	16.7	8.3	0.0

【9.図書館の環境や設備】

	回答者数	非常に満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	非常に不満	無回答
全体	250	15.2	44.4	28.0	11.2	1.2
卒業年						
平成11年	16	6.3	25.0	50.0	18.8	0.0
平成12年	14	7.1	50.0	28.6	14.3	0.0
平成13年	17	5.9	52.9	41.2	0.0	0.0
平成14年	25	4.0	52.0	32.0	8.0	4.0
平成15年	22	18.2	31.8	36.4	13.6	0.0
平成16年	21	19.0	52.4	19.0	9.5	0.0
平成17年	14	0.0	28.6	35.7	35.7	0.0
平成18年	12	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0
平成19年	13	7.7	46.2	46.2	0.0	0.0
平成20年	14	14.3	28.6	21.4	35.7	0.0
平成21年	14	28.6	50.0	7.1	14.3	0.0
平成22年	8	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
平成23年	10	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	40.0	40.0	10.0	0.0
平成25年	10	30.0	40.0	20.0	0.0	10.0
平成26年	18	22.2	55.6	16.7	0.0	5.6
平成27年	12	33.3	41.7	16.7	8.3	0.0

【10.パソコンの利用環境】

	回答者数	非常に満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	非常に不満	無回答
全体	250	7.6	32.0	42.0	17.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	0.0	18.8	37.5	43.8	0.0
平成12年	14	0.0	7.1	64.3	28.6	0.0
平成13年	17	5.9	5.9	64.7	23.5	0.0
平成14年	25	0.0	16.0	56.0	24.0	4.0
平成15年	22	13.6	31.8	45.5	9.1	0.0
平成16年	21	9.5	38.1	38.1	14.3	0.0
平成17年	14	0.0	21.4	35.7	42.9	0.0
平成18年	12	0.0	50.0	41.7	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	30.8	61.5	0.0	0.0
平成20年	14	7.1	28.6	28.6	35.7	0.0
平成21年	14	7.1	42.9	28.6	21.4	0.0
平成22年	8	0.0	37.5	50.0	12.5	0.0
平成23年	10	20.0	50.0	30.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	40.0	40.0	10.0	0.0
平成25年	10	10.0	60.0	20.0	0.0	10.0
平成26年	18	22.2	50.0	27.8	0.0	0.0
平成27年	12	16.7	50.0	25.0	8.3	0.0

Q14.東京医科大学を総合的に見て、現在どのように感じていますか。

【1.東京医科大学の教育内容に、全体として満足している】

	回答者数	非常にそ う思う	ある程度 そう思う	あまりそ う思わな い	全くそ う思わな い	無回答
全体	250	14.8	58.0	22.8	3.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	6.3	56.3	37.5	0.0	0.0
平成12年	14	21.4	57.1	21.4	0.0	0.0
平成13年	17	5.9	58.8	35.3	0.0	0.0
平成14年	25	4.0	52.0	40.0	0.0	4.0
平成15年	22	9.1	63.6	18.2	9.1	0.0
平成16年	21	19.0	66.7	0.0	14.3	0.0
平成17年	14	7.1	28.6	57.1	7.1	0.0
平成18年	12	33.3	50.0	8.3	8.3	0.0
平成19年	13	7.7	61.5	30.8	0.0	0.0
平成20年	14	14.3	50.0	28.6	7.1	0.0
平成21年	14	14.3	57.1	21.4	7.1	0.0
平成22年	8	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
平成23年	10	20.0	70.0	10.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0
平成25年	10	30.0	50.0	10.0	0.0	10.0
平成26年	18	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0
平成27年	12	8.3	83.3	8.3	0.0	0.0

【2.東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立っている】

	回答者数	非常にそ う思う	ある程度 そう思う	あまりそ う思わな い	全くそ う思わな い	無回答
全体	250	21.2	60.8	15.6	1.6	0.8
卒業年						
平成11年	16	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0
平成12年	14	21.4	64.3	14.3	0.0	0.0
平成13年	17	0.0	76.5	23.5	0.0	0.0
平成14年	25	20.0	48.0	28.0	0.0	4.0
平成15年	22	18.2	59.1	18.2	4.5	0.0
平成16年	21	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
平成17年	14	7.1	42.9	42.9	7.1	0.0
平成18年	12	50.0	33.3	8.3	8.3	0.0
平成19年	13	0.0	69.2	30.8	0.0	0.0
平成20年	14	35.7	50.0	14.3	0.0	0.0
平成21年	14	21.4	50.0	21.4	7.1	0.0
平成22年	8	37.5	25.0	37.5	0.0	0.0
平成23年	10	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
平成24年	10	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
平成25年	10	40.0	50.0	0.0	0.0	10.0
平成26年	18	27.8	72.2	0.0	0.0	0.0
平成27年	12	8.3	83.3	8.3	0.0	0.0

【3.東京医科大学への受験を自分の子供や知人に薦めたい】

	回答者数	非常にそ う思う	ある程度 そう思う	あまりそ う思わな い	全くそ う思わな い	無回答
全体	250	26.0	49.6	21.6	2.0	0.8
卒業年						
平成11年	16	37.5	50.0	12.5	0.0	0.0
平成12年	14	42.9	50.0	7.1	0.0	0.0
平成13年	17	23.5	47.1	29.4	0.0	0.0
平成14年	25	28.0	48.0	20.0	0.0	4.0
平成15年	22	22.7	50.0	27.3	0.0	0.0
平成16年	21	28.6	66.7	4.8	0.0	0.0
平成17年	14	21.4	28.6	42.9	7.1	0.0
平成18年	12	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
平成19年	13	23.1	46.2	30.8	0.0	0.0
平成20年	14	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0
平成21年	14	21.4	42.9	14.3	21.4	0.0
平成22年	8	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0
平成23年	10	10.0	70.0	20.0	0.0	0.0
平成24年	10	10.0	60.0	30.0	0.0	0.0
平成25年	10	20.0	50.0	20.0	0.0	10.0
平成26年	18	33.3	38.9	27.8	0.0	0.0
平成27年	12	16.7	58.3	16.7	8.3	0.0

6. 依頼文書



2015年11月

東京医科大学卒業生アンケート調査ご協力をお願い

東京医科大学 学長 鈴木 衛
東京医科大学医学部医学科同窓会 会長 高山 雅臣

東京医科大学卒業生の皆様におかれましては、お元気にご活躍のことと存じます。

さて、医師や患者が最良の環境を求め、国境を越えて自由に移動する時代となりました。それに伴い、異なる教育を受けた医療者間の教育の質を保証するため、日本では国際基準に則した医学教育分野別評価基準日本版が作成されるとともに、日本医学教育認証評議会(JACME)が設立され、日本の全医学部の認証評価が行われることになりました。本学では、100周年を迎える来年、認証評価を受審すべく準備を進めています。

この評価基準では、入学から卒業までの業績・実績の調査を行い、大学のカリキュラム改善に反映させることが求められています。そこで、卒業後、活躍されている皆様の現状をご報告頂くとともに、ご経験に基づく率直なご意見を頂き、今後のカリキュラム改善の重要資料とするためアンケートを実施することに致しました。100周年を迎える本学の医学教育をさらに良いものとするために、卒業生の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本調査の実施につきましては、日本経済新聞社の総合調査機関である株式会社日経リサーチに委託しておりますことを、付け加えさせていただきます。

本調査は、東京医科大学教育 IR センター（センター長：荒井貞夫）が実施します。

教育 IR(Institutional Research)センターは、東京医科大学の教育に関する諸情報を収集・分析し、教育の向上に寄与することを目的として、本年4月に設立されました。

メール：*****@tokyo-med.ac.jp 電話：03-****-****（直通） 担当：*****

本調査は、インターネットからもご回答いただけます。

①検索サイト等より、東京医科大学のHPを検索



②トップページのニュース欄に記載された本調査へのリンクをクリックし、ご回答ください。

※回答に際しては、調査票の表紙をご参照ください。



こちらの掲載記事をご参照ください。

東京医科大学 卒業生アンケート

◆ アンケートのご回答方法 ◆

ご回答方法は、本アンケート票、もしくはインターネットのいずれかの方法をお選びいただけます。

- ① **郵送で回答をご希望の方は**、本アンケート票にご記入の上、
2015年12月11日(金)までに同封の返信用封筒(切手は不要)に入れてご返送下さい。

- ② **インターネットで回答をご希望の方は**、以下の2つの方法より、ご回答いただけます。

i) 下記URLにアクセス(アドレスバーに入力)し、IDとパスワードをご入力下さい。

[http://www.nikkei-r.co.jp/***](http://www.nikkei-r.co.jp/)**

ID : *****

パスワード : *****

ii) 東京医科大学のホームページ上に掲載されている、アンケートサイトのバナーから
上記サイトにアクセスいただき、IDとパスワードをご入力下さい。

<http://www.tokyo-med.ac.jp/>

※アンケートは、東京医科大学の委託を受け、株式会社日経リサーチが運営しています。

<ご回答の方に ~ご留意願いたい事項~>

- アンケートは、お手数ですが同封の返信用封筒、またはインターネットのいずれかの方法で
2015年12月11日(金)までにご回答いただきますよう宜しくお願いいたします。
- 回答者様の情報はアンケートの実施目的の範囲内でのみ利用させていただき、情報管理には万全を期します。
- アンケートの結果は、本調査の目的以外には利用いたしません。調査結果を公表する場合は、回答者が特定される形での公表はいたしません。また、回答による不利益は一切ありませんので、忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。
- アンケートの実施につきましては、日本経済新聞グループの総合調査会社・株式会社日経リサーチに委託しております。同社には、アンケートの実施に必要な、回答者様のお名前等の情報を提供いたしますが、取扱いにあたっては、東京医科大学と同等の管理・守秘義務を課し、アンケート終了後は東京医科大学が責任をもって回収・管理いたします。
- お問合せ等がございましたら、下記事務局までご連絡をお願いいたします。

【アンケートに関するお問い合わせ先】

東京医科大学 教育 IR センター
〒160-8402 東京都新宿区西新宿 6-7-1
TEL : 03-*****
E-mail:*****@tokyo-med.ac.jp
担当 : *****

※教育 IR(Institutional Research)センターは、東京医科大学の教育に関する諸情報を収集・分析し、教育の向上に寄与することを目的として、本年4月に設立されました。

【調査方法等に関するお問い合わせ先】

株式会社 日経リサーチ
〒101-**** 東京都千代田区*****
TEL : (03)****-**** FAX : (03)****-****
受付時間 : 9:00-17:00
E-mail : *****@nikkei-r.co.jp
担当 : *****

東京医科大学 卒業生アンケート

(2015年12月11日(金)までにご返送下さい)

Q1. 卒業年をお答え下さい。

平成

--	--

年

Q2. 性別をお教え下さい。(該当する番号に○をつけて下さい)

1. 男性

2. 女性

Q3. 初期臨床研修先をお教え下さい。(該当する番号にいくつでも○をつけて下さい)

1. 東京医科大学病院

3. 八王子医療センター

2. 茨城医療センター

4. その他(具体的に:)

Q4. 後期臨床研修先をお教え下さい。(該当する番号にいくつでも○をつけて下さい)

1. 東京医科大学病院

3. 八王子医療センター

2. 茨城医療センター

4. その他(具体的に:)

Q5. 現在の専門科をお教え下さい。(該当する番号にいくつでも○をつけて下さい)

1. 内科一般

14. 外科一般

27. 眼科

2. 循環器内科

15. 心臓血管外科

28. 皮膚科

3. 呼吸器内科

16. 呼吸器外科

29. 形成外科

4. 消化器内科

17. 消化器外科

30. 美容外科

5. 血液内科

18. 乳腺科

31. 精神科

6. 糖尿病・代謝・内分泌内科

19. 口腔外科

32. 麻酔科

7. 腎臓内科

20. 脳神経外科

33. 放射線科

8. 神経内科

21. 整形外科

34. リハビリテーション科

9. 腫瘍内科

22. 産科・婦人科

35. 臨床検査科

10. アレルギー科

23. 泌尿器科

36. 病理診断科

11. リウマチ・膠原病内科

24. 耳鼻咽喉科

37. 基礎・社会医学系

12. 高齢診療科

25. 小児外科

38. 行政

13. 小児科一般

26. 感染症科

39. その他(具体的に:)

Q6. 現在の勤務先と、そこでの雇用形態をお教え下さい。

(該当する番号に、それぞれいくつでも○をつけて下さい)

	勤務先 ↓	→	雇用形態	
			常勤	非常勤
東京医科大学病院	1	→	1	2
茨城医療センター	2	→	1	2
八王子医療センター	3	→	1	2
東京医科大学 関連病院 (病院名:)	4	→	1	2
東京医科大学以外の大学病院 (病院名:)	5	→	1	2
公的病院 (国立病院機構・都道府県・日赤等) (病院名:)	6	→	1	2
上記以外の医療施設 (医療法人等) (名称:)	7	→	1	2
開業 (名称:)	8	→	1	2
基礎医学など研究職・行政など (機関名:)	9	→	1	2
その他、休職中、専業主婦など (具体的に:)	10	→	1	2

Q7. 認定資格についてお教え下さい。

1) 学会認定医

1. _____ 学会 _____ 認定医、平成 _____ 年取得
2. _____ 学会 _____ 認定医、平成 _____ 年取得
3. _____ 学会 _____ 認定医、平成 _____ 年取得
4. _____ 学会 _____ 認定医、平成 _____ 年取得

2) 専門医・指導医 (該当する資格に○をつけて下さい)

1. _____ 学会 _____ 専門医・指導医、平成 _____ 年取得
2. _____ 学会 _____ 専門医・指導医、平成 _____ 年取得
3. _____ 学会 _____ 専門医・指導医、平成 _____ 年取得
4. _____ 学会 _____ 専門医・指導医、平成 _____ 年取得
5. _____ 学会 _____ 専門医・指導医、平成 _____ 年取得
6. _____ 学会 _____ 専門医・指導医、平成 _____ 年取得

3) その他

1. 日本医師会 産業医、平成 _____ 年取得
2. 日本医師会 健康スポーツ医、平成 _____ 年取得
3. _____ 学会 _____、平成 _____ 年取得
4. _____ 学会 _____、平成 _____ 年取得

Q8 学位についてお教え下さい。

1. 東京医科大学 (平成 _____ 年)
2. その他 (_____ 大学、平成 _____ 年)

Q9. その他特記すべき社会活動（医師会等）

Q10. その他追加事項（Q7、Q9 等に書ききれない事項など）

以下の設問ごとに、ご自身のお考えに最も近い番号を1つだけ選び、○をつけて下さい。

Q11. 東京医科大学での授業や活動を通して、以下の能力を身につけることができましたか。

（それぞれひとつずつ○をつけて下さい）

	かなり 身に ついた	ある程度 身に ついた	あまり 身につか なかった	まったく 身につか なかった
1. プレゼンテーションの能力	4	3	2	1
2. 医師としての倫理観	4	3	2	1
3. 診断や治療に関する知識	4	3	2	1
4. 組織や集団をまとめるリーダーシップの能力	4	3	2	1
5. 医学研究の考え方や手法	4	3	2	1
6. ものごとの問題点をみつけ解決方法を考える能力	4	3	2	1
7. 疾病予防の考え方と保健・医療制度の知識	4	3	2	1
8. 自己研鑽・自己啓発を継続的に行える学習習慣	4	3	2	1
9. 豊かな教養による社会を見る広い視野	4	3	2	1
10. 病態の理解に必要な基礎医学の知識	4	3	2	1
11. 豊かな人間性	4	3	2	1
12. 医療面接の技能	4	3	2	1
13. 語学など国際化への対応能力	4	3	2	1
14. 論理的な思考力	4	3	2	1
15. 医療安全についての知識	4	3	2	1
16. 礼儀・協調性・責任感など集団生活に必要な能力	4	3	2	1
17. IT時代に対応した情報スキル	4	3	2	1
18. 患者・家族に対する接遇・態度の能力	4	3	2	1
19. 自分の意見を筋道立てて表現する能力	4	3	2	1

Q15. 東京医科大学の教育をより良くするためのご意見をお願いいたします。

Q16. 東京医科大学へのご要望等、自由にご記載下さい。

以上で質問は終わりです。調査へのご協力誠にありがとうございました。ご回答の記入もれがないかお確かめの上、同封の返信用封筒に入れて12月11日（金）までにご返送下さい。

7.おわりに

2015年4月、東京医科大学の教育に関する諸情報を収集、分析し、教育の向上に寄与することを目的に教育 IR センターが設立されました。IR (Institutional Research) という言葉は、日本ではまだなじみの無い言葉ですが、「機関の計画立案、政策形成、意思決定を支援する情報を提供する目的で、高等教育機関の内で行われる調査研究(Saupe, 1990)」とされています。米国で1960年代に始まり、現在全米には約4,000のIRオフィスがあると言われています。日本では、文部科学省が設置を推進していることや、特に医学部では医学教育分野別認証評価が契機となり、IR組織を設置する大学が急速に増加しています。

医学教育分野別認証評価基準では、入学から卒業までの業績・実績の調査を行い、大学のカリキュラム改善に反映させることが求められており、この卒業生アンケート調査を行いました。東京医科大学教育 IR センターで初めての大規模な調査でしたが、同窓会会長高山雅臣先生や同窓会事務局の皆様をはじめ、多くの皆様のご協力により実施することができました。特に、貴重な時間を割いて本アンケート調査にご協力頂いた卒業生の皆様に心より厚く感謝申し上げます。また、本報告書を纏めるにあたっては、教育 IR センター専門委員会の先生方に貴重な助言を頂きました。

このアンケート調査結果が東京医科大学における医学教育のさらなる質の向上のための一助となることを期待しています。教育 IR センターでは、引き続き様々な情報収集・分析を行い、本学の教育の質保証のために活動してまいりたいと思いますので、ご理解、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

東京医科大学 教育 IR センター センター長 荒井 貞夫

◆調査総括・結果検討

東京医科大学 教育 IR センター 専門委員会

委員長 荒井 貞夫 (教育 IR センター・医学教育学)

副委員長 井上 茂 (公衆衛生学)

副委員長 小林 信 (看護学科)

委員 篠田 章 (生物学)

// R. ブルーヘルマンズ (医学教育学)

// 瀬戸口 靖弘 (呼吸器内科学)

// 平山 陽示 (総合診療医学)

// 大塚 康司 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

// 成瀬 和子 (看護学科)

// 瀬戸山 陽子 (看護学科)

// 菰田 孝行 (教育 IR センター)

事務局 河上 恵 (教育 IR センター)

東京医科大学医学部医学科 卒業生アンケート 結果報告書

作成 東京医科大学 教育 IR センター

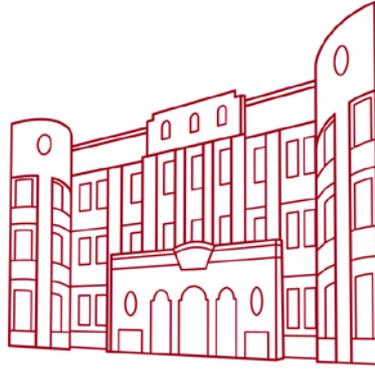
2016 年 7 月 発行

問い合わせ先

住所：東京都新宿区新宿 6-1-1

電話番号：03-3351-6141 内線：404

メール：ir-cen@tokyo-med.ac.jp



100th
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY
since 1916

 TOKYO MEDICAL UNIVERSITY

 東京医科大学
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY